令和３年度第１回今金町まち・ひと・しごと創生有識者会議次第（参考）

書面開催へ変更

~~日時：令和３年５月２１日（金）16:00～~~

~~場所：今金消防署２階会議室~~

~~１　あいさつ~~

~~今金町長　外　崎　秀　人~~

~~２　有識者会議委員紹介~~

~~３　委員長及び副委員長の互選について（有識者会議設置規則第４条第１項）~~

~~（外崎町長仮議長で進行⇒選出決定後、町長退席）~~

~~４　委員長あいさつ~~

５　議　　題

(1)　令和２年度

今金町まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る地方創生事業の内訳について　資料１

(2)　令和３年度

今金町まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る地方創生事業の内訳について　資料２

(3)　令和２年度

地方創生推進交付金に係る実施結果報告の評価について　資料３

６　報　　告

(1)　企業版ふるさと納税について（地域再生計画の認定）　資料４

~~７　全体を通じての今後に向けた意見等について~~

≪　関係資料　≫

(1)　第２次まち・ひと・しごと創生総合戦略　資料５

(2)　令和２年度地方創生事業に係る参考資料　資料６

(3)　地方創生に係る交付金活用事業内訳及びソーシャルタウン構想　資料７

(4)　第６次今金町総合計画前期実施計画（Ｒ３年度～Ｒ７年度）　資料８

まちづくり推進課

令和２年度　　まち・ひと・しごと総合戦略に係る地方創生事業の内訳

資料1

●基本目標 １．　今金町における安定した雇用を創出する

（単位 ： 千円）

具体的な施策	事業名	当初予算額	実績額	所管課	備考
障がい者が地域産業の担い手としての活躍の場づくり	・障がい者雇用促進事業	2,700	2,340	保健福祉課	障がい者雇用数 正職員６名（ｉスマイル５、ホクノウ１） 臨時　１名（JA今金町）
地域の特徴を生かした産業連携によるモノづくり産業の振興	・地域力再生プロジェクト事業 ・ソーシャルタウン今金推進協議会補助事業	1,107 4,900	1,107 4,900	まちづくり推進課	 推進交付金活用
産業後継者の育成奨励	・産業後継者育成奨励事業	1,700	1,700	農林振興課	産業後継者奨励金（農業） 妻帯者１名、独身者１名
担い手の育成対策の強化	・担い手対策事業	4,000	3,596	農林振興課	新規就農者等への助成 申請件数５件
空き家・空き店舗等を活用した起業支援や情報発信	・空き店舗活用事業	372	372	まちづくり推進課	みんなの広場ひだまり家賃補助
	計	14,779	14,015		

●基本目標 ２．　今金町へ新しいひとの流れをつくる

（単位 ： 千円）

具体的な施策	事業名	当初予算額	実績額	所管課	備考
定住・移住対策に係る条件整備の構築	・新住宅リフォーム助成事業 ・新マイホーム取得奨励事業	15,000 6,000	9,815 3,000	まちづくり推進課	申請件数　４０件 申請件数　　３件
	計	21,000	12,815		

●基本目標 ３．　若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

（単位 ： 千円）

具体的な施策	事業名	当初予算額	実績額	所管課	備考
積極的な結婚支援や社会気運の醸成	・結婚新生活支援事業	600	600	まちづくり推進課	新世帯に家賃補助（上限３００千円） 申請件数１件（道補助対象分）
町の特性を活かした子育て支援の推進	・不妊症治療費等扶助費 ・子ども医療費扶助費（医療費軽減）	1,000 19,209	537 7,367	保健福祉課	不妊治療支援　申請数７件 医療費軽減申請数　3,994件
子育て支援による働きやすい環境をつくりだす	・認定こども園給付扶助費（保育料軽減）	12,228	10,746	教育委員会	保育料軽減申請数　１０件
	計	33,037	19,250		

●基本目標 ４．　地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する

（単位 ： 千円）

具体的な施策	事業名	当初予算額	実績額	所管課	備考
現在の生活基盤の維持のための支援の実施	・デマンドバス運行事業	4,230	5,171	まちづくり推進課	八束白石、金原豊田、日進、田代稲穂 地域交通支援　市街地運行実施 利用人数3,775人（前年比114人増）
広域連携による経済の活性化	・北渡島檜山４町連携事業	658	201	まちづくり推進課	
	計	4,888	5,372		

総計	73,704	51,452

令和３年度　　まち・ひと・しごと総合戦略に係る地方創生事業の内訳

資料2

●基本目標 １．　今金町における安定した雇用を創出する

（単位 ： 千円）

具体的な施策	事業名	前年度予算	予算額	所管課	備考
障がい者が地域産業の担い手としての活躍の場づくり	・障がい者雇用促進事業	2,700	1,620	保健福祉課	
地域の特徴を生かした産業連携によるモノづくり産業の振興	・地域力再生プロジェクト事業	1,107	1,107	まちづくり推進課	
	・ソーシャルタウン今金推進協議会補助事業	4,900	4,928		推進交付金
産業後継者の育成奨励	・産業後継者育成奨励事業	1,700	0	農林振興課	
担い手の育成対策の強化	・担い手対策事業	4,000	4,000	農林振興課	
空き家・空き店舗等を活用した起業支援や情報発信	・空き店舗活用事業	372	372	まちづくり推進課	
	計	14,779	12,027		

●基本目標 ２．　今金町へ新しいひとの流れをつくる

（単位 ： 千円）

具体的な施策	事業名	前年度予算	予算額	所管課	備考
定住・移住対策に係る条件整備の構築	・新住宅リフォーム助成事業	15,000	15,000	まちづくり推進課	
	・新マイホーム取得奨励事業	6,000	6,000		
	計	21,000	21,000		

●基本目標 ３．　若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

（単位 ： 千円）

具体的な施策	事業名	前年度予算	予算額	所管課	備考
積極的な結婚支援や社会気運の醸成	・結婚新生活支援事業	600	600	まちづくり推進課	
町の特性を活かした子育て支援の推進	・不妊症治療費等扶助費	1,000	1,000	保健福祉課	
	・子ども医療費扶助費(医療費軽減)	19,209	19,225		
子育て支援による働きやすい環境をつくりだす	・認定こども園給付扶助費(保育料軽減)	12,228	13,135	教育委員会	
	計	33,037	33,960		

●基本目標 ４．　地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する

（単位 ： 千円）

具体的な施策	事業名	前年度予算	予算額	所管課	備考
現在の生活基盤の維持のための支援の実施	・デマンドバス運行事業	4,230	3,900	まちづくり推進課	
広域連携による経済の活性化	・北渡島檜山４町連携事業	658	627	まちづくり推進課	
	計	4,888	4,527		

総計	73,704	71,514

令和２年度　地方創生推進交付金事業に係る事業実施結果報告

（各交付対象事業の重要業績評価指標（KPI）の実績値等）

資料3

担当課事業効果　番号で選択

①地方創生に非常に効果的であった
②地方創生に相当程度効果があった
③地方創生に効果があった
④地方創生にあまり効果がなかった
⑤地方創生に効果がなかった

外部有識者評価　番号から選択

①総合戦略のKPI達成に有効であった
②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない

今後の対応　番号から選択

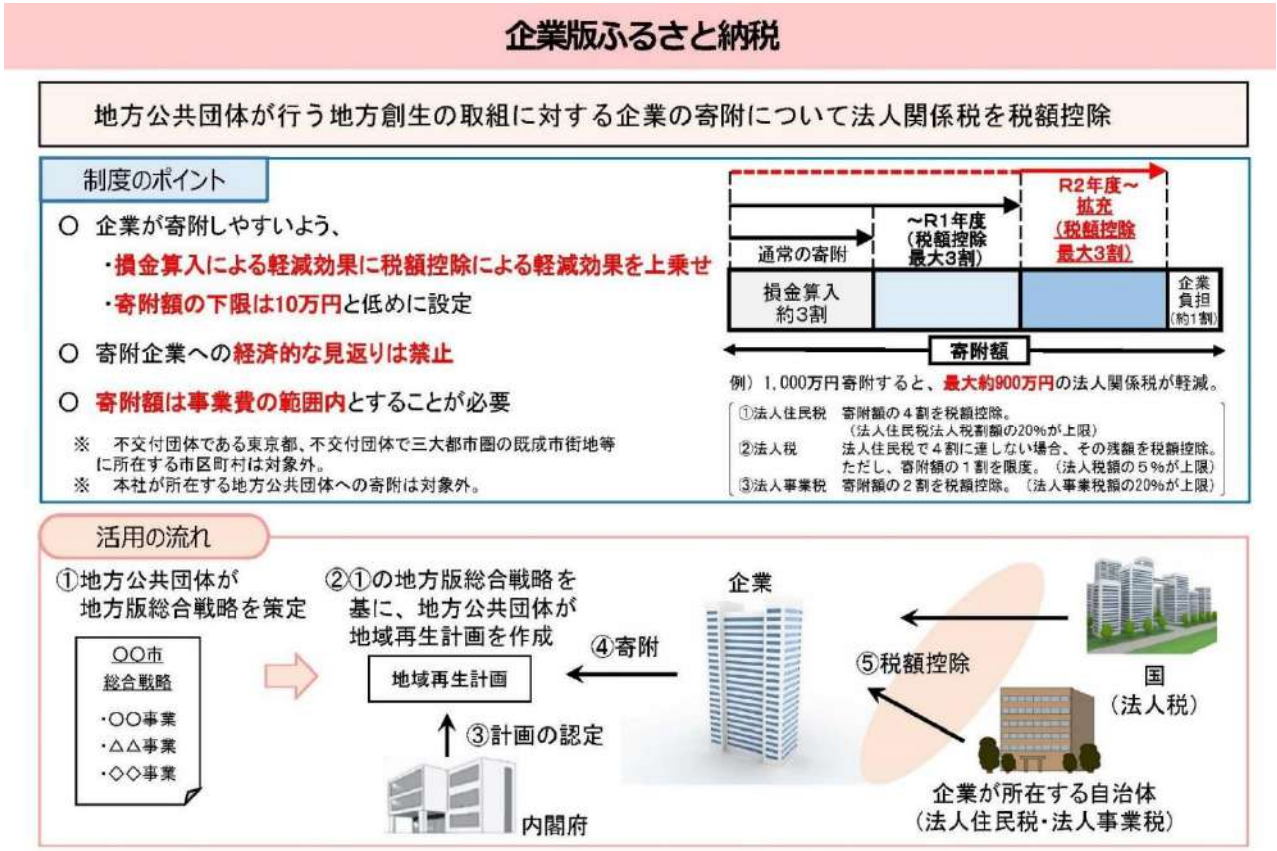
①追加等更に発展させる
②事業内容の見直し（改善）
③事業の継続
④事業の中止
⑤予定通り事業終了

交付対象事業の名称		所管課	種類	実績額 単位：千円	指標	基準値	指標値	実績値	実績値詳細内容	本事業終了後における実績値	外部有識者からの評価		実績値を踏まえた事業の今後について	
										事業効果	事業の評価（どちらかに○）	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由
記入例	新たな産業と拠点づくりと人の流れ創出事業	まちづくり推進課	推進交付金	4,350	養護学校卒業生の雇用人数	0人	２ 人	４ 人	◆ＴＴＮコーポレーションに　２人 ◆iスマイルに　2人	①	①　②	今後も積極的障がい者雇用の推進を図ってほしい。	③	今後も継続して障がい者雇用の充実を図る。
1	多様な人材が活躍できるまちづくり推進事業	まちづくり推進課	推進交付金	4,900	障がい者（道立養護高等学校卒業生を含む）雇用人数	0人	2人	７ 人	◆iスマイル　５人 ◆ホクノウ　１人 ◆JA今金町　１人	①	①　②			
交付金対象事業費計				4,900										

資料　４

6　報　告　企業版ふるさと納税について（地域再生計画の認定）

【国（内閣府作成）概要資料】



【本町の取組状況】

≪国概要資料（活用の流れ）に沿った整理≫

①　地方公共団体が地方版総合戦略を策定

第２次今金町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定（令和元年１２月策定）

計画期間：令和２年度から令和６年度まで（５年間）

②　①の地方版総合戦略を基に、地方公共団体が地域再生計画を作成

第59回地域再生計画の認定について

事前相談（資料提出）：令和２年12月28日付け

正式提出（資料送付）：令和３年１月18日付け

③　計画の認定

令和３年３月31日認定（企業版ふるさと納税受領可能額　２０，０００千円）

④　現時点での進捗状況

寄附申し出企業概要：札幌市内不動産業事業者（代表は今金町出身者）

寄附申し出額（予定）：１０，０００千円（令和２年12月８日付けで事前申込書提出あり）

資料 5

第２次

まち・ひと・しごと創生

総 合 戦 略

2019年12月

北海道　今 金 町

目　次

第１章　今金町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定にあたって

１．総合戦略策定の背景及び趣旨 2

２．総合戦略策定の位置付け 3

３．総合戦略の政策５原則 4

４．計画の体系と期間 5

５．計画のフォローアップ 5

６．効果の検証と改善について 5

第２章　基本目標と政策分野

１．今金町の人口について 6

２．今金町の特性（強み）と政策展開の視点 7

３．今金町のまちづくりの課題 9

４．今金町人口ビジョンの達成に向けて 10

５．今金町まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本コンセプト 15

６．今金町人口ビジョンを達成するための総合戦略の体系図 16

第３章　第１次今金町まち・ひと・しごと創生総合戦略の総括結果

第４章 第２次今金町まち・ひと・しごと創生総合戦略における基本目標別施策

基本目標１．今金町における安定した雇用を創出する 22

基本目標２．今金町へ新しいひとの流れをつくる 24

基本目標３．若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる 26

基本目標４．地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する 28

資　料　編 30

第１章　今金町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定にあたって

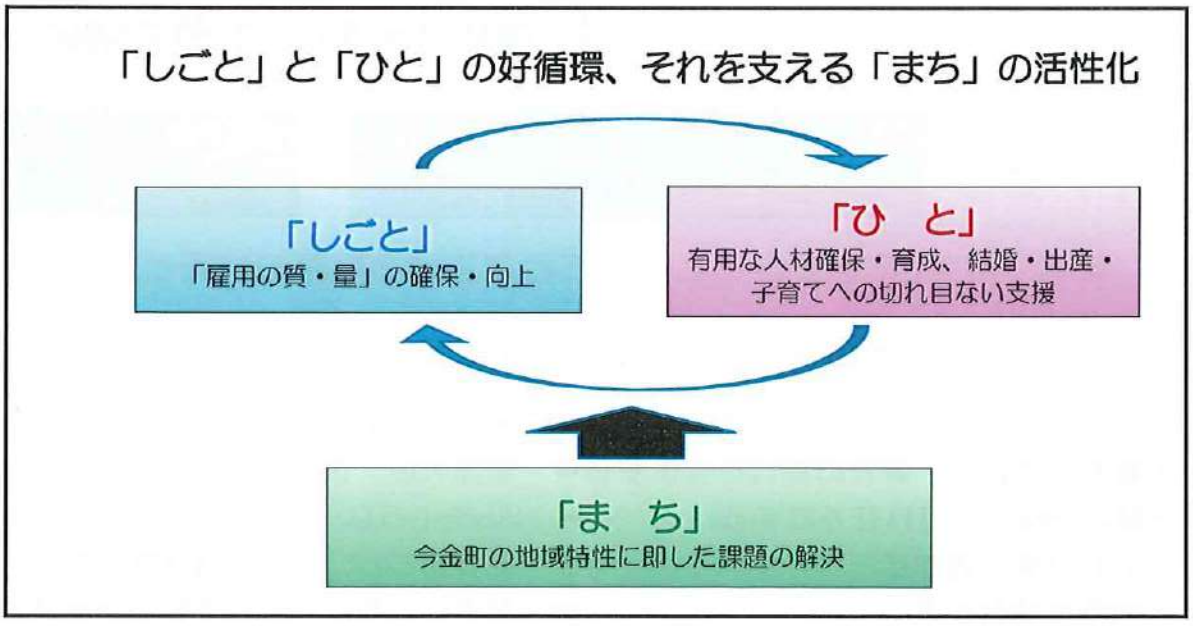
１．総合戦略策定の背景及び趣旨

今金町は、2014 年 12 月 27 日付け閣副第 979 号内閣審議官通知により、本町の人口の現状と将来の展望を提示する人口ビジョンを策定し、これを踏まえて、第１次今金町まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、「第１次総合戦略」という。）を策定し、５か年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめ推進を図ってまいりました。

総合戦略策定の目的は、国が策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方や政策５原則等を基に、本町における人口減少と地域経済縮小の克服、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を目指すことにあり、第１次総合戦略の計画期間は２０１５年から５か年までであり、この間、基本目標の実現に向け、施策を展開してきましたが、計画期間が２０１９年で最終年度を迎えたことから、施策展開によるＫＰＩ評価、事業成果、課題等を踏まえ、第２次今金町まち・ひと・しごと総合戦略（以下「第２次総合戦略」という。）を策定します。

〈まち・ひと・しごと創生法（平成 26（2014）年法律第 136 号）第 10 条　抜粋〉

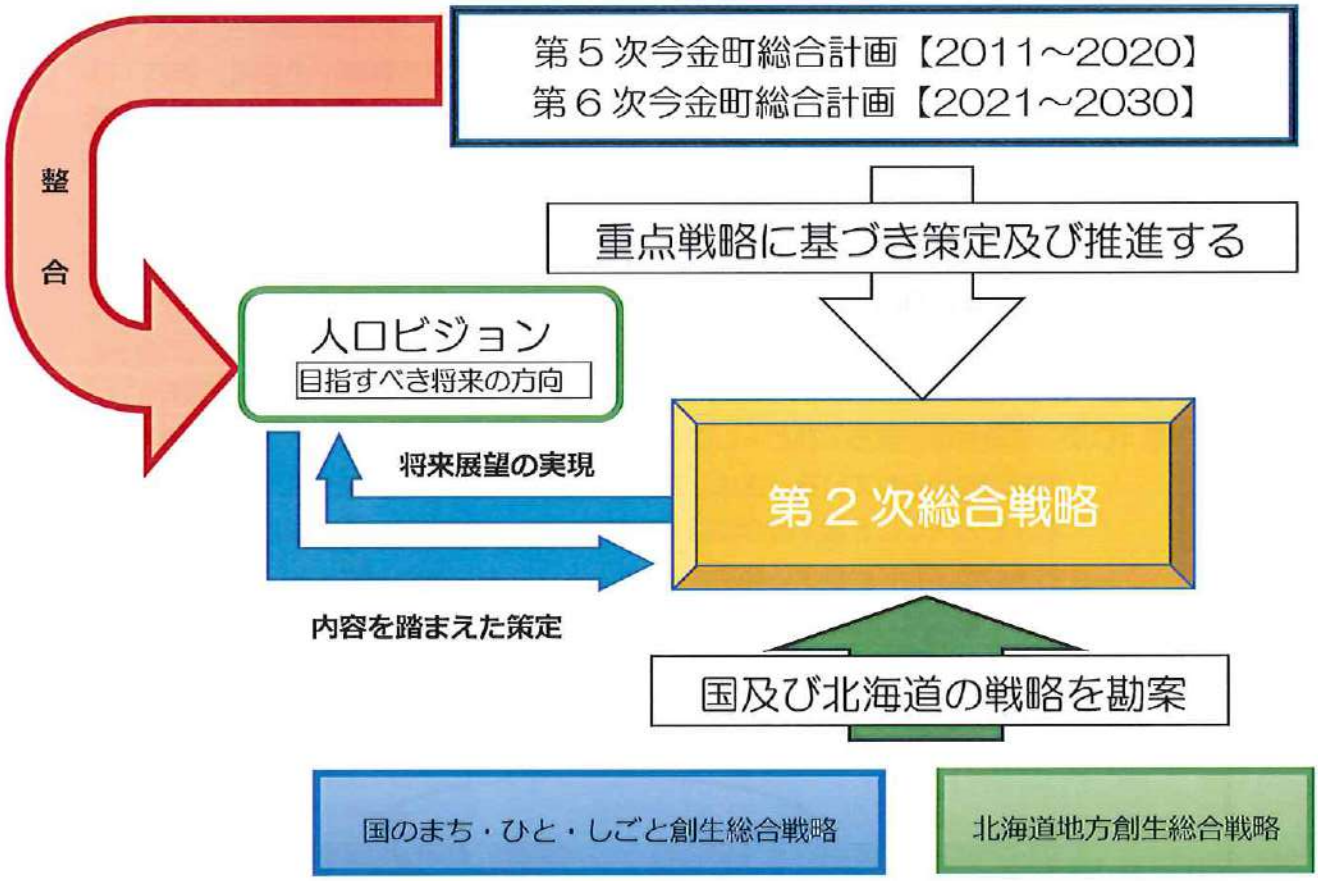
> 第 10 条　市町村は、まち・ひと・しごと創生総合戦略（都道府県まちひとしごと創生総合戦略が定められているときは、まち・ひと・しごと創生総合戦略及び都道府県まち・ひと・しごと創生総合戦略）を勘案して、当該市町村の区域の実情に応じたまち・ひと・しごと創生に関する施策についての基本的な計画（市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略）を定めるよう努めなければならない。



２．総合戦略策定の位置付け

第２次総合戦略は、第５次・第６次今金町総合計画（以下「総合計画」という。）の重点戦略に基づき、人口減少や少子化対策に対して、より効果的と考えられる施策を整理し定めるものです。

また、別途改訂する人口ビジョンにおいて示す、本町における人口の現状や課題及び目指すべき将来の方向性を踏まえ、さらに国や北海道の総合戦略を勘案し、策定するものとします。

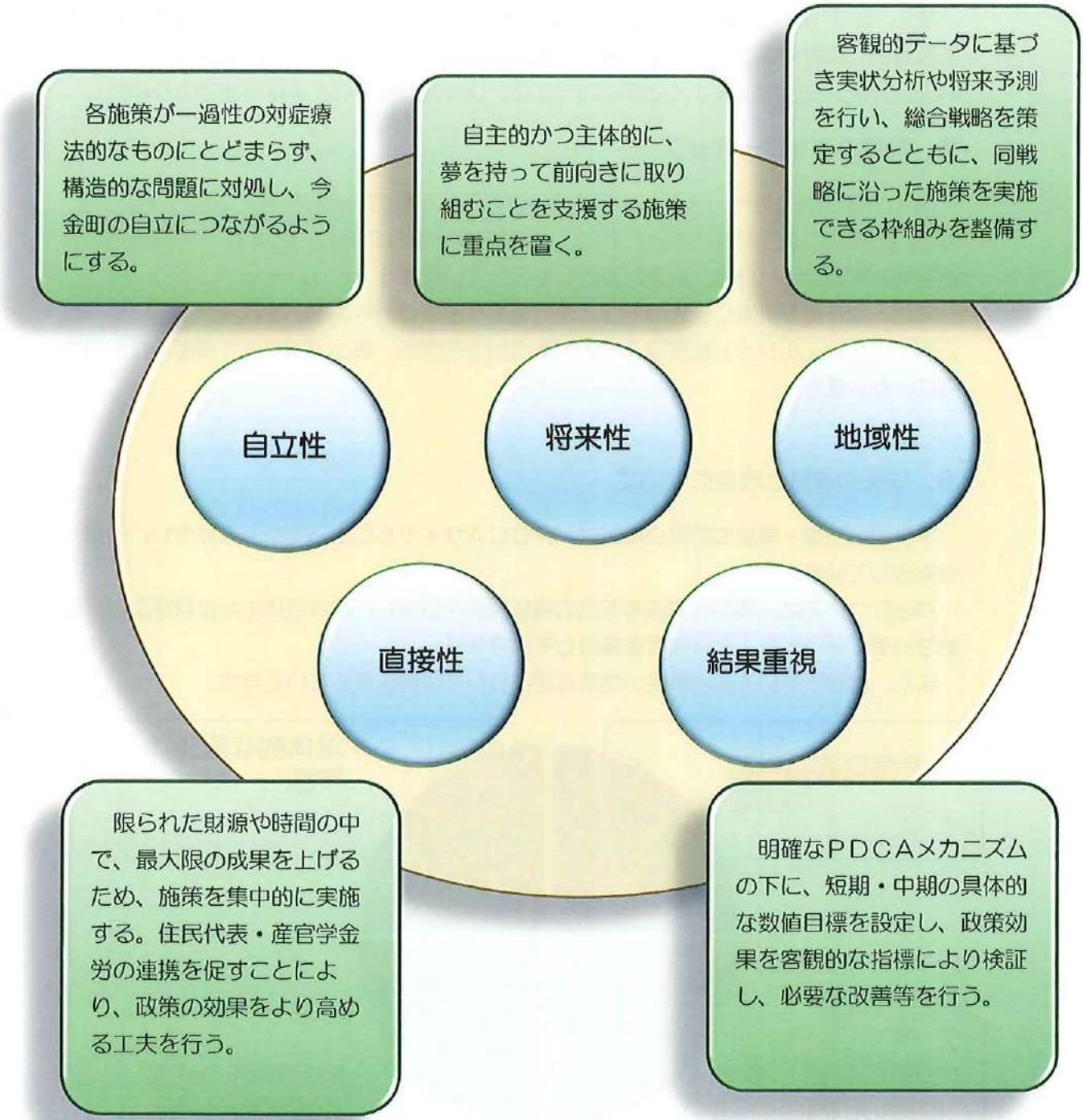


■第1次今金町まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証と

第2次今金町まち・ひと・しごと創生総合戦略の「新たな視点」

- 地方へのひと・資金の流れを強化する➡　関係人口、企業版ふるさと納税
- 新しい時代の流れを力にする　➡　Society5.0、ＳＤＧｓ、地方から世界へ
- 人材を育て活かす　➡　掘り起こし、若者人材活躍支援
- 民間と協働する　➡　ＮＰＯ，地域づくりを担う企業等連携
- 誰もが活躍できる地域社会をつくる　➡　女性、高齢者、障がい者、外国人等が活躍社会の形成
- 地域経営の視点で取り組む　➡　地域をマネジメント

３．総合戦略の政策５原則



４．計画の体系と期間

国の示す政策４分野『①安定した雇用を創出する　②新しいひとの流れをつくる　③若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える　④地域をつくり安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する』ごとに５年後の基本目標を設定します。
その際、基本目標は、実現すべき成果に係る数値目標とします。

また、政策分野ごとに講ずべき施策の基本方向と具体的な施策を記載し、各施策の効果を客観的に検証できる指標（重要業績評価指標（ＫＰＩ）Key Performance Indicators）を設定します（計画期間：２０２０年度から２０２４年度までの５年間）。

５．計画のフォローアップ

第１次総合戦略をベースとし、今後策定される北海道の総合戦略等との整合を図りながら、広域的な連携を進めるとともに、「地域経済分析システム」による、詳細な経済分析を加味するなど、随時、必要な見直しを行っていきます。

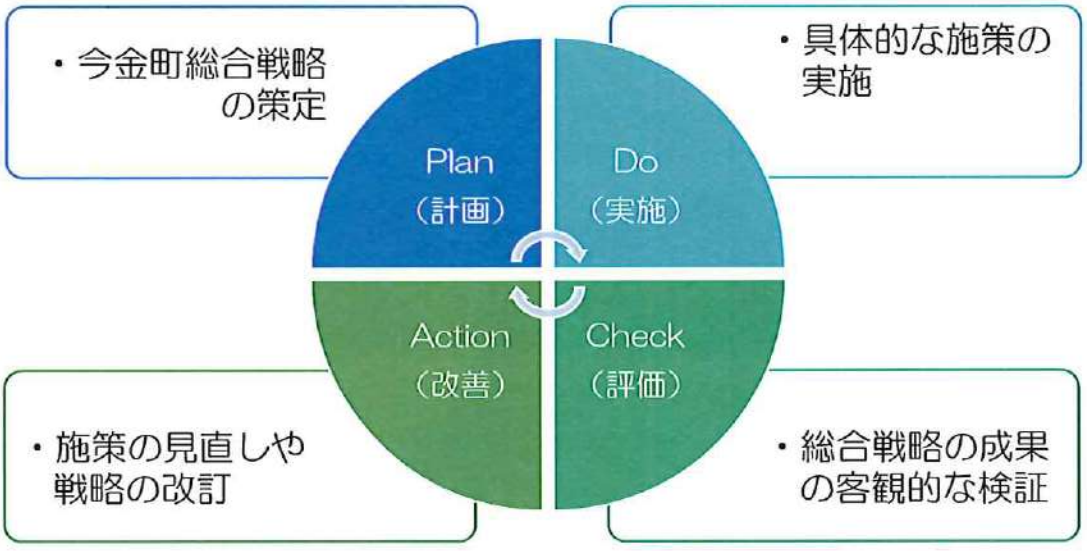
また、取り組み推進に当たっては、地方創生推進交付金等の国の財政的支援制度や「地方創生コンシェルジュ」制度などの人的支援制度を含め、国の支援制度を積極的に活用することとします。

６．効果の検証と改善について

本計画の施策・事業の効果の検証は、ＰＤＣＡサイクルによる効果的な見直し、改善を実施していきます。

検証については、外部有識者等を含む検証機関を設置し、基本目標の数値目標及び具体的な施策に係るＫＰＩの達成度を検証していきます。

また、議会において総合戦略の効果検証についての報告をしていきます。



第２章　基本目標と政策分野

１．今金町の人口について

本町の人口構成及び産業人口

・本町の人口構成は、道と比べて少子高齢化が一層進んでおり超高齢社会に入っています。

また、産業人口では、第１次産業の比率が道全体の約４倍と高く、第３次産業は１９％ほど低くなっています。

	今金町		北海道		国	
総人口	５，６２８人		5,357,487 人		125,640,987 人	
15 歳未満人口 （割合）	５６６人 （10.0%）		608,296 人 （11.3%）		15,886,810 人 （12.6%）	
15~64 歳人口 （割合）	2,965 人 （52.7%）		3,190,804 人 （59.6%）		76,288,736 人 （60.8%）	
65 歳以上人口 （割合）	2,097 人 （37.3%）		1,558,387 人 （29.1%）		33,465,441 人 （26.6%）	
15 歳以上就業者数 （就業率）	2,825 人 （55.8%）		2,300,158 人 （48.4%）		55,757,100 人 （44.3%）	
第１次産業	820 人	29.0%	170336 人	7.4%	2,221,699 人	4.0%
第２次産業	386 人	13.6%	411569 人	17.8%	13,920,834 人	25.0%
第３次産業	1,592 人	56.4%	1718253 人	74.8%	39,614,567 人	71.0%

（２０１５　国勢調査）

２．今金町の特性（強み）と政策展開の視点

■優れた自然環境と生産環境が保たれている

特性と背景

○美しい山林があり、豊かな水、肥沃になった農地もある。

○町を東西に流れる一級河川後志利別川は、毎年行われている水質調査で、過去１８度「日本一きれいな川」となり、その清らかさを誇っている。その清流には１０科２３種の魚が確認されサクラマスをはじめとした川と海とを行き来する回遊魚が多く生息しており、町にとって母なる川となっている。

政策展開の視点

○豊かな自然資源の活用と積極的な情報発信により、国内外との交流や観光振興に役立てるとともに、一層の地域振興を図る。

○優れた自然環境と共生する持続可能なまちとして、定住の地として選ばれる要件につながる。

■農業を基幹産業として、安全で安心な農産物生産を進めている

特性と背景

○農業を基幹とする産業が興され、水稲、馬鈴薯(今金男爵)、麦、大豆などのほか、ダイコン、ニンジン、ミニトマトなど高収益作物が作られており、「今金型地域複合経営(「規模拡大」と「集約」)」を目指している。

政策展開の視点

○安全・安心な農産物の特産振興。

○第２次産業、第３次産業との連携による加工・販売の拡大(第６次産業化)。

○新規就農の確保による担い手と高齢化への対策。

■安全な環境のもと安心して住まえる

特性と背景

○交通事故、犯罪の発生も少なく、加えて、自然災害の発生も少なく、大きな被害もない立地環境にある。

政策展開の視点

○安全に住まえ、安心して子育てができる、「みんなで育てよう未来を担ういまかねの子」を目指すことができる。

■医療・福祉・教育サービス機能が保たれている

特性と背景

○認定こども園いまかね、へき地保育所、学童保育所、２小学校、１中学校などの教育施設、総合体育館、介護老人保健施設、国保病院などにより医療・福祉・教育サービスが提供されている。

政策展開の視点

○施設の利活用によるサービス提供の確保により、住む人の安心感と充実感を高めていく。

■“協力意識”と“行動力”のある町民

特性と背景

○サークル、グループ、団体等の活動が停滞なく行われ、“協力意識”と“行動力”のある人が数多く活躍しており、まちづくりが保たれている。

政策展開の視点

○民官一体、「協働」のまちづくりとより一層の町勢の振興。

３．今金町のまちづくりの課題

これからの本町のまちづくりにおいて解決していくべき戦略的課題を以下のとおり整理します。

課　　題	取 組 の 方 向
課題１　人口減少対策	バランスのとれた総合行政を行える適正人口規模を探る。 ・救急時医療、かかりつけ医療の確保 ・高齢者・障がい者・乳幼児などへの福祉サービスの提供と体制確保 ・幼児・初等・中等教育の確保充実 ・日常的買い物機能の確保 ・住民活動・自治会運営の確保
課題２　雇用の確保対策	民間での雇用の受け皿づくりと地域産業と福祉が調和した雇用の確保 ・女性の就業拡大、高齢者、障がい者の雇用確保
課題３　所得の確保対策	子どもを生み、育て、家族が二世代・三世代で暮らしを営むために働き、所得を得られるようにする
課題４　生涯プランの構築対策	時代にあった地域をつくり、安心して暮らし続けられるような対策に取り組む。 ・医療・福祉・介護サービスの確保 ・住居の確保 ・地域公共交通等の日常生活の支援 ・生きがいづくり ・空き家対策 ・防災・減災対策
課題５　今金町のイメージアップ対策	タウン・プロモーションは地域再生、観光振興、住民協働など様々な概念が含まれている。タウン・プロモーションの捉え方は、そこに住む地域住民の愛着度の形成と考えられ、その先には、地域の売り込みや自治体名の知名度の向上とも捉えることができる。さらに、自らの地域のイメージを高め経営資源の獲得を目指す活動と考えることもできる。タウン・プロモーションの取組は、多方面に広がっていく能動的な活動として戦略的に取り組む。

４．今金町人口ビジョンの達成に向けて

（１）現状と課題の整理

本町の人口は一貫して減少傾向にあり、2015年の総人口は、1960年と比べると6,811人（54.7%）減少しています。

年齢３区分別人口から現在の人口構造を見てみると、1960年代までは生産年齢人口は増加していたものの、1970年代に入ってからは、生産年齢人口、年少人口ともに減少に転じています。

また、1990年代には老年人口が年少人口を上回りその後も増加を続けています。

人口減少は一般的には、「第１段階：老年人口の増加（若年人口は減少）」「第２段階：老年人口の維持・微減（若年人口は減少）」「第３段階：老年人口の減少（総人口の減少）」の３つの段階を経て進行するとされています。本町においては、2025年以降老年人口の減少が加速し、全国よりも30年も早く「第３段階：老年人口の減少（総人口の減少）」へと入っていくことが見込まれています。

自然増減については、1970年代までは出生数が死亡数を大きく上回っていたものの、1986年からは出生数の減少に伴い、死亡数が出生数を逆転する「自然減の時代」が続いており、その差も大きくなってきています。これは、生産年齢人口の減少に伴う子育て世代の減少が主要因と考えられており、将来的な自然増を図るため、子育て支援策などを推進することが今後の課題となっています。

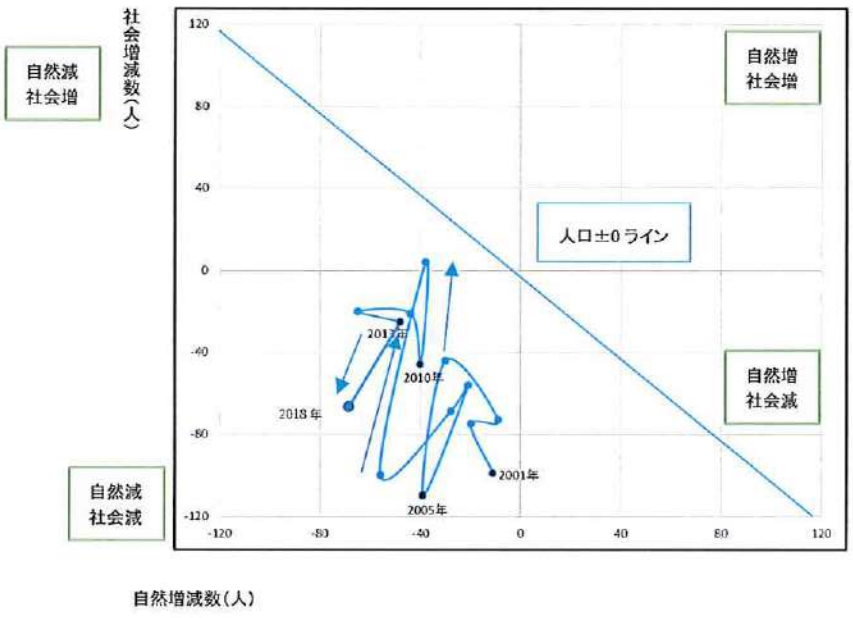
社会増減については、転入数、転出数ともに年による変動はあるものの、一貫して転出超過（社会減）が続いており、特に10代後半から20代前半での人口流出が多くなっています。

将来の人口推計について、国立社会保障・人口問題研究所（以下、社人研）の推計によると、2015年に5,628人であった人口が、2060年には2,013人まで減少する（64.2%減）と推計されています。

また、社人研推計をベースとしたシミュレーション１（合計特殊出生率が人口置換水準の 2.1 まで上昇した場合）とシミュレーション２（合計特殊出生率が人口置換水準の 2.1 まで上昇し、かつ人口移動がゼロで維持推移した場合）の人口推計を行った結果、2060 年にはシミュレーション２の場合と比べ、1,006 人（25.9%）の定住が確保できると予測されています。

シミュレーション人口推計の分析から、町においては自然増減より社会増減の方が人口に与える影響度は高くなっており、出生率の上昇や子育て支援策など自然増につながる施策の合わせ、転出抑制、転入促進などの社会増対策に取り組むことが特に重要であると考えられます。

【人口目標設定のための分析1（総人口の推移に与えてきた自然増減と社会増減の影響）】



自然増減、社会増減ともにマイナスであるため、人口増減数は減少を続けているが、グラフは上方向へ推移しており、社会増減の減少幅は縮小していることを表している。

将来人口に及ぼす人口動態の影響度について、今金町では、自然増減の影響度が「2（影響度 105～110%）」、社会増減の影響度が「4（影響度 100～110%）」となっています。この分析から、出生率の上昇など自然増減の増加を図る施策を進めることで 5～10%程度転出抑制など社会増減の増加を図る施策を進めることで 0～10%程度、社人研推計よりも将来の人口が増加する効果があると予測されています。

このことから、町において人口の出生率の上昇など自然増につながる施策も必要ですが社会増をもたらす施策に取り組むことが特に重要であると考えられます。

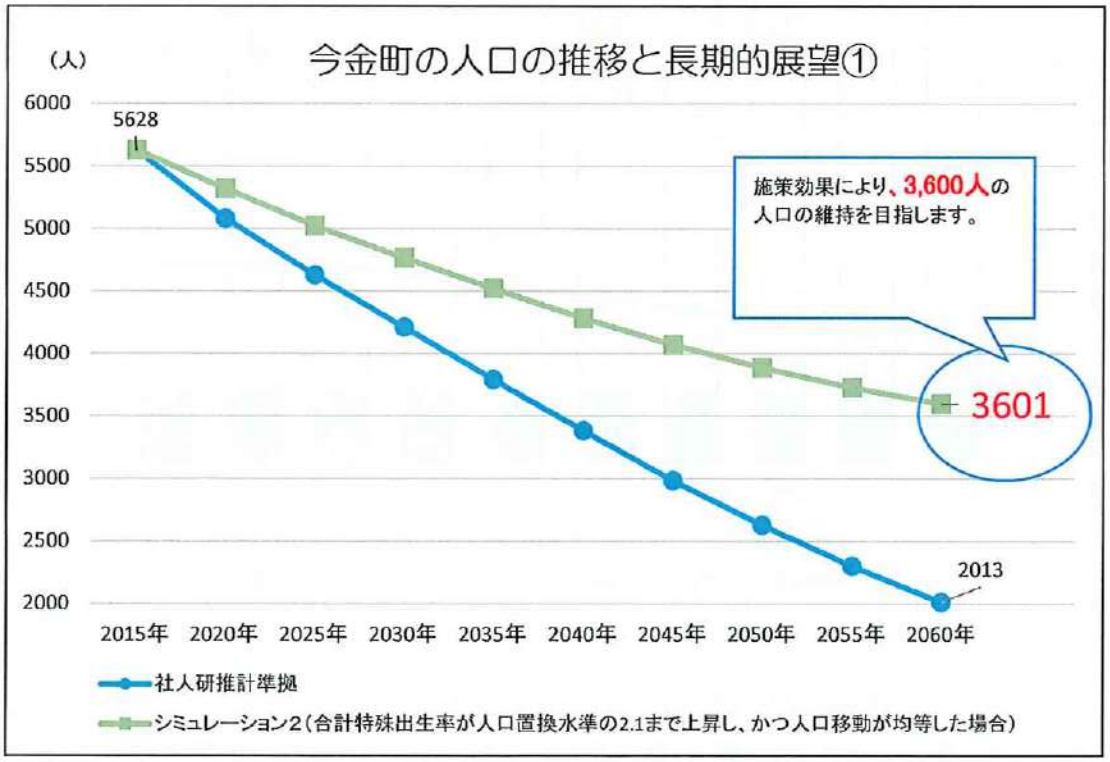
【人口目標設定のための分析2（将来人口に及ぼす自然増減・社会増減の影響度の分析）】

分類	計算方法	影響度
自然増減の影響度	シミュレーション１の 2040 年推計人口=3,471 人 パターン１（社人研推計準拠）の 2040 年推計人口=3,383 人 影響度=3,471/3,383=102.60%	2
社会増減の影響度	シミュレーション２の 2040 年推計人口=4,281 人 シミュレーション１の 2040 年推計人口=3,471 人 影響度=4,281/3,471=123.33%	4

（2）人口の将来展望

今金町では、将来人口推計の分析などを踏まえ、2060 年に人口規模 3,600 人の維持を目指します。

社人研の推計では、2060 年の人口は、2015 年の 5,628 人から 2,013 人まで減少することが推計されています。人口推計シミュレーション２によると、人口減少対策に取り組み、自然増減や社会増減が現状よりも改善されれば、2060 年の人口は 3,601 人となり、社人研の推計と比べて 1,588 人も施策効果により人口が増加することが見込まれています。



■合計特殊出生率の上昇

国の長期ビジョンにおける合計特殊出生率と同程度の目標を目指し、2030 年までに人口置換水準の 2.1 を達成し、以降は 2.1 の維持を図ります。

■社会増を図る

10 代後半～20 代前半での人口流出が多くなっている町の現状を改善し、若い世代の就労の希望を実現するための雇用環境の創出を図るとともに、安心して子育てをできる環境も整え、若年層、子育て世代の社会増を図り、町全体の転出数、転入数が同数（人口移動が均衡しゼロとなる）程度となることを目指します。



人口の長期的展望を年齢３区分別に見てみると、年少人口（0～14 歳）は、合計特殊出生率の向上と社会減から社会増への転換により、2025 年以降増加に転じ、2045 年以降は横ばいで推移します。構成割合は、2020 年以降上昇を続け、2055 年には 15.0%に達します。

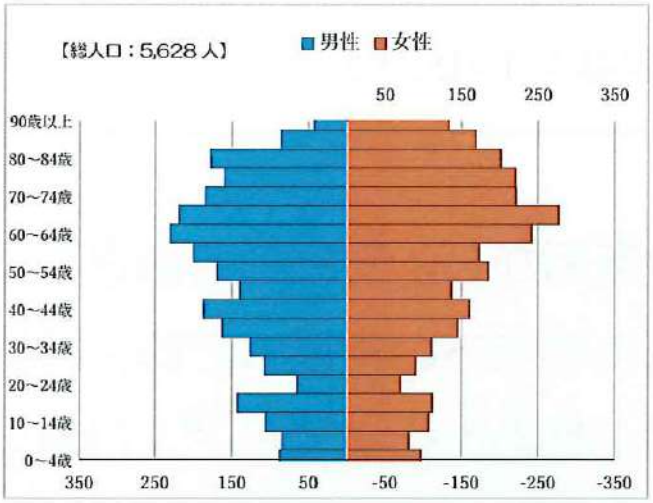
生産年齢人口（15～64 歳）は、年少人口より遅れて合計特殊出生率の向上の効果があらわれるため、2050 年頃までは減少を続けますが、その後は横ばいで推移します。構成割合は、2040 年頃まで横ばいで、以降は上昇に転じます。

老年人口は、2030 年まで増加を続けたあと、以降は減少して推移します。構成割合は、2030 年頃にピークを迎え、合計特殊出生率の向上の効果も相まって老年人口の割合は緩やかに減少することが予測されています。

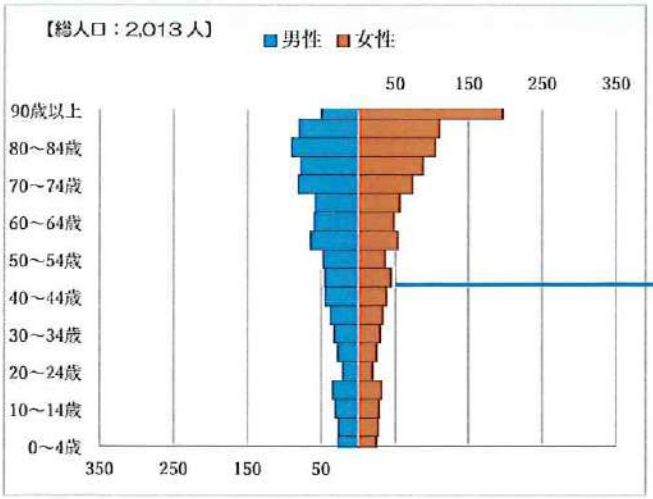
		年少人口	生産年齢人口	老年人口
2015年	人口（人）	566	2,965	2,097
国勢調査	比率（%）	10.0%	52.7%	37.3%
社人研推計	人口（人）	167	777	1,069
2060年	比率（%）	8.3%	38.6%	53.1%
シミュレーション2	人口（人）	558	1,919	1,124
推計（町目標）	比率（%）	15.5%	53.3%	31.2%
2060年				

（3）人口ピラミッドで見る将来人口の人口構造

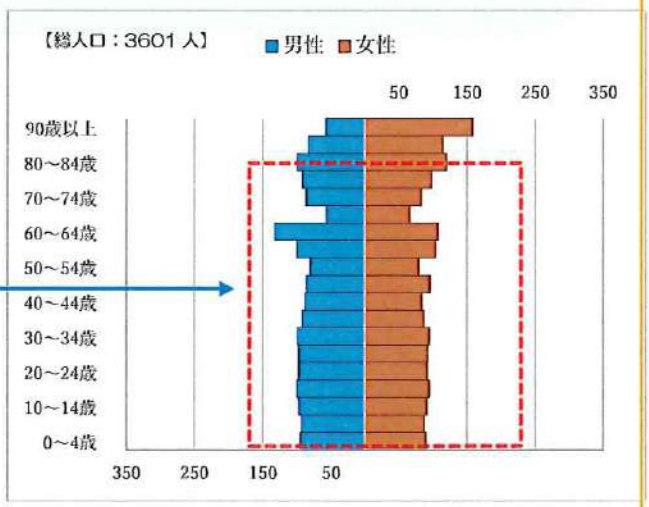
【人口ピラミッド２０１５年現在)】



【社人研推計人口ピラミッド 2060年)】



【町目標将来人口ピラミッド 2060年】



５．今金町まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本コンセプト

本町は、これまで、農業を基幹産業としてまちづくりを進めてきました。近年では、障がい者雇用・高齢者のケアをはじめ福祉関連施策に手厚い支援をしてきており、加えて、福祉関連の従事者が多くいるように、今金町人口の大きな幹になっていることに示される福祉のまちでもあります。

これまで福祉施策、産業施策を推し進めてきたまちづくりの成果を踏まえるとともに、町の人口の現状と課題を踏まえて、人口減少に歯止めをかけるためのバランスのとれた人口構造の確立を目指すことを目標とし、第１次今金町まち・ひと・しごと創生総合戦略で設定したコンセプトを継続して更なる推進を図ります。

また、施策の推進にあたっては、本町における、人口減少と地域経済縮小の克服、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を目指すこととするため４つの基本目標をもとに施策展開を進めていくこととします。

【戦略の基本コンセプト】

本町の魅力を活かし、安心して働き、子育てができ、住み続けられるまちの実現のため、『福祉と地域産業』を調和させる仕組構築など人口減少対策に直結するアイディアを絞り込んで重点施策を進めていく。

６．今金町人口ビジョンを達成するための総合戦略の体系図

基本目標１　今金町における安定した雇用を創出する

１	障がい者が地域産業の担い手としての活躍の場づくり
２	地域の特徴を生かした産業連携によるモノづくり産業の振興
３	農林業における新規就農者の促進
４	担い手の育成対策の強化
５	求人情報の提供と情報発信の実施
６	産業後継者の育成奨励
７	足腰の強い地域産業構造の構築
８	空き家・空き店舗等を活用した起業支援や情報発信
９	多様な人材の活躍の推進

基本目標２　今金町へ新しいひとの流れをつくる

１	町の拠点施設の整備による町の顔づくり
２	観光資源の発掘と地域特産品の活性化
３	地域の再生を加速化させる
４	定住・移住対策に係る条件整備の構築
５	スポーツによる交流の推進
６	地域おこし協力隊への支援対策の推進
７	大学など連携活動の展開
８	中心市街地のにぎわい創出支援
９	いまかね応援団のネットワーク強化

基本目標３　若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

１	積極的な結婚支援や社会気運の醸成
２	町の特性を活かした子育て支援の推進
３	教育環境の整備による教育力の向上
４	子育て支援による働きやすい環境をつくりだす

基本目標４　地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する

１	独自の自然・歴史資源の発信による地域の魅力向上
２	若者まちづくり活動支援
３	現在の生活基盤の維持のための支援の実施
４	広域連携による経済の活性化
５	地域ぐるみによる防災体制の充実
６	地域コミュニティの活性化
７	まちのインフラの長寿命化・公共施設の維持管理の最適化
８	緊急時の医療の確保と地域医療等の充実

第３章　第１次今金町まち・ひと・しごと創生総合戦略の総括結果

第２次総合戦略の策定にあたっては、第１次総合戦略の成果や課題を評価検証し、これらを反映した計画にすることが重要です。
ここでは、第１次総合戦略に基づいて実施した2015年度から2019（見込み）年度までの取り組みについてＫＰＩ達成度の成果や課題を示しております。

基本目標１　今金町における安定した雇用を創出する

基本目標：町内産業総売上高2012年220億⇒現状維持
196億円（2016経済センサス）
未達成（人口減少に伴う産業総売上高減のため）



施策	重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（2014）	実績値 2015~19	成　果	課題（ＫＰＩ未達成の理由等）
障がい者が地域産業の担い手としての活躍の場づくり	養護学校卒業生の雇用 ５年→ 7人	０人	１２人	今金高等養護学校卒業生の雇用促進につながった。	障がい者が地域産業の担い手として活躍できるよう更なる支援が必要。
地域の特徴を生かした産業連携によるモノづくり産業の振興	調査研究・開発件数 ５年→５件	０件	９件	新型農業（水耕栽培等）の調査研究支援や特産品開発支援によって産業の振興につながった。	新型農業等新たな産業の調査研究への継続支援、特産品開発支援の新商品のＰＲ発信等が課題。
農林業における新規就農者の促進	新規就農者数５年→２人	０人	０人 【未達成】	今金町で新規就農を希望する者が少ない。また、離農者の農地は地元農業者にスムーズに譲渡・賃貸されており新規就農希望者が新たに農地を確保することは困難。	引き続き新規就農希望者を含め農業研修生労働者の受け入れの強化を図るがＫＰＩ設定の見直しで新規就農者の受け入れ条件を明確化する。
担い手の育成対策の強化	認定農業者数 ５年→200人	２００人	２２２人	ＫＰＩが22人増の認定農業者数は評価できる。	担い手の育成対策強化のための継続的支援が必要
	農地改良支援件数 ５年→ 15件	０件	２０件	ＫＰＩが５件増の農地改良支援実績は評価できる。	農業の多面的機能保持や土地改良整備等の支援が必要
求人情報の提供と情報発信の実施	Ｕ・Ｉターン移住者数 ５年→　22人	０人	２５人	ＫＰＩがＵ・Ｉターン移住者の３人増の実績は評価できる。	Ｕ・Ｉ希望者へ求人情報提供と情報発信を継続的に行う。
産業後継者の育成奨励	産業後継者数 ５年→15人 (農)、7人(商)	０人	農１３人 商６人 【未達成】	農業・商工業後継者のＫＰＩは未達成であったが、育成奨励事業は一定の評価ができる。	産業後継者数のＫＰＩ数値の見直しが必要 産業後継者育成は継続的に必要。
足腰の強い地域産業構造の構築	誘致企業数 ５年→３社	０社	１社 【未達成】	障がい者雇用を根ざした企業を１社誘致した実績は評価できる。	地方進出検討企業からの照会はあるが事業規模等とのアンマッチや立地条件（交通アクセス等）から誘致が実現しない事例もある。
空き家・空き店舗等を活用した起業支援や情報発信	空き家空き店舗活用５年→５件	０件	９件	ＫＰＩが４件増の空家空店舗活用実績は評価できる。	空家空き店舗活用に関する情報発信や支援事業が必要
多様な人材の活躍の推進	支援登録者数 ５年→ ３人	０人	５人	ＫＰＩが２人増の支援登録数は評価ができる。	ふれあいファミリーサポート支援登録者の促進が必要。

基本目標２　今金町へ新しいひとの流れをつくる



基本目標：転出超過 30 人（2014 年）⇒15 人（2020 年）

39 人（2017 年実績）

未達成（転出超過に歯止めがかからず転出増のため）

施策	重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（2014）	実績値 2015~19	成　果	課題（ＫＰＩ未達成の理由等）
町の拠点施設の整備による町の顔づくり	観光入込客数 5 年→70,000 人	59,000 人	70,000 人	国の交付金を活用してクアプラザピリカを交流拠点施設として再整備した。	交流拠点施設整備の推進を図るとともにソフト面の充実を図ることも課題
観光資源の発掘と地域特産品の活性化	特産品販売客数 5年→3,000人	2,000 人	3,000 人	広域的な観光イベント等での町のＰＲ活動や特産品販売拡大など交流人口増につながった。	町内外への魅力発信とイメージアップや観光資源の発掘と地域特産品の更なる活性化が必要
地域の再生を加速化させる	移住定住相談件数 5 年→25 件	0 件	71 件	移住定住相談件数は、年々増加傾向にあるがほとんどがちょっと暮らし体験関係となっている。	移住定住希望者の増加を図るため知名度ＵＰや魅力のＰＲなどの更なる推進が必要。
	ちょっと暮らし滞在日数 5 年→180 日	134 日	84 日【未達成】	2017 年には延滞在日数 164 日まで増加したが、ちょっと暮らし体験のニーズはあり、交流人口の一定の評価はできる	施設減少によりＫＰＩが達成できなかった。ちょっと暮らし体験から移住定住へつながらないことが課題。
定住・移住対策に係る条件整備の構築	住宅(賃貸含む)戸数 5 年→　8 戸	0 戸	戸建 34 戸 賃貸 18 棟 52 戸	マイホーム取得奨励事業 賃貸住宅整備促進事業等 住宅施策支援を重点的に展開した結果ＫＰＩ達成に大きくつながった。	各種住宅施策支援の継続と合わせ、空家等利活用を行い、定住施策につなげるなどの検討が必要
スポーツによる交流の推進	スポーツイベント参加者 5 年→230 人	178 人	337 人	ふれあい歩くスキー大会は４町連携事業として実施するなどスポーツ分野における交流人口拡大につながった。	新総合体育館完成によってスポーツに親しめる環境が整備され、更なるスポーツを通した交流機会の拡充が図られる。
地域おこし協力隊への支援対策の推進	新規定住数 5 年→　3 人	0人	4 人	地域おこし協力隊の様々な活動によって地域の活性化につながった。任期後、４名が定住した。	全国的に地域おこし協力隊のニーズがあり、募集しても応募がない状況。今後は様々なツールを使い戦略的な募集が必要
大学など連携活動の展開	大学生受入者数 5 年→150人	0人	205 人	各大学との連携を通して地域課題の解決を図ることができた、また研修生等受入等の促進も図った。	引き続き各大学との連携事業を通して、専門分野や新たな視点を取り入れ地域課題の解決を積極的に図ることが必要
中心市街地のにぎわい創出支援	経営改善普及事業数 5年→　5件	0 件	5 件	経営改善普及事業を通して中心商店街の振興と安定改善につながった	今後も中心商店街の振興と安定改善を図るため継続して経営改善普及事業を促進する必要がある。

基本目標３　若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本目標：今金町合計特殊出生率　1.39⇒　1.43（全国水準）
　　今金町　1.39（２０１８）
　　未達成（人口減少に伴い女性の割合が減少したため）



施策	重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値 2014	実績値 2015~19	成　果	課題（KPＩ未達成の理由等）
積極的な結婚支援や社会気運の醸成	婚活参加人数 ５年→ 100人	０人	１１５人	結婚相談所主催の婚活交流事業のほかに、せたな町２町合同婚活交流イベント事業を展開するなど若い世代の出会いの場を提供したことは評価できる	婚活交流事業を通して出会いの場を継続して提供するが、その後の結婚までの展開が課題。
町の特性を活かした子育て支援の推進	妊娠届出者数 ５年→ 185件	０件	１２４件 【未達成】	不妊症治療費等助成事業の成果も表れているが、経年的な婚姻数の減少に伴い妊娠届出者数も減少傾向にある。	不妊症治療費等助成事業の継続が必要。 ＫＰＩは実績に基づき修正が必要。
	妊婦健診受診券利用率 84%→維持	８４%	９６%	妊婦健診の助成や内容の拡充によって受診券利用率については、ＫＰＩの１２%増で達成し評価できる。	妊婦健診の助成の継続と健診内容の拡充を更に図り、産み育てやすい支援体制の確立が必要
	集団保育・個別保育実施人数 ５年→ ５人	０人	５人	集団保育・個別保育のＫＰＩを達成することができた。	心身発達の心配や遅れのある乳幼児に対し、集団保育・個別保育を更に充実させることが必要
	年間出生数 毎年 35人	０人	３０人 【未達成】	婚姻数は減少しているが出生数が３０人前後を推移してきた。背景には、第２子、３子を出産する世帯が増加したことが考えられる。	婚姻数が減少していることが出生数減少に大きく影響することから、結婚支援と合わせ子育て支援（出産奨励事業や保育料や医療費等の助成）の更なる充実が必要。
教育環境の整備による教育力の向上	特認校児童数 ５年 → ５人	０人	１３人	ＫＰＩを８人増で達成しているとおり、小規模特認校の制度の特徴ある教育活動へのニーズが高まっている。	小規模特認校制度のさらなる充実を図り地域の特色を生かした教育活動の充実が必要
	特別支援員の配置 ５年→５人継続	５人	５人	特別支援員の配置によりきめ細かな学習支援体制が図られ教育力の向上にがっている。	継続的に特別支援員の配置が求められるが、支援員の担い手不足が課題
子育て支援による働きやすい環境をつくりだす	待機児童数 ５年間ゼロの継続	０人	０人	放課後児童クラブ充実によってＫＰＩの待機児童ゼロを継続できた。	今後も放課後児童クラブ等の充実を図り働きやすい環境の支援が必要
	貸出しブース件数　５年→５件	０件	５件	貸出ブースとして町民センターこいもちゃん広場を提供してきたが、それ以外に貸出ブースがない。	貸出ブースのニーズについて再検討が必要。

基本目標４　地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する

本町の住民基本台帳人口　5824 人（2015 年）
→目標　5576 人（2020 年）
実績　5257 人（2019 年）未達成
（社会減・自然減に歯止めがかからず人口減のため）



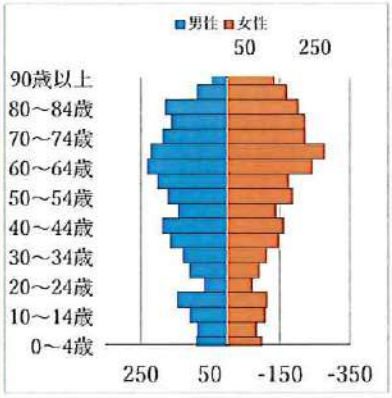
施策	重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（Ｈ２６）	実績値 H27~31	成　果	課題（KPＩ未達成の理由等）
独自の自然・歴史資源の発信による地域の魅力向上	宿泊客数 5年→ 10,000人	7,979人	15257 人	自然などを利用した街の魅力等を発信し宿泊客数が増加している。	今後とも、地域資源を活用したＰＲ等発信をするとともに、受入態勢の整備が必要。
若者まちづくり活動支援	活動支援数 5年→　5件	0件	13 件	まちおこしや人材育成を支援事業の活用によって地域の活性化が図られた。	継続的にまちおこしや人材育成を目的とした有志団体の活動支援が必要。
現在の生活基盤の維持のための支援の実施	バスカード購入者数 5年→1,200人	0人	641 人 2017 終了 【未達成】	期間限定の政策のため、ＫＰＩは未達成だったが幹線バスの利用促進策と高齢者の外出機会の支援として一定の成果が見られた。	バスカード購入助成事業に代わる新たな生活交通支援の検討が必要
	デマンドバス利用者数 5年→4,600人	3400人	4600 人 【達成予定】	現在４地区で運行中、新たに市街地運行によって利用者増につながりＫＰＩ達成予定。	町全体の地域交通サービスの在り方を検討する必要がある。
	外出支援者数 5年→ 120人	0人	124 人	ＫＰＩは達成 外出支援者数 2017 で終了	次期ＫＰＩ設定を見直す
広域連携による経済の活性化	連携事業数 5年→ 10件	0件	14 件	ＫＰＩは４件増で達成しており一定の成果があった。	北渡島檜山エリア檜山７町、定住自立圏等の事業検証を行い継続検討が必要。
地域ぐるみによる防災体制の充実	消防団員数 5年→ 93人	78人	81 人 未達成	人口減少に伴い、新入団も減少している。 今後も啓発活動を継続	人口減少に伴い、新入団も減少している。 今後も啓発活動を継続
地域コミュニティの活性化	施設利用人数 5年→ 20,000人	17,798人	21,334 人	人口減少しているが、町内１７施設利用者は増加している。コミュニティが保持されている。	更なる施設利用促進を図る支援なども今後検討が必要。
まちのインフラの長寿命化・公共施設の維持管理の最適化	除雪路線延長 5年→ 体制維持	体制維持	体制維持	除雪路線体制が維持され、一定の成果ある。	ＫＰＩ設定を除雪路線延長とするか再度検討する。
緊急時の医療の確保と地域医療等の充実	健康相談・健康教育者数 5年→2,800人	2,578人	1182 人 【未達成】	人口減少に伴い健康相談・健康教育者数の設定が未達成となった。	人口推移や利用実績に基づく数値目標指標の検討が必要。
	地域連携員の配置 5年→1人 継続	1人	1 人	地域連携員の配置によりきめ細かな医療相談が図られた。	今後も、地域連携員による医療相談サポートの継続が必要。

第４章 第２次まち・ひと・しごと創生総合戦略における基本目標別施策

2060 年に人口規模 3,600 人の維持を目指します。

現　状

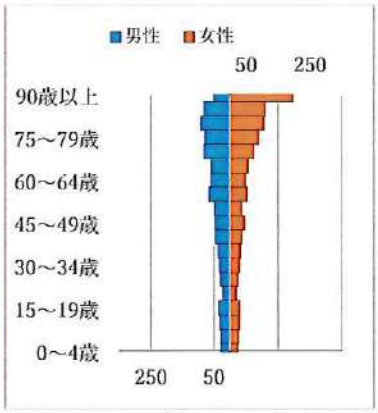
【人口ピラミッド（平成 22（2015）年現在）】



老年人口	2,097
生産年齢人口	2,965
年少人口	566
計	5,628

社会保障・人口問題研究所推計

【社人研推計人口ピラミッド（2060）年】



老年人口	1,069
生産年齢人口	777
年少人口	167
計	2,013

今金町の強みと政策展開の視点

優れた自然環境と生産環境が保たれている



農業を基幹産業として、安全で安心な農産物生産を進めている



医療・福祉・教育サービス機能が保たれている



安全な環境のもと安心して住まえる



“協力意識”と“行動力”のある町民



1　今金町における安定した雇用を創出する

2　今金町へ新しいひとの流れをつくる

本町の魅力を活かし、安心して働き、子育てができ、住み続けられるまちの実現のため、『福祉と地域産業』を調和させる仕組構築など人口減少対策に直結するアイディアを絞り込んで総合戦略の重点施策を進めていく。

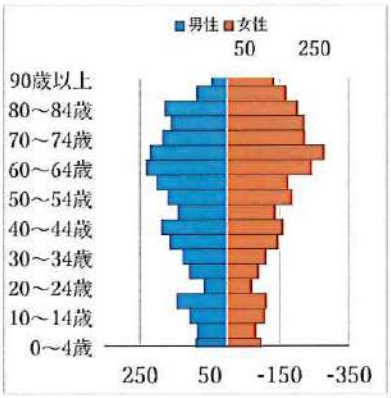
【雇用の拡大、社会減、自然減の抑制】

3　若い世代の結婚・出産・子育てをかなえる

4　地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する

施策効果発揮後の姿

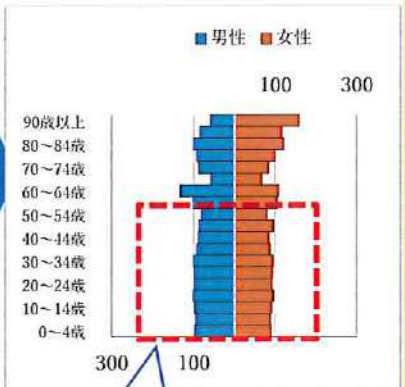
【人口ピラミッド（平成 22（2015）年現在）】



老年人口	2,097
生産年齢人口	2,965
年少人口	566
計	5,628

施策効果による推計

【町目標将来人口ピラミッド（2060 年）】



町目標人口では、年少人口、生産年齢人口の層が厚くなり、老年人口の比率も低くなる。

老年人口	1,124
生産年齢人口	1,918
年少人口	558
計	3,600

基本目標１．今金町における安定した雇用を創出する

（１）基本とする目標

町内産業総売上高（経済センサス活動調査）【２０１６総売上高　１９６億円】

を2024年も現状維持とする

（２）講ずべき施策に関する基本的方向

人口減少対策においては、地域の活力と持続可能性の基礎となる産業と雇用の創出は必要不可欠なものです。

本町の基幹産業である農業における「今金型地域複合経営」の促進、福祉分野での雇用の創出を図るとともに、民間での受け皿づくりにより女性、高齢者、障がい者の就業機会の拡大を目指します。

（３）具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指数

具体的な施策	主な取り組み	重要業績評価指標（KPI）
◆ 障がい者が地域産業の担い手としての活躍の場づくり 町内にある道立特別支援学校の卒業生に対する就職相談や雇用主に対する相談・支援を進め、学校生活から社会生活へのスムーズな移行を図り、雇用と定住促進を進めます。	・今金高等養護学校卒業生雇用の促進 ・各機関と連携した産業支援体制の強化 ・新ビジネス創出となる交流機会の提供	養護学校卒業生の雇用 2人（2018） 5年間　→5　人
◆ 地域の特徴を生かした産業連携によるものづくり産業の振興 新たな産業の調査研究を進めるとともに、６次化(特産品を活用した)商品の開発の調査の支援に取り組みます。	・新型産業参入への支援 ・特産品を活用した商品開発の支援 ・Society5.0時代のスマートで持続可能な農業の調査研究	調査研究・開発件数 1件（2018） 5年間→3件
◆ 農林業における新規就業者の促進 多様な担い手の確保や育成を図りながら、新規就農者の受け入れ条件を明確化し、長期的な農業経営が可能な人材を確保する。林業については、高性能林業機械導入等による、森林整備事業量増加に伴い、林業従事者の新規雇用を促進する。	・新規就農者総合支援 ・土地等の情報提供 ・農業基盤・林業基盤の整備	新規就業者数 0人（2018） 5年間→ 2人 農業　1人 林業　1人

◆ 担い手の育成対策の強化 経営の担い手育成・新規参入者の発掘など地域産業の課題解決に努めます。また、農業経営の収益と効率化の改善を支援します。	・担い手確保対策・育成支援 ・経営安定を図る事業への経費助成	認定農業者数 222人（2018） ５年間→200人
◆ 農地の維持保全 農地、農業用水路等の保全・管理のための共同活動の取組や、中山間地域等における農業生産活動を継続するための取組など、農業の有する多面的機能の向上を図ります。	・農業の多面的機能保持 ・土地改良施設の計画的整備、補修	支援件数 ４件（2018） 5年間→　20件
◆ 求人情報の提供と情報発信の実施 求人情報を収集することに加え、地方定住のメリットを生かした町ホームページ・回覧等による広報活動を行い、町内事業所の長期的な人材育成を効果的・効率的に支援します。	・Ｕ・Ｉターン者の就労支援 ・就職情報発信等による若者雇用の推進	Ｕ・Ｉターン移住者数 ６人（2018） 5年間→　１５人
◆ 産業後継者の育成奨励 町内の農林商工業者の子弟が新たに町内で後継者として従事した場合に育成奨励を実施し、若者の雇用、定住促進につなげます。	・後継者育成に係る奨励支援	産業後継者数 ６人（2018） 5年間→１０人(農)、 ２人(商)
◆ 足腰の強い地域産業構造の構築 企業規模や創業段階に応じた段階的な助成など企業ニーズに応じたインセンティブの充実を図ります。また、地域の安全性をアピールした企業及び個人起業家の誘致に努めます。	・企業立地に向けた助成 ・テレワーク（企業人）の誘致事業	ワーキングスティ利用者数 １人（2018） 5年間→　１０人
◆ 空き家・空き店舗等を活用した起業支援や情報発信 将来の本町の産業を担う起業者を対象とし、空き家・空き店舗の貸出しの支援、小規模テナント等による事業開業の支援を行います。	・空き店舗活用・事業開業の助成	空家空店舗活用件数 4件（2018） 5年間→　２件
◆ 多様な人材の活躍の推進 幅広い課題に対応する相談機能の仕組みづくりや様々な分野で支援・協働する人材のネットワーク構築の推進に努めます。	・ふれあいファミリーサポートの推進	支援登録者数 ５人（2018） 5年間→　３　人

総合計画上の位置づけ

- ■ 基本計画１３　農林業振興（１）農業経営体質強化の促進
- ■ 基本計画１３　農林業振興（２）高品質で環境にやさしい農畜産物の安定生産の促進
- ■ 基本計画１３　農林業振興（３）販売強化
- ■ 基本計画１３　農林業振興（４）基盤整備による効率的な農地利用の推進
- ■ 基本計画１３　農林業振興（５）林業の振興
- ■ 基本計画１４　商工業振興（１）事業所の体力づくりへの支援・指導
- ■ 基本計画１４　商工業振興（２）多様なビジネス展開の促進
- ■ 基本計画１４　商工業振興（３）勤労者の就労環境の向上

基本目標２．今金町へ新しいひとの流れをつくる

（１）基本とする目標

２０２４年までに本町からの転出超過数を2018年の約半分の31人とする
2018年～転入数　162人、転出数　225人

（２）講ずべき施策に関する基本的方向

本町には美しい山林、一級河川後志利別川の豊かな水、肥沃な農地といったまちの財産があります。観光だけではなく、様々な農林業体験イベントの開催や交流も含めた誘客を図ることで、経済効果の創出と地域の活性化を目指すとともに、優れた自然環境と共生する持続可能なまちとして、定住の地として選ばれるよう移住・定住の促進策などを推進していきます。

また、ふるさと応援大使やさっぽろ今金会等の今金町出身者やゆかりのある方々との連携を図り、町のＰＲ活動を通して新たな交流人口、関係人口の増加を推進します。

（３）具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指数

具体的な施策	主な取り組み	重要業績評価指標（ＫＰＩ）
◆ 町の拠点施設の整備による町の顔づくり 地域独自の個性を生かした町の物産販売等の拠点施設の充実を図ります。	・公共的トイレの充実 ・物産販売拠点の推進	年間入込客数 63,000人（2018） ５年後→ 現状維持 特産品販売客数 2,500人(2018) ５年後→ 3,000人
◆ 観光資源の発掘と地域特産品の活性化 地域資源の価値を再発見し、磨き上げ、発信することによって、地域の活力を生み出し、町民の地域に対する誇りを醸成するとともに、町内外へ本町の魅力を浸透させ、本町の認知度向上やイメージアップを図るため観光特産品の販売の拡大など、観光の活性化を通じた交流人口の増加を図ります。特にＧＩ（日本地理的表示）を取得した今金男しゃくのブランド力を活かした新たなＰＲ等を支援します。	・広域的な観光イベント、特産品のＰＲ活動など町の魅力を発信 ・観光推進体制の強化による交流人口の増加対策 ・ＧＩ取得した今金男しゃくを活用したＰＲ戦略の支援	
◆ 地域の再生を加速化させる 町には多くの魅力があるにも関わらず、知名度の低さから人口流出が課題となっていることから、良質な雇用の充実、歴史的景観、自然環境の豊かさなど、魅力をPRし、知名度を高めることにより、移住促進を推進します。ちょっと暮らし事業等の更なる充実を図ります。	・着地型観光商品の開発、販売促進 ・二次交通網の整備等周遊観光システムの確立 ・ちょっと暮らし事業の更なる充実	移住定住相談件数 18件（2018） ５年後→　２５件 ちょっと暮らし滞在日数 ８４日(2018) ５年後→ １００日

◆ 定住・移住対策に係る条件整備の構築 本町に移住・定住するためのきっかけづくりに取り組み、移住・定住を支援する体制を構築します。	・子育て世代の移住、定住の促進 ・賃貸住宅に係る支援 ・町有地の積極的有効活用の実施 ・空家等の利活用	住宅(賃貸含む)戸数 ０戸（2019） 5年間→　１０戸
◆ スポーツによる交流の推進 スポーツイベントを通じた町内経済の好循環を第一に、地域内、他地域の人々との交流を活発化し、年間を通じ賑わいや活性化が図られるまちづくりを目指します。	・スポーツに親しめる環境整備 ・スポーツ分野における交流人口拡大	スポーツイベント参加者 200人（2018） 5年間→　2,000人
◆ 地域おこし協力隊への支援対策の推進 地域おこし協力隊の積極的な活用及び任期後に本町に定住できるよう就業の支援を行います。	・地域の人々・企業との交流などフォローアップ事業の展開	新規定住数 1人（2018） 5年間　→　5人
◆ 大学など連携活動の展開 北翔大学や札幌国際大学等の連携事業活動の充実をはじめ、福祉や農業関連の研究活動生等の受け入れを進めます。	・各大学との連携事業の発展的展開 ・連携大学の研究フィールド活動の誘致 ・研修生等の受け入れ促進	大学生受入れ者数 90人（2018） 5年間→　４５０人 北翔　30人 国際大　30人 東洋大　30人
◆ 中心市街地のにぎわい創出支援 新たな出会いや活躍の場、魅力や価値を感じることができる場として、中心市街地の機能向上を図ります。	・商店街の振興と安定改善に係る支援	経営改善普及事業数 1件（2018） 5年間 →　5件
◆ いまかね応援団のネットワーク強化 今金町ふるさと応援大使やさっぽろ今金会等、今金出身者やゆかりのある方々と更なる連携を図り、町のＰＲ等を通して、新たな関係人口、交流人口の増加を図ります。	・さっぽろ今金会等の連携事業 ・ふるさと応援大使協力事業 ・ふるさと納税の促進 ・企業版ふるさと納税の推進	ふるさと納税寄付件数 1989件（2018） 5年後→　2300件

総合計画上の位置づけ

- ■ 基本計画１０　社会教育　（５）国際交流活動の推進
- ■ 基本計画１４　商工業振興　（２）多様なビジネス展開の促進
- ■ 基本計画１５　観光・交流・定住（２）観光・交流・定住に関するコーディネート機能等の整備
- ■ 基本計画１５　観光・交流・定住（３）地域資源を活かした観光・交流の推進

基本目標３．若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

（１）基本とする目標

合計特殊出生率：全国平均との乖離を縮小し、２０２４年までに全国水準の1.43まで引き上げる。　今金町　1.39（2018）

（２）講ずべき施策に関する基本的方向

本町は国保病院、介護老人保健施設、認定こども園いまかね等医療・福祉・教育サービス機能が保たれています。今後は、救急医療・かかりつけ医療の確保、乳幼児などへの福祉サービスの提供体制の確保、幼児・初等・中等教育の確保を図り、子どもたちが健やかに成長できる地域を目指します。また、子育てをする家庭が仕事との両立を図ることができるよう、子育ての本来的な役割は家庭にあることを基本としながらも、地域が子どもを見守り、出産や育児にかかる家庭の負担を軽減し、若い世代が結婚から出産、子育てに希望を持てる地域の実現を目指します。

また、子どもの時から「働くこと」や「ふるさと」に興味、関心を持つことや、地域の一員としての自覚を促す教育を推進するとともに、今金町を支える産業や福祉、地域づくりの核となるリーダーの系統的な育成に努めます。

（３）具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指数

具体的な施策	主な取り組み	重要業績評価指標（ＫＰＩ）
◆ 積極的な結婚支援や社会気運の醸成 若い世代の結婚の願いをかなえるための出会いの場の提供及びそのための社会気運を醸成します。また、産業後継者の花嫁不足解消等を図るため、婚活交流事業の取組に対する助成、結婚支援を推進します。	・結婚希望者への相談支援 ・婚活交流事業の取組への助成	婚活参加人数 32人（2018） ５年間　→　延５０人
◆ 町の特性を活かした子育て支援の推進 子育て相談の窓口を充実させ、子育て中の親の交流を活発化させるとともに地域等で子育てを支援する人への研修会を開催します。また、妊婦検診の助成と医療費・保育料等の支援及び不妊治療への負担軽減についての検証を行い、制度の充実を図ります。	・妊婦健康診査等の内容の拡充 ・不妊治療費等助成事業の継続 実施乳幼児健診及び健康相談の強化 ・母子保健対策の充実、食育の推進	妊婦健診受診券利用率 ９６％（2018） 5年後　→　現状維持 妊婦健診未受診率 ０％（2018） 5年後→　現状維持 乳幼児健診未受診率 ０％（2018） ５年後→　現状維持

具体的な施策	主な取り組み	重要業績評価指標（ＫＰＩ）
◆ 町の特性を活かした子育て支援の推進 幼児教育・保育の充実を図るため、心身発達の心配や遅れのある乳幼児に対して、集団保育・個別保育を実施し、心身の機能の伸長と健全な社会性の成長発達を促進します。	・集団保育・個別保育の実施 ・心身の機能の伸長と健全な社会性の成長発達を支援 ・障がい児保育、特別支援教育の充実	集団保育、 個別保育実施人数 １人（2018） ５年間→　８人
本町に住所を有する者が出産した時に記念品を贈呈し、出産奨励による人口の増加を図り、子どもの健全育成を図ります。	・出産時記念品贈呈の推進	年間出生数 20人（2018） 毎年　２５人
◆ 教育環境の整備による教育力の向上 小規模特認校制度による特徴ある教育活動を推進します。また、小学校と中学校が緊密に連携・協働して進め、教育指導体制、家庭・地域の教育力向上など教育環境の充実に努める。	・学習支援体制の確立 ・学校安全対策 ・芸術・文化講演会など学ぶ機会の充実 ・国際講師を配置し英語力向上の推進	特認校児童数 ３人（2018） ５年間　→　１０人 特別支援員の配置 ５人（2018） ５年間　→　２６人
◆ 子育て支援による働きやすい環境をつくりだす 男女がともに助け合い、互いの能力や個性を認め合うことで、仕事・生活の分野でいきいきと活動できる社会を目指します。	・放課後児童クラブの充実 ・男女共同参画の推進 ・延長保育等サポート体制の整備 ・子育て支援センター相談機能の充実 ・病後児保育調査研究	待機児童数 ０人（2018） ５年後→ゼロの継続

総合計画上の位置づけ		
■	基本計画　７　人の育成	（１）子どもたちへの地域人教育の推進
■	基本計画　８　子育て支援	（１）幼児教育・保育の充実
■	基本計画　９　学校教育	（１）小通学生の教育内容の充実
■	基本計画　９　学校教育	（２）学校給食による食育推進
■	基本計画１０　社会教育	（６）社会教育団体の育成支援
■	基本計画１１　スポーツ振興	（１）スポーツ活動の促進

基本目標４．地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する

（１）基本とする目標

本町の住民基本台帳人口　2024年に、5,030人とする。（2019年　5,228人）

（２）講ずべき施策に関する基本的方向

本町は、交通事故、犯罪の発生や自然災害も少なく安全な環境のもと安心して住まえる地域です。また、協力意識と行動力のある人が数多く活躍して、まちづくりが保たれているまちです。今後は、救急時医療、福祉サービスの提供体制の確保、日常的な買い物機能の確保、生きがいづくりへの取組を推進することで、そこに住み続けたいと思える生活・定住の環境づくりを進めていきます。

（３）具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指数

具体的な施策	主な取り組み	重要業績評価指標（KPI）
◆ 独自の自然・歴史資源の発信による地域の魅力向上 カブトムシやクワガタなど、自然などを利用した町の魅力の向上を図り、総合公園やピリカダム周辺の地域資源を活用したＰＲを行います。 新幹線延伸に向け、町の魅力発信と近隣町との連携態勢の整備を進めます。	・自然環境などを利用した事業展開 ・地域資源を活用したＰＲ推進 ・新幹線延伸の魅力発信と態勢整備	年間宿泊者数 15,000人（2018） 5年後→16,000人
◆ 若者まちづくり活動支援 地域の魅力を高め本町の若者定住を促進することを目的として、若者を対象とした賑わいづくりを目指す事業展開に支援を行います。	・近隣町との交流活動に対する支援 ・まちおこしや人材育成を目的としたイベント事業に対する支援	地域活動支援数 5件（2018） 5年間→ １５件
◆ 現在の生活基盤の維持のための支援の実施 高齢者・障がい者の外出を支援し、社会的、文化的活動などの社会参加の促進を図るとともに、健康の保持及び生活の向上を図ります。	・高齢者や障がい者の生活支援 ・健康の保持と生活の向上支援	生活支援者数 （重度障がい者タクシー助成事業等） 500人（2018） 5年後→　600人
新たな地域公共交通としてデマンド（予約制）バスを導入し、交通不便地域の解消を図り、日常生活に必要な地域住民の移動手段を確保し、外出支援、利便性の向上を図ります。	・デマンドバスの導入の推進	デマンドバス利用者数 3,155人（2018） 5年後→4,000人

◆ 広域連携による経済の活性化 共通の課題をもつ自治体間での連携協力により、広域ネットワークを形成し、人と経済・文化の交流による相互の発展、産業・地域活性化など、活力あふれる町を目指します。また、観光ＰＲ事業についても連携を強化し積極的に実施します。	・北渡島・北部桧山４町連携会議の推進 ・檜山振興局管内町との連携強化 ・東京特別区との連携事業の推進 ・南北海道定住自立圏域の事業推進	広域連携事業数 14件（2018） 5年後→　20件
◆ 地域ぐるみによる防災体制の充実 町民が地域の中で安心して暮らすことができるよう、自治会・町内会活動の活発化を促し、災害に強いまちづくりを推進するとともに、防災意識の高揚を図る。特に防災行政無線を活用した情報提供の充実を図る。	・消防団活動の推進、団員の確保 ・消防施設の整備、救急体制の充実 ・自主防災組織への支援 ・防災備蓄品の整備 ・防災行政無線整備	コミュニティタイムライン策定数1件（2018） 5年間→　5件
◆ 地域コミュニティの活性化 地域の課題解決に向けた活動に対し支援し、地域活動への参加を促進します。また、幅広い町民の声を収集し多様な声を活かした地域活動を支援します。	・自治会、町内会の活動への助成 ・拠点集会施設の改修等の推進	施設利用人数 21,000人（2018） 5年後→ 23,000人
◆ まちのインフラの長寿命化・公共施設の維持管理の最適化 道路・橋りょうなど町のインフラの老朽化に伴い、低コストで安全性を確保できるよう、長期的視点に立った計画的・体系的な点検及び補修を実施します。	・道路・橋りょうの老朽化対策の推進 ・冬季の交通網の機能確保	除雪路線延長143㎞ 5年後 → 体制維持 (2024)
◆ 緊急時の医療の確保と地域医療等の充実 救急・災害時の緊急時の広域的な医療体協体制を整えるとともに、地域に密着した包括的な保健医療充実に向けた取り組みを進めます。特に、救急搬送やドクターヘリの迅速な対応強化を図ります。 また、国民健康保険等の保険事業の適正かつ安定のため関係機関と連携を図ります。	・他医療機関との密接な連携強化 ・健康増進による医療費の適正化 ・医療相談、地域連携職員の配置 ・緊急医療体制の強化	健康相談・健康教育者数 1,792人（2018） 5年後→　1,800人 地域連携員の配置 1人（2018） 5年後→　現状維持１人

総合計画上の位置づけ

■ 基本計画　1　行政経営　（2）地域づくり活動の促進
■ 基本計画　6　福　祉　（2）高齢者介護・福祉の充実
■ 基本計画　6　福　祉　（5）地域福祉の推進

資料 6

令和２年度地方創生推進事業に係る参考資料

基本目標１．今金町における安定した雇用を創出する

① だいすき！だんしゃくくん　日本一の今金男しゃくゆでちゃいました・・・・1
② 道南の食好評 今金のアンテナショップ事業（R3.1.30 道新記事）・・・・・・2
③ 今金産米「炊きたての味」町農協がパックご飯販売（R2.11.5 道新記事）・・ 3
④ 二人の後継者に奨励金が交付されました（広報 R3.2）　・・・・・・・・・・4

基本目標２．今金町へ新しい人の流れをつくる

⑤ イチゴ苗３千株今金「ピリカ農園」ハウス２棟分定植（R3.4.20 道新記事）・ 5
⑥ 今金・せたな　お薦めを紹介　北海道ファンマガジン（R2.10.24 道新記事）・ 6
⑦ 札幌国際大生高齢者体操 DVD 化　今金町地域連携（R3.4.3 道新記事）・・・・7
⑧ コロナに負けず今金に元気を　花火や縁日催し多彩に（R2.10.21 道新記事）・8

基本目標３．若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

⑨ 今金町不妊症治療費等助成事業のご案内（保健福祉課チラシ）・・・・・・・9
⑩ としべつ健康づくり教室（広報 R3.3）　・・・・・・・・・・・・・・・・・10

基本目標４．地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する

⑪ 「母なる川」保護・発信に力　清流日本一後志利別川（R2.9.28 道新記事）・ 11
⑫ 古代の宝眠る今金・美利河地区（R2.9.27 道新記事）・・・・・・・・・・・ 12
⑬ ４代目「今金橋開通」、集落支援通信その３（広報 R3.1）・・・・・・・・・・ 13
⑭ 今金町防災行政無線のお知らせ（広報 R3.3）・・・・・・・・・・・・・・・・14
⑮ ピリカクイズで歴史知って　スタンプラリー（R2.8.7 道新記事）・・・・・・ 15

別冊資料あり

まちづくり推進課

©Rio2010 いまかね絵本だいすきだんしゃくくん



日本一の今金男しゃく茹でちゃいました

～製造日から６０日間の安心の賞味期限～



今金高等養護学校卒業生が地元農産物に付加価値を高めるため
加工品として製造されたデビューしたての新商品です。
～業務用・イベント用・お土産品としてのご注文も承ります～

今金男しゃく

KING OF 男爵 IMAKANE
北海道今金町産





製造・販売者：一般社団法人i・スマイル　電話(FAX兼)0137(82)3601　加工場0137(82)1755

第3種郵便物認可　令和3年1月30日(土)　北海道

道南の食 好評

【今金】新型コロナウイルスの感染拡大で苦境に立つ商工業者の販路拡大を後押しするため、町が販売手数料を助成し、商品を道産品アンテナショップ「北海道どさんこプラザ」で試験販売する事業が順調な滑り出しとなっている。昨年10～12月に道内外の3店舗で販売したところ、レトルトカレーとシイタケの売れ行きが好調で、一部店舗で今年3月まで継続販売されることが決まった。（塩野洋）

今金のアンテナショップ事業

和牛カレーなど継続販売

町の町地域特産品マーケティング支援助成金事業で、同プラザの有楽町店（東京都千代田区）、名古屋店（名古屋市）、札幌店で実施した。

試験販売したのは、今金町農協が特産品のジャガイモと黒毛和牛肉を使って開発した「北海道産今金男しゃく　黒毛和牛カレー」と、多機能型事業所「ワークショップいまかね」が作ったシイタケ「原木干し椎茸（しいたけ）里の恵」、山一木材工業が作ったコースターなどの木工品。

3カ月間でレトルトカレーは74個、シイタケは24個、木工品は6個売れた。このうちレトルトカレーが有楽町店で、シイタケが有楽町店と札幌店で3月まで継続販売されることが決まった。

1月からは新たに一般社団法人「i・スマイル」のジャガイモ加工品「だんしゃくくん」を有楽町店、名古屋店、札幌店で、山一木材工業の木のカッティングボードを有楽町店と札幌店で試験販売している。

販売手数料は町が国の地方創生臨時交付金から負担し、本年度は総額で約50万円を見込んでいる。町まちづくり推進課は「なかなか販路拡大のチャンスがない中で、継続販売が決まったのはうれしい。知名度が上がり、人気が出たら定番商品となる可能性もある。町として応援していきたい」としている。



北海道どさんこプラザ有楽町店で継続販売が決まった今金町のレトルトカレーとシイタケ＝東京都千代田区

第3種郵便物認可　2020.11.5　北海道新

今金産米「炊きたての味」

町農協がパックご飯発売

カレー、ポテチ… Aコープに特産品コーナー

【今金】今金町農協が町産米をパック詰めした「今金濃米（のうまい）」を町内で発売した。町特産のジャガイモ「今金男しゃく」を使ったレトルトカレーやポテトチップスも好評で、町内のAコープには特設コーナーもできた。同農協は良質な特産品を開発、発信することで「今金ブランド」をいっそう高めたい考えだ。（塩野洋）



新発売のパックご飯や今金男しゃくのポテトチップスなどが並ぶAコープいまかね店の特設コーナー

今金濃米は、日本一の清流、後志利別川水系で育てた町産のななつぼし、ふっくりんこをパック詰めした新商品（各1パック200グラム、170円）。Aコープいまかね店で、10月25日から販売を始めた。電子レンジで温めるだけで、手軽に町産米を楽しめるのが売りで「町外で離れて暮らす1人暮らしの子供や、お年寄りに送る人が目立っている」（同農協）という。

今金男しゃくと町特産の黒毛和牛肉を使ったレトルトカレー「北海道産今金男しゃく　黒毛和牛カレー」は中辛と辛口の2種類（各1袋200グラム、1080円）。湖池屋（東京）と協力して毎年秋限定で販売しているポテトチップスも好評で、「うすしお味」「のり塩」（各1袋75グラム、250円）とも「年内に売り切れる勢い」（同）という。

同店は10月中旬、特産品のコーナーを新設。レトルトカレー2種類とパックご飯2種類、振りかけると辛さが増す「カラムーチョパウダー」2袋を組み合わせた「スペシャルセット」（2700円）の予約販売も始めた。

今金男しゃくは昨年9月、品質の高い地域特産品を守る農林水産省の「地理的表示（GI）保護制度」に登録され、全国的に知名度が上がった。パックご飯への期待も大きく、同農協経済部店舗購買課の湯元則仁課長は「パックご飯とは思えない炊きたてのような味を、ぜひ多くの人に楽しんでほしい」とPRしている。

問い合わせは同店☎0137・82・0851へ。

今年は二人の後継者に奨励金が交付されました



12月25日、役場にて今金町産業後継者育成就業奨励金交付式が行われました。

今年対象となったのは、廣田歩武氏(平成29年4月就業)と森川修氏（平成29年1月就業）で、いずれも農業後継者として就業され3年を経過したことにより、この度、就業奨励金の交付となりました。

外崎町長は式の挨拶で「目標を掲げ、その達成に向けてより一層努力をしてほしい。また、仲間づくりをしていただき、みんなが高まっていく事を目指してほしい。」と後継者に激励の言葉をかけると、後継者の二名からは「激励の言葉を心に刻み仕事に励んでいきます。また、少しでも今金町に貢献できるよう頑張ります。」と決意と感謝の言葉を述べました。

このたび人権擁護委員に異動がありましたのでご紹介します

人権擁護委員の任期満了に伴い、令和3年1月1日付で鈴木吏さん、橘晴美さんの2名が新たに法務大臣より委嘱されました。

人権擁護委員は、児童・生徒のいじめ、体罰、家庭内の問題、借地借家、相隣問題、不動産など生活に関わる身近な問題の相談に無料で応じます。秘密は厳守します。

今金町人権擁護委員
石橋　隆広
螺良　道子
鈴木　　吏
橘　　晴美



長期の任務お疲れ様でした

令和2年12月31日付で阿知波一道さん、岩坂龍子さんが退任されました。

阿知波さんは平成18年から、岩坂さんは平成27年から、人権の啓発活動や相談ごとに尽力され、人権の擁護と自由・人権思想の普及高揚に貢献されました。

■北海道開発局・北海道・北海道警察からのお知らせ

＜ 沿道建物等からの落氷雪による事故の防止について ＞

冬になると、沿道建物等からの落氷雪による死傷事故が多く発生しています。

皆さんも、冬期間の生活にはご苦労されていると思いますが道路などの通行を円滑にし、事故を無くすため、**特に、次のことに注意するようにお願いいたします。**

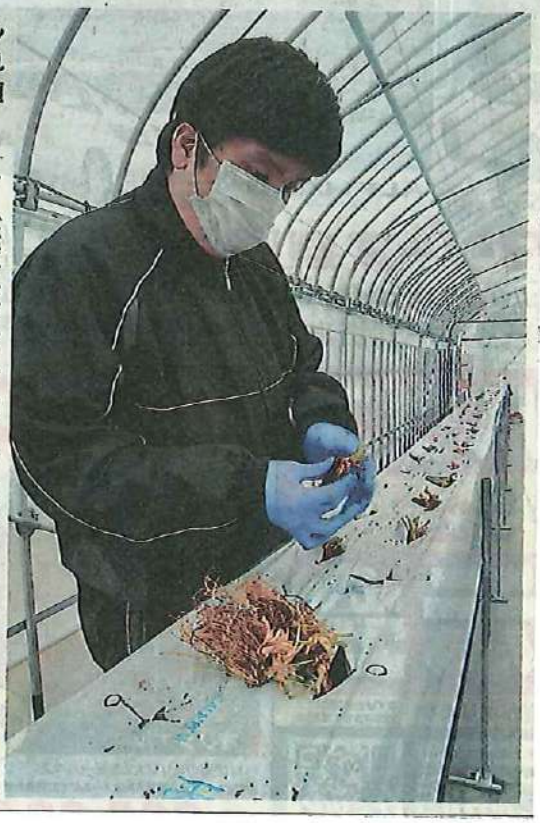
①屋根の雪、氷、つららが道路に落ちるような建物には、丈夫な雪のすべり止め等を付けるようにしてください。
②雪のすべり止めは雪が多くなる前に必ず点検してください。
③屋根の雪、氷、つららは、気温の上昇や降雨のときは特に落ちやすくなっていますので、早めに取り除くようにしてください。
④ビルの壁、窓枠、突出看板等からの落氷雪は少量でも危険ですので、付着した雪や氷を取り除くようにしてください。
⑤気温が高くなると歩道に屋根の雪やつららが落ち、歩行者に危険を及ぼすおそれがありますので、次のことに注意してください。
・屋根の軒下はできるだけ避けて通行してください。
・小さなお子さんは、歩道で遊ばないようにしてください。
⑥敷地内の雪を道路に出しますと、歩行者の通行支障、交通事故及び交通障害が発生する可能性がありますので、出さないようにしてください。

知症初期集中支援チームへ
☎ 82-2780）

淡路新聞　2021年（令和3年）4月20日（火曜日）

イチゴ苗3千株 元気に育て

今金「ピリカ農園」ハウス2棟分定植



新しいビニールハウスで行われたイチゴの定植作業

【今金】観光施設クアプラザピリカに隣接する「ピリカいちご農園」でイチゴの定植作業が行われた。今年はビニールハウスが2棟に増えたことで、例年の2倍近い約400㌔の出荷を見込んでいる。

クアプラザピリカを運営するTTNコーポレーション（兵庫県伊丹市）が2018年から障害者を雇用し、イチゴを栽培している。昨年9月に2棟目のビニールハウスが完成し、今年は例年の2倍近い約3千株の苗を植えることにした。品種は洋菓子の材料に使われる「すずあかね」。今金高等養護学校を卒業した社員ら4人が3月から定植作業を始めた。

今月13日には、新しくできたビニールハウスで初めての定植作業を行った。水分が蒸発しないようにビニールシートをかけ、25㌢間隔に開けた穴の中に約10㌢の苗を丁寧に植えていった。佐々木隆・苺（いちご）施設課長は「ケーキ店や居酒屋から依頼が来るようになり、町で知られるようになってきた。今年も順調に育ってほしい」と話している。

5月から6月にかけて収穫が始まり、クアプラザピリカで販売するほか、レストランでスムージーなども提供する。7、8月にはイチゴ狩りも予定している。（塩野洋）



今金、せたな両町のお薦めスポットなどを紹介している「北海道ファンマガジン」

今金・せたな お薦めを紹介

北海道ファンマガジン

【今金、せたな】道内各地の観光情報を発信するウエブメディア「北海道ファンマガジン」が今金、せたな両町のお薦めスポットなどを紹介している。

檜山振興局が同マガジンを運営する北海道リレーション（札幌市）に依頼する形で7月に取材を行い、9月下旬に掲載された。

同マガジンでは「今金せたな　ディープ旅」と題し、今金町のクアプラザピリカの名物メニューであるピリカダムカレーや、旧石器文化館に展示されている日本最大級の尖頭器のほか、せたな町の温泉ホテルきたひやまや、日本初の女性医師の顕彰碑が立つ荻野吟子公園といった名所も紹介している。

同マガジンのURLはhttps://hokkaidofan.com/imakane-setana-trip/

2020 10.24

（塩野洋）

札国際大生 高齢者体操ＤＶＤ化

R3 4/3

地域連携事業 今金町へ寄贈

転倒や認知症予防 子供と楽しめるダンスも

【今金】町と地域連携事業を行っている札幌国際大（札幌市）の学生らが、町内の高齢者向けに体操法などを紹介するＤＶＤを制作し、町に寄贈した。新型コロナウイルスの感染拡大で高齢者が外出を控えがちになる中、健康維持に活用してもらう狙い。町は今後、高齢者らの集会などで役立ててもらう。（塩野洋）

同大の学生らは例年、町を訪れて歴史や健康など、さまざまなテーマで研究を行っている。

ＤＶＤは「今金版 いきいき健康体操～元気にエクササイズ～」と題し、収録時間は41分。転倒や腰痛、認知症予防などに役立つ体操法を、学生が祖父と孫を演じて寸劇で紹介している。爪先を上げてふくらはぎを伸ばす、いすに座って片脚ずつ上げるなど、誰でも簡単にできる内容だ。



札幌国際大の学生らが制作したＤＶＤに収録された「I・MA・KA・NE～スマイルダンス～」

また、子供からお年寄りまで楽しめる「I・MA・KA・NE～スマイルダンス～」も収録。札幌市在住のシンガー・ソングライター島みやえい子さんが作詞、作曲し、同大スポーツ人間学部の赤川智保教授が振り付けを担当。ＣＤも制作した。ダンスの歌詞には、大豆や黒毛和牛など今金町の特産品を織り交ぜた。

3月29日には、制作した約20人を代表して同学部スポーツビジネス学科の学生4人が町総合体育館を訪れ、外崎秀人町長や町職員らを前に、スライドを使ってプレゼンテーションを行った。同学部の佐久間章教授は「コロナ禍で学生を連れてくることができなかった。制約の中で何ができるかを考えて取り組んだ」とあいさつ。学生らは「各種論文から効果的な体操法を抽出した」「高齢者がどのように転倒するのか、若者とけがの程度がどう違うのかなどを調べた」などと紹介し、ＤＶＤ20枚とＣＤ3枚を外崎町長に手渡した。

外崎町長は「ＤＶＤは高齢者にとって、健康づくりの良い動機づけになるはず。ダンスも郷土愛に満ちた作品で、活用させてもらいます」と感謝した。

町長「健康づくりの良い動機づけ」

北海道新聞　2020年（令和2年）10月21日（水曜日）

コロナに負けず 今金に元気を

花火や緑日…催し多彩に



夜空を美しく彩った花火大会

【今金】「新型コロナウイルスに負けるな」を合言葉に15～17日、町内で「Re☆Startいまかね」と題したイベントが行われた。初日は花火大会が行われ、約1600発の花火が夜空を美しく彩った。

町や町連合町内会、町商工会などでつくる実行委員会が主催。新型コロナウイルスの影響で祭りやイベントの中止が相次ぐなか、元気と希望を取り戻したいとの願いを込めて開催した。

15日夜は町総合公園から花火を打ち上げた。冷え込みが厳しい中、大勢の町民が、爆音とともに舞い上がる赤や青、緑のきらめく光の輪に酔いしれた。

17日はデ・モーレンいまかねで、中学生以下を対象にミニ縁日とビンゴ大会を開催。受付時に体温測定や手の消毒を行い、万一の際に感染ルートがたどれるよう入場者名簿も作った。

子供たちはくじやスマートボールなどに挑戦、お菓子の詰め合わせが当たるビンゴ大会も楽しんだ。小学3年の日置瑠斐君（9）は「花火は思ったより長い時間楽しめて、とてもきれいだった。きょうは久しぶりに友達と来て遊べたのでよかった」と話していた。

期間中は格安で飲食店を回るはしご酒も行われた。（塩野洋）

今金町不妊症治療費等助成事業のご案内

今金町では少子化対策の一環として、不妊症治療費等助成事業を実施しておりますが、新型コロナウイルス感染症流行に伴い、令和２年度に限り、年齢要件を変更することとなりましたので、ご案内致します。

【対象者】

申請をご検討されている場合は、治療開始前に、ご相談下さい。

- 法律上の夫婦であること
- 申請日において、夫婦ともに今金町に１年以上住民票があること
- 医療保険各法による被保険者もしくは被扶養者であること
- 税金の滞納がない方
- 過去に他の市町村で同様の助成をうけていない方
- 妻の年齢が治療開始日に４３歳未満であること　⇒　令和２年度に限り、４４歳未満とする。
  （＊年度末で、４３歳（今年度に限り４４歳）を迎える方への費用助成は、今年度までとなります。）
- 北海道特定不妊治療助成事業を申請した方（特定不妊治療は、北海道の特定不妊治療助成事業もあり、該当者は、そちらが優先されます。詳細は北海道八雲保健所（0137-63-2168）にお問合せ下さい。）

【内容】　上記の条件が全て揃った日以降に開始された治療が対象です。

	特定不妊症治療費	一般不妊症治療費
治療内容	体外受精・顕微授精（卵胞が発育しない等の理由により、卵子採取以前に中止した場合を除き、医師の診断に基づき、やむを得ず中断の場合含む。）	不妊の検査や手術、タイミング法、薬物療法、人工授精など
助成内容	治療に要した医療費の自己負担額（北海道特定不妊治療費助成事業により受けることが可能な金額を控除した額とする）に対して、１回の治療につき１５万円まで助成し、１人あたり上限６回を超えないものとする。 但し、北海道特定不妊治療費助成事業該当者においては、２回目以降を助成対象とし、１人当たり上限５回を超えないものとする。	検査及び治療等に要した医療費の自己負担額に対して、１年度あたり１０万円を限度として通算５年間助成する。
その他	特定・一般不妊症治療費ともに、文書料、食事療養費標準負担額、個室料等の直接的な治療ではない費用は含まない。	

【申請手続】＊治療開始前に以下までご相談下さい。内容説明や申請書類を配布致します。

1．治療終了後、以下書類にて申請ができます。申請は、特定の場合は１回毎、一般の場合は概ね３～６か月毎に、原則、治療終了日の属する年度内にお願い致します。

① 申請書
② 受診等証明書（一般・特定）
③ 対象条件を確認できる書類（保険証の写し等）。但し、法律上の夫婦であることの証明等の一部については、ご夫婦の同意による町の調査で省略可。
④ 領収書（産婦人科・泌尿器科・調剤）
⑤ 北海道特定不妊治療費助成事業の助成決定指令の写し（該当者のみ）

＊尚、北海道の特定不妊治療助成事業の該当者は、②④については、北海道に提出した書類の写しをもって、申請することが可能です。ご夫婦の同意により、町より道へ請求可。

2．審査に基づき、助成決定後、指定口座に振り込みます。

問合せ先　今金町保健福祉課健康づくりグループ　保健師
今金町字今金１７－２　総合福祉施設としべつ内
電話　０１３７－８２－２７８０

イマカレドリームキャッチャー作り



2月13日、町民センターにてアメリカ先住民に伝わるお守り“ドリームキャッチャー”作りが行われました。国際交流推進アドバイザーカトリーナ・カイラ氏が講師を務め、参加した小中学生14名は、少し苦戦しながらも作品作りを行いました。

参加者からは「作成が難しかったけど、楽しかった」などと声があがり、アメリカの文化に触れることができました。



としべつ健康づくり教室



1月28日、保健センターにて、としべつ健康づくり教室が行われ、約20名が参加しました。「おいしく減塩！健康寿命のための食事～いまかね減塩大作戦～」をテーマに、高血圧症の症状、原因、予防、減塩を家庭で実践できるようになることを目的に、保健福祉課職員を講師に講話が行われました。国保加入者の医療費で今金町の傾向から重症化予防が大事で、早期発見・早期治療のためにも毎年の健診を受けることが大事であり、予防のために塩分を控えた食生活などのポイントが紹介されました。その紹介で実際にだしの有無、味噌の加減が異なる3種類のみそ汁が用意され、味が濃い薄い、塩加減はこのくらいが良いなどと参加者は飲み比べをし、実際に「減塩」を感じることができました。

自治活動の功績に関する感謝状贈呈式が行われました

2月19日、町民センターにおいて「令和3年度今金町自治会町内会連合会総会」が開催されました。総会に先立ち、自治活動の功績に対する感謝状贈呈式が行われ、単位組織の会長を5年務められた3名（当日2名欠席）の方々に対し、中島副町長から感謝状が贈呈されました。

受賞者

八幡町内会長	橘	宣雄氏（現職）
旭町内会長	田中	勝久氏（令和2年12月まで）
金原旭自治会長	岸本	実氏（現職）



▲左から、橘　宣雄氏、中島副町長

TOPICSにも掲載されております
gyousei/event/topics31/



清流日本一と評価された後志利別川でラフティングを楽しむ人たち

清流日本一最多 今金、せたなの後志利別川

「母なる川」保護・発信に力

NPOが長年清掃 愛好家は自然塾も

【今金】国土交通省が昨年、全国の1級河川を対象に行った水質調査で、今金、せたな両町を流れる後志利別川など16河川が「最も良好」と判定され、清流日本一と評価された。後志利別川が日本一になるのは19回目で全国最多。地元のNPO法人が長年河川清掃に取り組み、アウトドア愛好家が設立した自然塾はラフティング体験ツアーを開く。同川を愛する人たちが、保護や魅力発信に地道に力を注いでいる。（塩野洋）

同川は長万部岳（972㍍）付近を源流に、日本海に注ぐ道南唯一の1級河川。全長約80㌔で、支流を含めると、流域面積は約720平方㌔。国交省は水の汚れを示す代表的指標である生物化学的酸素要求量（BOD）の年間平均値などを測定している。同川はBODが1㍑あたり0・5㍉㌘にとどまり、透明度やにおい、ごみの少なさなども評価された。昨年の水質調査で「最も良好」と判定されたのは、道内では後志利別川だけだった。

工場なく汚染されず

函館開発建設部今金河川事務所は「流域に大きな工場がなく、廃液などに汚染されない。放牧地も少ないので、家畜のふん尿も流れ込まないのが水質を維持できる要因ではないか」と分析している。同開建は環境コンサルタントに委託し、流域の動植物の調査を行っているが、ミサゴ、ヤマセミなどの野鳥や、アユ、ヤツメウナギなどが多く生息し、自然環境が守られているという。

こうした環境を守ろうと、1988年設立の今金町のNPO法人「後志利別川清流保護の会」が、土砂流入を防ぐための植樹や河川敷のごみ拾いなどを続けてきている。かつては約120人の会員がいたが、高齢化などで減り、現在は約40人。竹内正夫理事長は「毎年のように清流日本一に選ばれるので、関心が薄れてきた」と危惧しながらも「本州からわざわざアユ釣りに来る人もいる。農作物にも恵みを与えてくれる。この母なる川を守っていきたい」と話す。

おいしい水 地酒自慢

約100人の有志でつくる今金地酒の会（佐藤政巳会長）は同川の伏流水と会員が栽培した酒米を後志管内倶知安町の一世古酒造に持ち込んで醸造を依頼し、2005年に地酒を完成させた。純米吟醸「今金」、特別本醸酒「万太郎」、特別本醸酒「今金彗星」、「北海道今金の米焼酎」の4種類で、水のおいしさが自慢だ。会員になると味わうことができる。

アウトドアを通して同川の魅力発信を続ける人もいる。12年に今金町にピリカ自然塾を設立した石川佳洋塾長だ。砂金採りやラフティングのガイドを続けてきている。

8月中旬、道内各地からの十数人が同川でラフティングを体験した。流れは緩やかで、水しぶきを浴びるような渓流はない。花見と紅葉の時期には高齢者がお茶と団子を味わいながら川下りをするほどだ。札幌の主婦池田敬子さん（72）は「初めて来たけど、きれいな川だった。ここが清流日本一とは知らなかった」。石川塾長は「後志利別川の知名度はまだ低い。川沿いで貝の化石が見られるなど、まだまだ魅力がある川だということを広く知ってもらいたい」と力を込めた。

道南 Today

地域から

風街だより

古代の宝眠る今金・美利河地区

せたな支局長・塩野洋（54）

檜山管内今金町美利河地区は、謎に包まれた場所だ。大量の石器が出土しているほか、約120万年前、浅瀬の海に生息していたというピリカカイギュウの化石も発見された。

後志利別川支流左岸の丘陵約20㌶にわたる「ピリカ遺跡」は美利河ダム建設中の1978年に見つかった。約2万～1万年前の旧石器時代のものとみられる石器がこれまでに約19万点出土。珍しい尖頭器や装身具も見つかり、94年には面積の約半分が国の史跡に指定された。

この遺跡に魅せられ、今金町に移り住んだ人たちがいる。町まちづくり推進課参事の寺崎康史さん(60)は稚内市出身。国学院大卒業後の82年、道埋蔵文化財センター（江別市）の発掘調査同行で初めて今金町を訪れた際、石器の製作跡が次々見つかった。「こんなにまとまって見つかるのは珍しい。見学のつもりだったが、夢中になってしまった」。寺崎さんは同センター嘱託職員を経て86年に初の学芸員として町役場に入った。



文化財保管・活用庫に眠る町の歴史を物語る数々の資料を前にする（右から）寺崎さん、榊原さん、宮本さん

町教委学芸員の宮本雅通さん(47)は京都府出身。96年に国学院大大学院の考古学実習で初めて町を訪れた。「丁寧に作られた石器が多く、単なる狩猟の道具とは思えなかった。古代人の精神生活が見えるようだった」と振り返る。修士論文のテーマは「ピリカ遺跡の研究」。町の臨時遺跡調査員を経て2003年に町役場に入った。

今年4月には町の地域おこし協力隊員として、学芸員資格を持つ榊原愛歌さん(23)が着任。新潟県出身で、町と地域連携事業を行っている札幌国際大在学中に町内で歴史調査をした。「遺跡のほかマンガン鉱山跡もあり、美利河地区の歴史は興味深い」と張り切っている。

町内ではかつて博物館整備構想が持ち上がったが、約8億円の総事業費などが理解を得られず頓挫。それに代わり03年、総事業費約2億7千万円でピリカ旧石器文化館を開館。石器作りや火おこし体験などが人気で、ホームページでも出土品を紹介している。

同館に隣接する文化財保管・活用庫には全長約8㍍のピリカカイギュウの全身骨格レプリカやマンガン鉱山で使われた機械、古い農機具などもひっそりと保管されている。「貴重な資料をいつか見てもらい、歴史を知ってもらえたら」。美利河地区を愛する3人の思いに同感だ。

4代目「今金橋」開通　～ 初代「今金橋」からの120年の歴史を繋ぐ ～

今金町が利別村であった明治30年。初代「今金橋」は、この年に始まった八雲今金線の道路工事により明治33年に架けられたと考えられております。当時の人々は、渡し船で川を往来しており、今金橋は明治時代において利別川を渡る唯一の橋であったため、人々の暮らしに欠かせない橋でした。

その後、昭和16年、35年に新しく架け替えられ、令和2年12月15日、檜山振興局長、渡島総合振興局副局長、外崎町長及び工事関係者らが出席し4代目「今金橋」の竣工を祝い、渡橋式と渡り初めが行なわれました。





"新"「今金橋」は、基礎を強化した工法が用いられ、水害や地震に強い橋となりました。また、車道幅員は7.5mとなり、架け替え前と比べて1.5m広がり、これまで以上に安全で快適に通行することができます。

1 渡し船の様子（昭和初期頃）
2 2代目「今金橋」（昭和16年完成）
3 3代目「今金橋」渡初め式（昭和35年）
4 4代目「今金橋」渡橋式（令和2年）

集落支援通信　～集落はいま～その3

集落支援対策事業としてまず行ったことは、美利河・花石・中里・住吉地区を巡回し、各世帯からの聞き取りです。5月中旬から開始して、7月上旬にはほとんどの世帯を訪問することができました。4地区では高齢化率が56%を超えており、70歳以上の独居世帯が全世帯の約3割を占めている現状がありますが、聞き取りの結果、日常の買い物、通院、除雪等は自治会や近隣住民の支援もあり、あまり不便を感じてはいないこと、また、ほとんどの方は体が元気なうちは今後も今の地区に住み続けたいという意向があることがわかりました。今後はいかに今の健康を維持し、一日でも長くその地域で生活するか、つまり健康寿命の延伸が課題といえます。

聞き取り調査を終えて程なく、「地域連携事業に関する協定」を締結している札幌国際大学の先生から連絡があり、今年度においてもスポーツ関連学科の学生のリーダー育成プログラムを今金町において展開したいとの話がありました。地域課題に対応した実践的な問題解決の取組みという点において、今金町の上記の課題と合致したため、大学との協議により、今年度は住吉地区において「高齢・過疎集落における健康増進方策」を進めることとなりました。

新型コロナウイルスの影響で学生が現地に赴いての事業展開ができない状況が続いていますが、町職員が大学へ出向く等の対応により、学内における事前学習を終え、現在学生により高齢者向けのプログラムとして介護予防、転倒予防の運動メニューが考案されています。令和3年2月頃には成果として提案いただく予定で、その頃には新型コロナ感染症が落ち着き、学生が住吉地区を訪れ、住民と直接交流し、成果を伝えてもらえればと考えています。

（まちづくり推進課）



▲札幌国際大学で、今金町の概要を学生に説明する地域おこし協力隊

TOPICSにも掲載されております
gyousei/event/topics31/

今金町防災行政無線のお知らせ
～ 事業所向け戸別受信機のご案内 ～



4月から運用開始される防災行政無線ですが、
3月8日から事業所向けの戸別受信機の無償貸与申請の受付を始めます！

■戸別受信機は事業所にも無償貸与できます

戸別受信機の設置は、屋外スピーカーと併せて、災害の未然防止や災害時の応急救助、また、行政連絡の提供など安全で安心な暮らしをつくるものであり、事業所への戸別受信機の設置も、要件を満たした事業所であれば、住宅同様に無償で貸与を受けることができます。



■戸別受信機の無償貸与を受けられる事業所

無償貸与できる施設は次の施設で原則1台です。

①公共団体の事業所など
②教育機関（学校、幼稚園）、医療・福祉機関、避難所
③産業団体等の事務所
④管理者及び従事者が勤務している民間事業所

■無償貸与を受けることのできない事業所

次に該当する場合は、無償貸与を受けることができません。ただし、有償貸与を受けることはできます。（※1台 27，000円）

①住居に併設された事務所
②一時的に開設する事務所
③一時的な作業所及び工場

■ 事業所向け戸別受信機の無償貸与申請の受付について

1．申請受付日：3月8日から“ 随時受付 ”しています
2．受付時間：8時30分 ～ 17時15分（土日祝日を除く）
3．受付場所：役場 くらし安心課
4．提出書類：“戸別受信機設置申請書”

※申請書は役場くらし安心課にあります。
印鑑をご持参のうえご来場ください。

世帯主の方の受付も随時行っております！

＜ 戸別受信機取扱いの注意 ＞

①町外では使用できません
事業所を町外へ移転する場合や閉所する場合は返却してください
②町内で移転された場合は連絡ください
③機器に異常を発見した場合は連絡ください
④維持管理に要する費用は申請者の負担となります
⑤機器を譲渡や転貸、担保とすることはできません
⑥平常時はＡＣアダプタを使用してください

【問合せ】 くらし安心課 ☎82-0111

ピリカクイズで歴史知って

今金であすからスタンプラリー 8/7

【今金】町内美利河地区を散策しながら歴史などを知ってもらう「ピリカクイズスタンプラリー」が８日から30日まで同地区で行われる。スタンプを集め、クイズに答えると景品がもらえる。主催の町は、多くの参加を呼びかけている。

スタンプラリーは、クアプラザピリカか、ピリカ旧石器文化館で台紙を受け取り、同地区の５カ所を巡ってスタンプを集め、台紙に書かれたクイズに答える内容。最後にクアプラザピリカか、ピリカ旧石器文化館に台紙を持ち込む。

クイズに全問正解すると、クアプラザピリカではシソジュースや黒米などが、ピリカ旧石器文化館ではメノウの瓶詰めがもらえる。アンケートに答えると、キャンドルか、今金男しゃく黒毛和牛カレーとコメのセットが抽選で当たる。

企画した町の地域おこし協力隊員榊原愛歌さん(23)は「小学生から楽しめるコースを考えた。人気のある景品も用意しているので、ぜひ参加してほしい」と話している。

（塩野洋）

別冊資料

ピリカクイズスタンプラリーについて

地域おこし協力隊　榊原

今金町と札幌国際大学との間で2012年に「地域連携授業に関する協定」を締結した以降、ピリカプロジェクト及び今金プロジェクトでは様々な活動を行ってきた。2017 年には歴史チームから美利河地区の発信方策としてピリカスタンプラリーが提案され、2019年のピリカまつりでは、デジタルでピリカスタンプラリーを開催した。2020 年のピリカまつりは新型コロナウイルスの影響を受け中止となった。

しかし、美利河地区における周遊ルートの確立を継続して目指すと共に、町内外からの美利河の各施設の誘客促進を図ることを目的として、大学在学中にピリカスタンプラリーを提案した一人である榊原は地域おこし協力隊の活動として、今夏にピリカクイズスタンプラリーを企画し、以下のとおり開催した。

なお、クイズについては、対象施設をより詳しく知ってもらえるような設問を考えた。

【 開催期間 】

8月8日～8月30日

【 クイズ、スタンプ設置箇所 】

①クアプラザピリカ
②ピリカ旧石器文化館
③文化財活用保管庫
④石器製作跡
⑤美利河ダム魚道観察窓

【 景 品 】

・スタンプを集め、クイズに全問正解すると下記の交換場所で景品がもらえる。
　ピリカ旧石器文化館 ➡メノウを瓶に閉じ込めた標本（交換数 100）
　クアプラザピリカ ➡イチゴスムージーや黒米、シソジュースなど（交換数 155）
・W チャンス
　スタンプラリーを完走し、アンケートに答えて応募すると各 5 名に抽選で景品が当たる。
　景品 A　Tukiko factry のキャンドル
　景品 B　今金濃米と今金男しゃく黒毛和牛カレーのセット

【 所 感 】

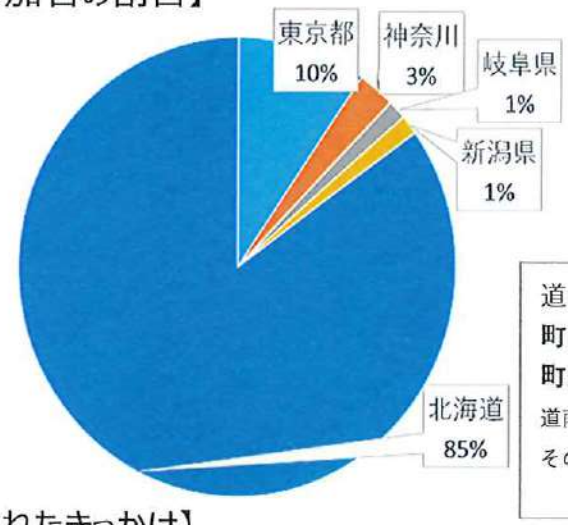
本来はコースを歩いてもらう計画であったが、アンケートを集計したところ車の割合が、96%だった。次回開催する際は、歩いてもらえるようなコース作りを行いたい。

反省点として、一住所につき一応募だったが、二重の応募になる例も多々あったため、改善したい。また、今金で何をしたいかの自由記述では、キャンプ、川を活用したものや食を楽しみたいなど自然に関する記述が多くあったので、今後の協力隊活動の参考にしていきたい。

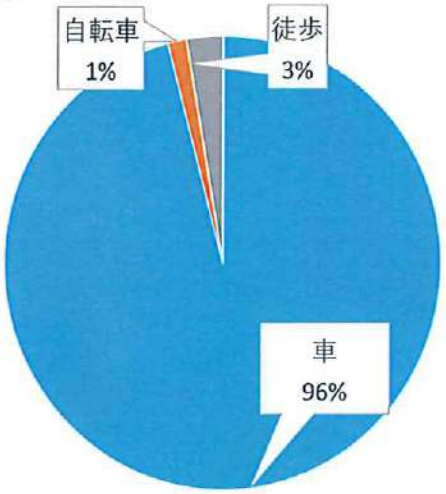
別冊資料

【アンケート集計結果】
・参加者　225 名
・回収数　73 通
・回収率　28%

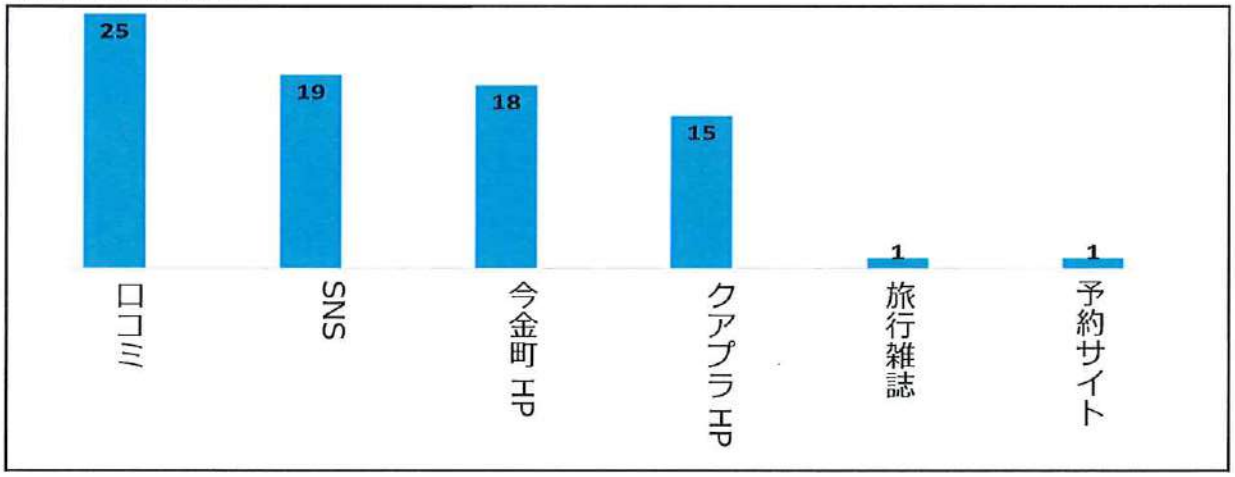
【参加者の割合】



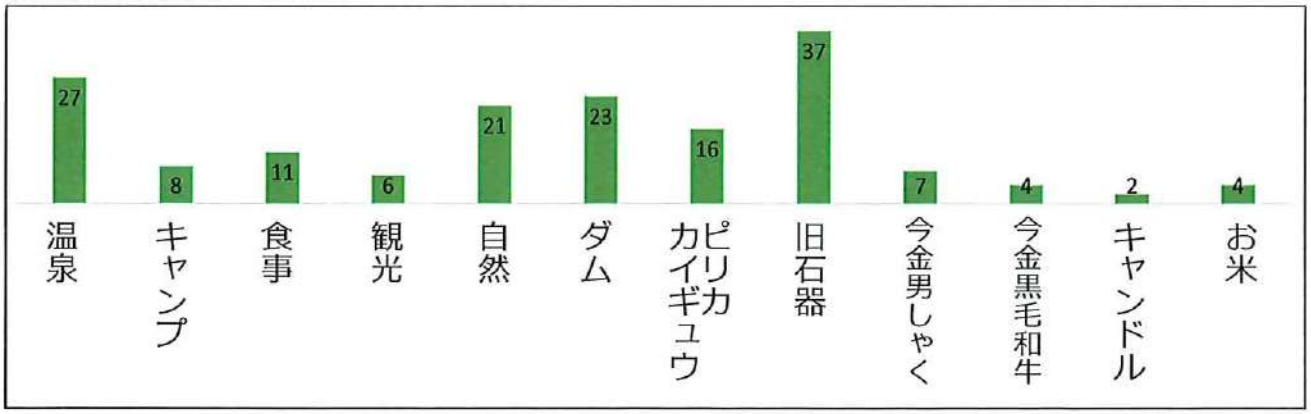
【参加方法】



【訪れたきっかけ】



【印象に残っていること】



・今後、スタンプラリーに参加したいかという問いには、また参加したいが 62%、機会があれば参加したいが 38%、次回は参加しないは 0%だった。
・参加人数　255 人で予想していた人数を超える集客だった。

別冊資料

【 来年度からの取り組み 】

地域おこし協力隊の活動として、美利河地区を拠点としたフットパスコースを令和４年度の完成を目指し計画中。 フットパスは令和４年度の完成を目指している。また、フットパスコースの完成までに、今年度の反省点を踏まえ再度、スタンプラリーを考案したいと考えている。

2017 年に提案したスタンプラリーは「歩いて学ぼうピリカの歴史」をテーマとしているので美利河地区を周遊してほしいと考えている。しかし、設定エリア間に距離があるため、比較的狭い範囲に箇所が集中しているダム周辺、史跡内を歩いて回ることのできるコース作りを考えたい。

○スケジュール

令和3年度

- フットパスコース整備
- 視察など
- ダム周辺を活用したスタンプラリー開催

令和4年度

- コース整備
- コース完成
- パンフレット印刷

○フットパス完成に向けて

周辺整備

・史跡内を周遊できるようにウッドチップを敷いてコースを作りたい（ダムで無料配布のものを使用予定）
・誘導サイン 25 本を想定。
・砂金採掘跡の足元整備
・カイギュウ発見場所の整備

別冊資料

【参考資料】

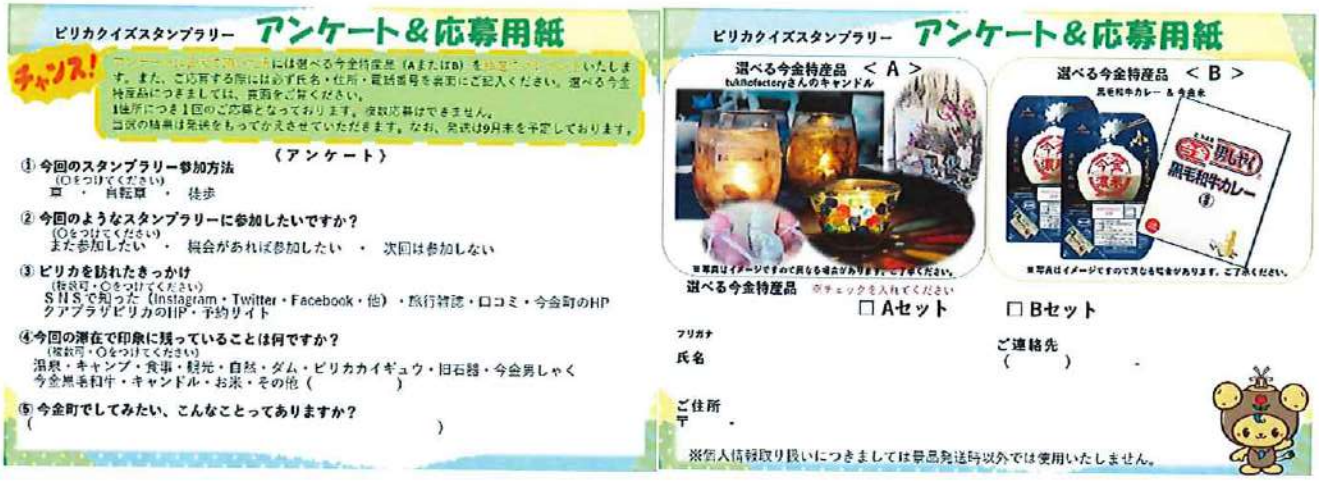
▼ポスター



▼アンケート用紙（両面カラー、A4 版）



▼応募用紙（両面カラー、A4 版）



資料７

地 方 創 生 に 係 る 交 付 金 活 用 事 業 内 訳

1	２６年度 （繰越明許費）	地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金 （地方創生先行型）	交付金額	32,607 千円	
2	２６年度 （繰越明許費）	地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金 （地域消費喚起・生活支援型）	交付金額	16,788 千円	
3	２７年度 （繰越明許費）	地方創生加速化交付金	交付金額	43,576 千円	
4	２８年度	地方創生推進交付金	交付金額	5,000 千円	
5	２８年度 （繰越明許費）	地方創生拠点整備交付金	交付金額	48,000 千円	
6	２９年度	地方創生推進交付金	交付金額	9,800 千円	
7	３０年度	地方創生推進交付金	交付金額	8,225 千円	
8	３１年度	地方創生推進交付金	交付金額	5,925 千円	
9	令和２年度	地方創生推進交付金	交付金額	2,450 千円	１頁
10	令和３年度	地方創生推進交付金	交付金額	2,464 千円	２頁
		総　合　計		174,835 千円	

令和３年５月

まちづくり推進課

交付金名	地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）	交付金額　32,607 千円	年度
事業名	今金町総合戦略策定事業　外１４事業	事業費　40,189 千円	26

事業概要

◎交付金創設の趣旨　～　「地域への好循環拡大に向けた緊急経済対策」

しごとづくりなど地方が直面する構造的な課題への実効ある取組を通じて地方の活性化を促すため、国の総合戦略に基づく事業を先行して実施する。

◎支援内容一覧

	区分	総事業費	交付金額	支援先等
1	今金町人口ビジョン・総合戦略策定事業	6,434	6,434	
2	産業後継者育成奨励事業	4,800	3,445	後継者 6名
3	就労支援事業	3,252	2,490	就労支援者 2名
4	担い手対策事業	3,549	2,297	担い手対策協議会
5	空き店舗活用事業	372	285	今金町商工会
6	地域・特産品活性化事業	1,176	1,176	各種観光PR
7	地域再生加速事業	1,800	1,378	地域再生加速協議会
8	高齢者交通料金助成事業	795	795	購入者 188名
9	デマンドバス運行事業	2,650	2,307	地域交通協議会
10	障がい者交通料金助成事業	493	478	利用者 63名
11	出産記念品奨励事業	3,550	2,450	出産対象者 37名
12	産業後継者結婚対策推進事業	556	426	結婚対策推進協議会
13	就学前子育て支援事業	9,000	6,890	認定こども園
14	育ちの支援事業	1,368	1,368	認定こども園
15	檜山管内７町と東京都特別区連携事業	394	388	各種連携PR
総合計		40,189	32,607	← 補助率　81%

交付金名	地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（消費喚起・生活支援型）	交付金額　19,785 千円	年度
事業名	消費喚起プレミアム商品券発行事業	事業費　79,725 千円	26

事業概要

◎交付金創設の趣旨　～　「地域への好循環拡大に向けた緊急経済対策」

地域の消費喚起など景気の脆弱な部分にスピード感を持って的を絞った対応をしていくため、緊急経済対策が効果を発揮するよう実施する。

◎事業概要

本町における経済対策として、プレミアム商品券を発行し、地域の消費喚起を図る。

◎支援内容

区　分	事業費	交付金額	支援先等
1　今金町プレミアム商品券発行事業	79,725	19,785	今金町商工会

・商品券発行　１枚　１０，０００円　×　プレミアム率　３０％　＝　１３，０００円
・発行枚数　　６，０００枚（１０枚　１セット　６００セット）
・総発行額　　１３，０００円　×　６，０００枚　＝　７８，０００千円
・プレミア率　３０％　⇒　国交付金　２５％、北海道　５％

・商品券換金枚数　　５，９９４枚
・消費喚起額　　５，９９４枚　×　１３，０００円　＝　７７，９２２千円

・国庫交付金対象　　５，９９４枚　×　２，５００円　＝　１４，９８５千円
（２５％）　　事務費　＝　１，８０３千円
計　＝　１６，７８８千円　・・・　Ａ
・北海道交付金対象　　５，９９４枚　×　５００円　＝　２，９９７千円　・・・　Ｂ

・国庫交付金・北海道交付金　合計額（Ａ＋Ｂ）　＝　**１９，７８５千円　←　補助率　100%**

交付金名	地方創生加速化交付金　～　ＮＯ．１	交付金額　14,400 千円	年度
事業名	「にぎわい今金」雇用創出支援事業	事業費　15,167 千円	27

事業概要

◎交付金創設の趣旨

一億総活躍社会実現に向けた緊急対策として「希望を生み出す強い経済」を実現するため、また、「子育て支援」「安心につながる社会保障」も含め「新三本の矢」の取組に貢献する事業を実施する。

◎事業概要

本町の産業の強化を図るため、新たな雇用の場を創り、障がい者の定着を図る福祉施策と農業の担い手確保による農業生産の向上を図る農業施策と連携し、障がい者でも働ける環境を創ることで、誰もが働ける環境につながることができ、新たな雇用の創出や本町への移住・定住を目指す。

◎支援内容

区　　分	事業費	交付金額	支援先等
1　地域力再生プロジェクト補助金	6,200	5,900	今金町商工会
・関係機関との連携による障がい者就労サポート体制の構築事業に対する支援 ・植物工場及び加工場設置による雇用拡大と新たな雇用スタイルを構築する事業に対する支援 ・着地型観光体験、セミナー開催、空き店舗を活用した、まちなか賑わい事業に対する支援			
2　空き地空き店舗活用支援補助金	8,857	8,400	支援対象者 3名
・空き家空き店舗を魅力的な空間としてリフォームし利活用を図ることに対する支援			
3　ワーキングステイ推進事業	110	100	町有施設整備
・まちづくりや地域イノベーションに興味・関心があり、実践できる方で、場所を選ばずに自身の仕事ができる方の為の居住環境整備　（町有住宅 1棟）			
総　合　計	15,167	14,400	← 補助率　95%

交付金名	地方創生加速化交付金　～　ＮＯ．２	交付金額　15,511 千円	年度
事業名	海・山・川！障がい者が満喫するバリアフリーレジャーと地域づくりの相互連携事業	事業費　15,511 千円	27

事業概要

◎交付金創設の趣旨

一億総活躍社会実現に向けた緊急対策として「希望を生み出す強い経済」を実現するため、また、「子育て支援」「安心につながる社会保障」も含め「新三本の矢」の取組に貢献する事業を実施する。

◎事業概要

観光資源の一部をバリアフリー化し、実際に障がい者等に体験してもらい意見聴取を実施。また、地域住民、関係職員、観光ガイドなどバリアフリーレジャーを支える人材の育成を図る。

◎支援内容

区　分	事業費	交付金額	支援先等
1　モニターツアー事業	3,500	3,500	今金町商工会
・クアプラザピリカ施設に宿泊してもらい、施設のバリアフリー化の促進に向けて意見聴取			
2　レジャー施設のバリアフリー備品購入	6,011	6,011	町有施設整備
・クアプラザピリカ障がい者用簡易トイレ ・クアプラザピリカセンターハウス昇降機 ・レジャー用スノーモービル			
3　レジャー施設のバリアフリー施設整備	6,000	6,000	町有施設整備
・クアプラザピリカセンターハウス１階トイレ改修 ・レストハウストイレ改修			
総　合　計	15,511	15,511	← 補助率　100%

交付金名	地方創生加速化交付金　～　ＮＯ．３	交付金額　5,142 千円	年度
事業名	北渡島檜山４町の北海道新幹線開業による地域「食」と「観光」連携事業	事業費　5,158 千円	27

事業概要

◎交付金創設の趣旨

一億総活躍社会実現に向けた緊急対策として「希望を生み出す強い経済」を実現するため、また、「子育て支援」「安心につながる社会保障」も含め「新三本の矢」の取組に貢献する事業を実施する。

◎事業内容

北海道新幹線開業に伴い、新たに食分野を付加し、観光とリンクする取組を４町連携において集中的に展開を図り広域的な経済効果の一層の向上を目指す。

◎支援内容

区　　分	事業費	交付金額	支援先等
1　食（物産）分野	1,511	1,511	4町協議会
・域内展示会とビジネス交流会の開催、物産カタログ製作 ・専門家相談会、研修会の実施、テストマーケティングの実施 ・東アジア圏をターゲットとした観光ＰＲ・販路拡大			
2　観光推進分野	3,449	3,433	4町協議会
・域内の魅力を食とパッケージにし、クーポンを付加してエリア全体のガイドブック製作 ・観光動態調査の実施、食と観光フェアーの開催			
3　域内ネットワークの構築	198	198	4町協議会
・エリア内の団体や民間事業者等の連携を図り、持続可能な仕組みや体制を構築。			
総　合　計	5,158	5,142	← 補助率　99%

交付金名	地方創生加速化交付金　～　ＮＯ．４	交付金額　8,523 千円	年度
事業名	檜山管内７町と東京都特別区連携事業	事業費　8,523 千円	27

事業概要

◎交付金創設の趣旨

一億総活躍社会実現に向けた緊急対策として「希望を生み出す強い経済」を実現するため、また、「子育て支援」「安心につながる社会保障」も含め「新三本の矢」の取組に貢献する事業を実施する。

◎事業内容

交流人口の拡大、移住・定住の促進、地域産業の維持・創出を目的に檜山管内７町連携と東京都特別区との連携を図り、地域資源の発掘・磨き上げ、商品化に向けた検討会を実施し、一過性で終わらない継続した集客の仕組みづくりを構築する。

◎支援内容

区　　分	事業費	交付金額	支援先等
1　東京都特別区との連携事業	3,644	3,644	檜山広域行政組合
・大田区民を対象としたモニターツアーの実施 ・大田区フェスタ及び食と観光フェアの開催			
2　檜山管内７町との連携事業	3,431	3,431	檜山広域行政組合
・檜山管内プロモーションビデオ製作 ・連携観光パンフレット製作及びホームページ開設 ・地域リーダーシップの育成研修の実施			
3　移住・定住受入環境整備	1,448	1,448	町有施設整備
・ちょっと暮らし体験受入体制及び施設整備			
総　合　計	8,523	8,523	← 補助率　100%

交付金名	地方創生推進交付金	交付金額　5,000 千円	年度
事業名	新たな産業と拠点づくりと人の流れ創出事業	事業費　10,655 千円	28

事業概要

◎交付金創設の趣旨

２８年度からの地方版総合戦略の本格的な推進に向け、地方創生の深化のため、自治体の自主的・主体的で先導的な事業を支援。地域再生計画を策定し認定後は、最長５年間、交付金として財政支援する。

◎事業内容

本町の産業の強化を図るため、新たな雇用の場を創り、障がい者の定着を図る福祉施策と農業の担い手確保による農業生産の向上を図る農業施策と連携し、障がい者でも働ける環境を創ることで、誰もが働ける環境につながることができ、新たな雇用の創出や本町への移住・定住を目指す。

◎支援内容

※地域再生計画認定(平成28年8月30日付け)　平成28～30年度　3年間【1年目】

区　分	事業費	交付金額	支援先等
1　山村活性化地域協議会補助金	6,000	3,000	今金町商工会
・再生可能エネルギー活用調査事業 ・新たな雇用スタイル構築及び障がい者雇用確立事業			
2　ハウス施設設置に伴う基盤整備	4,655	2,000	町有施設整備
・町有地敷地調査委託業務 ・町有地敷地整備事業			
総　合　計	10,655	5,000	← 補助率　47%

※交付金残の負担分は、まち・ひと・しごと戦略基金対応

交付金名	地方創生拠点整備交付金　【繰越明許費】	交付金額　48,000 千円	年度
事業名	観光いまかね地域活性化推進事業	事業費　101,811 千円	28

事業概要

◎交付金創設の趣旨

未来への投資に向けて、地方公共団体の地方版総合戦略に基づく自主的・主体的な地域拠点づくりなどの事業について、地方の事情を尊重しながら施設整備等の取組みに対して支援する。

◎事業内容

現在、休止中のクアプラザピリカプール施設を用途廃止し、来訪者及び地域住民が活動の拠点として利用できるスペース等を整備することで、周辺地域の持続的な維持及び活性化を図る。併せて、６次産業化を推進するためのスペースを整備し利活用を図る。

◎事業概要

※地域再生計画認定（平成29年2月24日付け）

区　　分	事業費	交付金額	支援先等
1　クアプラザピリカプール棟利活用事業	101,811	48,000	町有施設整備
・プール棟利活用　改修設計委託業務 ・プール棟利活用　改修事業 **当該施設は、宿泊施設、温泉施設、レストランなどと隣接しているため、周囲の施設と一体的な利活用を図り、新たな誘客を見込むものである。**			
総　合　計	**101,811**	**48,000**	**← 補助率　47%**

※交付金残の負担分は地方債対応 ← 充当率１００%

※地域再生計画認定に不可欠な事業の先導性の理由

遊休施設を利活用し、新たな観光客誘致戦略と位置づけ、魅力ある観光地として来訪を促すことで、本町及び近隣町との広域的な観光振興が図られる。

また、北渡島檜山４町地域連携推進協議会の「食」と「観光」推進事業における拠点施設として位置づけ、休止中の施設を利活用することで、周辺町と連携事業の強化が図られ更に相乗効果が期待される。

交付金名	地方創生推進交付金　～　ＮＯ．１	交付金額　2,785 千円	年度
事業名	海・山・川！障がい者が満喫するバリアフリーレジャーと地域づくりの相互連携事業	事業費　5,568 千円	29

事業概要

◎交付金創設の趣旨

本格的な事業展開の段階を迎えた地方創生について、更なる深化のため、地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を支援する。

◎事業概要

障がいのある方もない方と同様に檜山管内を旅行しやすくなるよう管内観光資源の洗い出し、檜山管内を観光するうえで何が障壁となるかの検証を行うほか、障がい者等が利用しやすくなるようバリアフリー化に取組んだメニューづくりに北海道、管内全７町が連携して取組む。

◎支援内容

※地域再生計画認定(平成29年5月30日付け)　平成29～31年度　3年間【1年目】

区　分	事業費	交付金額	支援先等
1　受入体制整備事業	5,385	2,693	町有施設整備
・車椅子でも簡単に階段を昇り降り可能な階段用昇降機設置 ・温泉棟における段差解消 ・観光ガイドの配置			
2　人材育成事業	183	92	
・先進地視察及び研修会の実施			
総　合　計	5,568	2,785	← 補助率　48%

※交付金残の負担分は、まち・ひと・しごと戦略基金対応

交付金名	地方創生推進交付金　～　ＮＯ．２	交付金額　5,000 千円	年度
事業名	新たな産業と拠点づくりと人の流れ創出事業	事業費　10,000 千円	29

事業概要

◎交付金創設の趣旨

本格的な事業展開の段階を迎えた地方創生について、更なる深化のため、地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を支援する。

◎事業内容

本町の産業の強化を図るため、新たな雇用の場を創り、障がい者の定着を図る福祉施策と農業の担い手確保による農業生産の向上を図る農業施策と連携し、障がい者でも働ける環境を創ることで、誰もが働ける環境につながることができ、新たな雇用の創出や本町への移住・定住を目指す。

◎支援内容

※地域再生計画認定(平成28年8月30日付け)　平成28～30年度　3年間【2年目】

区　　分	事業費	交付金額	支援先等
1　山村活性化地域協議会補助金	10,000	5,000	今金町商工会
・多様な人材が地域内産業で活躍できる仕組みづくりに対する支援 ・障がい者と農・観ビジネスの在り方に関する仕組みづくりに対する支援 ・栽培ハウス整備に係る支援 →農山漁村交付金申請者　実施主体　㈱ＴＴＮコーポレーション ①農・商工・福祉連携を図るための新たな雇用型植物工場経営基盤を確立支援する経費　3,000 千円 ②太陽光、温泉熱を活用した栽培ハウス整備を支援する経費　5,000 千円 ③まちづくり会社の設立を支援する経費　2,000 千円			
総　合　計	10,000	5,000	← 補助率　50%

※交付金残の負担分は、まち・ひと・しごと戦略基金対応

交付金名	地方創生推進交付金　～　ＮＯ．３	交付金額　1,974 千円	年度
事業名	檜山管内７町と東京都特別区連携事業	事業費　3,948 千円	29

事業概要

◎交付金創設の趣旨

本格的な事業展開の段階を迎えた地方創生について、更なる深化のため、地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を支援する。

◎事業内容

交流人口の拡大、移住・定住の促進、地域産業の維持・創出を目的に檜山管内７町連携と東京都特別区との連携を図り、地域資源の発掘・磨き上げ、商品化に向けた検討会を実施し、一過性で終わらない継続した集客の仕組みづくりを構築する。

◎支援内容

※地域再生計画認定(平成29年5月30日付け)　平成29～31年度　3年間【1年目】

区　　分	事業費	交付金額	支援先等
1　檜山管内７町と東京都特別区との連携事業	3,948	1,974	事務局:上ノ国町
・エリア別個別戦略の推進 ・滞在型旅行商品の造成・ＰＲ活動の実施　『せたな・今金エリア　学生向けツアー、巡り花ツアー』 ・受入体制及び受入環境の整備 ・大田区フェスタ及び食と観光フェアの開催 大田区フェスタ　11月4日～5日　来場者数30万人　特産品販売　売上464千円 ひやま食と観光フェア　2月17日～18日　来場者数　２万人　特産品開発　売上　3,070千円			
総　合　計	3,948	1,974	← 補助率　50%

※交付金残の負担分は、まち・ひと・しごと戦略基金対応

交付金名	地方創生推進交付金　～　ＮＯ．１	交付金額　2,475 千円	年度
事業名	海・山・川！障がい者が満喫するバリアフリーレジャーと地域づくりの相互連携事業	予算額　6,950 千円	30

事業概要

◎交付金創設の趣旨

本格的な事業展開の段階を迎えた地方創生について、更なる深化のため、地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を支援する。

◎事業概要

障がいのある方もない方と同様に檜山管内を旅行しやすくなるよう管内観光資源の洗い出し、檜山管内を観光するうえで何が障壁となるかの検証を行うほか、障がい者等が利用しやすくなるようバリアフリー化に取組んだメニューづくりに北海道、管内全７町が連携して取組む。

◎支援内容

※地域再生計画認定（平成29年5月30日付け）　平成29～31年度　3年間【1年目】

区　分	予算額	交付金額	支援先等
1　受入体制整備事業	6,750	2,375	町有施設整備
・モニタリングツアー ・観光ガイドの配置 ・観光施設バリアフリー化（補助対象外経費）			
2　人材育成事業	200	100	
・先進地視察及び研修会の実施			
総　合　計	4,950	2,475	← 補助率　50%

※交付金残の負担分は、まち・ひと・しごと戦略基金対応



交付金名	地方創生推進交付金　～　ＮＯ．２	交付金額	4,000 千円	年度
事業名	新たな産業と拠点づくりと人の流れ創出事業	予算額	8,000 千円	30

事業概要

◎交付金創設の趣旨

本格的な事業展開の段階を迎えた地方創生について、更なる深化のため、地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を支援する。

◎事業内容

本町の産業の強化を図るため、新たな雇用の場を創り、障がい者の定着を図る福祉施策と農業の担い手確保による農業生産の向上を図る農業施策と連携し、障がい者でも働ける環境を創ることで、誰もが働ける環境につながることができ、新たな雇用の創出や本町への移住・定住を目指す。

◎支援内容

※地域再生計画認定（平成28年8月30日付け）　平成28～30年度　3年間【3年目】

区　　分	予算額	交付金額	支援先等
1　山村活性化地域協議会補助金	8,000	4,000	今金町商工会
①まちづくり会社設立を支援する経費　⇒　4,100 千円 内訳 ・地域内労働力不足を解消するための雇用シェリングシステム構築経費　400 千円 ・障がい者の活躍できる労働環境の課題解決に向けた実証経費　2,550 千円 ・多様な人材が地域で活躍できる新たなビジネス調査経費　1,150 千円 ②加工品等業務拡大に向けた実証を支援する経費　250 千円			
総　合　計	4,350	2,175	← 補助率　50%

※交付金残の負担分は、まち・ひと・しごと戦略基金対応

交付金名	地方創生推進交付金　～　ＮＯ．３	交付金額	1,750 千円	年度
事業名	檜山管内７町と東京都特別区連携事業	予算額	3,500 千円	30

事業概要

◎交付金創設の趣旨

本格的な事業展開の段階を迎えた地方創生について、更なる深化のため、地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を支援する。

◎事業内容

交流人口の拡大、移住・定住の促進、地域産業の維持・創出を目的に檜山管内７町連携と東京都特別区との連携を図り、地域資源の発掘・磨き上げ、商品化に向けた検討会を実施し、一過性で終わらない継続した集客の仕組みづくりを構築する。

◎支援内容

※地域再生計画認定(平成29年5月30日付け)　平成29～31年度　3年間【２年目】

区　　分	予算額	交付金額	支援先等
1　檜山管内７町と東京都特別区との連携事業	3,500	1,750	事務局:上ノ国町
・エリア別個別戦略の推進 ・滞在型旅行商品の販売活動及びＰＤＣＡサイクル検証経費 ・受入体制及び受入環境のためのリーダー人材養成 ・大田区フェスタ及び食と観光フェアの開催			
総　合　計	3,466	1,733	← 補助率　50%

※交付金残の負担分は、まち・ひと・しごと戦略基金対応

交付金名	地方創生推進交付金　～　ＮＯ．１	交付金額	2,475 千円	年度
事業名	海・山・川！障がい者が満喫するバリアフリーレジャーと地域づくりの相互連携事業	予算額	6,950 千円	31

事業概要

◎交付金創設の趣旨

本格的な事業展開の段階を迎えた地方創生について、更なる深化のため、地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を支援する。

◎事業概要

障がいのある方もない方と同様に檜山管内を旅行しやすくなるよう管内観光資源の洗い出し、檜山管内を観光するうえで何が障壁となるかの検証を行うほか、障がい者等が利用しやすくなるようバリアフリー化に取組んだメニューづくりに北海道、管内全７町が連携して取組む。

◎支援内容

※地域再生計画認定（平成29年5月30日付け）　平成29～31年度　3年間【３年目】

区　　分	予算額	交付金額	支援先等
1　受入体制整備事業	3,600	1,800	町有施設整備
・モニタリングツアー ・観光ガイドの配置 ・観光施設バリアフリー化（補助対象外経費）			
2　人材育成事業	0	0	
総　合　計	3,600	1,800	← 補助率　５０％

※交付金残の負担分は、まち・ひと・しごと戦略基金対応

交付金名	地方創生推進交付金　～　ＮＯ.２	交付金額　1,750 千円	年度
事業名	檜山管内７町と東京都特別区連携事業	予算額　3,500 千円	31

事業概要

◎交付金創設の趣旨

本格的な事業展開の段階を迎えた地方創生について、更なる深化のため、地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を支援する。

◎事業内容

交流人口の拡大、移住・定住の促進、地域産業の維持・創出を目的に檜山管内７町連携と東京都特別区との連携を図り、地域資源の発掘・磨き上げ、商品化に向けた検討会を実施し、一過性で終わらない継続した集客の仕組みづくりを構築する。

◎支援内容

※地域再生計画認定(平成29年5月30日付け)　平成29～31年度　3年間【3年目】

区　　分	予算額	交付金額	支援先等
1　檜山管内７町と東京都特別区との連携事業	3,200	1,600	事務局:上ノ国町
・エリア別個別戦略の推進 ・滞在型旅行商品の販売活動及びＰＤＣＡサイクル検証経費 ・受入体制及び受入環境のためのリーダー人材養成 ・大田区フェスタ及び食と観光フェアの開催			
総　合　計	3,200	1,600	← 補助率　50%

※交付金残の負担分は、まち・ひと・しごと戦略基金対応

交付金名	地方創生推進交付金　～　ＮＯ．３	交付金額　2,525 千円	年度
事業名	多様な人材が活躍できるまちづくり推進事業	予算額　5,050 千円	31

事業概要

◎交付金創設の趣旨

本格的な事業展開の段階を迎えた地方創生について、更なる深化のため、地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を支援する。

◎事業内容

本町の産業の強化を図るため、新たな雇用の場を創り、障がい者の定着を図る福祉施策と農業の担い手確保による農業生産の向上を図る農業施策と連携し、障がい者でも働ける環境を創ることで、誰もが働ける環境につながることができ、新たな雇用の創出や本町への移住・定住を目指す。

今金町の豊かな自然資源と人的資源を活かした3年度のステップアップ方式で効率よく事業化を図る。

■多様な人材が地域内産業で活躍できる仕組みづくり～働き手・受けての確保

◎支援内容

※地域再生計画認定(平成31年3月29日付け)　平成31～33年度　3年間【1年目】

区　　分	予算額	交付金額	支援先等
1　ソーシャルタウン今金推進協議会	5,050	2,525	今金町商工会
①地域内の労働力不足を解消するための雇用シェアリングを構築する経費 ②障がいがあっても活躍できる労働環境の課題解決に係る支援する経費 ③障がい者と農・観ビジネスの在り方に関する仕組みづくりを支援する経費 ④販路拡大に係る連携事業に係る経費			
総　合　計	5,050	2,525	← 補助率　50%

※交付金残の負担分は、まち・ひと・しごと戦略基金対応

交付金名	地方創生推進交付金	交付金額 4,900 千円	年度
事業名	多様な人材が活躍できるまちづくり推進事業	予算額 2,450 千円	2

事業概要

◎交付金創設の趣旨

本格的な事業展開の段階を迎えた地方創生について、更なる深化のため、地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を支援する。

◎事業内容

本町の産業の強化を図るため、新たな雇用の場を創り、障がい者の定着を図る福祉施策と農業の担い手確保による農業生産の向上を図る農業施策と連携し、障がい者でも働ける環境を創ることで、誰もが働ける環境につながることができ、新たな雇用の創出や本町への移住・定住を目指す。

今金町の豊かな自然資源と人的資源を活かした3年度のステップアップ方式で効率よく事業化を図る。

■多様な人材が地域内産業で活躍できる仕組みづくり～働き手・受けての確保

◎支援内容

※地域再生計画認定(平成31年3月29日付け)　平成31～令和3年度　3年間【2年目】

区分	予算額	交付金額	支援先等
1　ソーシャルタウン今金推進協議会	4,900	2,450	ソーシャルタウン今金町推進協議会
①地域内の労働力不足を解消するための雇用シェアリングを構築する経費 ②障がいがあっても活躍できる労働環境の課題解決に係る支援する経費 ③障がい者と農・観ビジネスの在り方に関する仕組みづくりを支援する経費 ④販路拡大に係る連携事業に係る経費			
総　合　計	4,900	2,450	← 補助率　50%

※交付金残の負担分は、まち・ひと・しごと戦略基金対応

交付金名	地方創生推進交付金	交付金額 2,464 千円	年度
事業名	多様な人材が活躍できるまちづくり推進事業	予算額 4,928 千円	3

事業概要

◎交付金創設の趣旨

本格的な事業展開の段階を迎えた地方創生について、更なる深化のため、地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を支援する。

◎事業内容

本町の産業の強化を図るため、新たな雇用の場を創り、障がい者の定着を図る福祉施策と農業の担い手確保による農業生産の向上を図る農業施策と連携し、障がい者でも働ける環境を創ることで、誰もが働ける環境につながることができ、新たな雇用の創出や本町への移住・定住を目指す。

今金町の豊かな自然資源と人的資源を活かした3年度のステップアップ方式で効率よく事業化を図る。

■多様な人材が地域内産業で活躍できる仕組みづくり～働き手・受けての確保

◎支援内容

※地域再生計画認定(平成31年3月29日付け)　平成31～令和3年度　3年間【3年目】

区分	予算額	交付金額	支援先等
1　ソーシャルタウン今金推進協議会	4,928	2,464	ソーシャルタウン今金町推進協議会
①地域内の労働力不足を解消するための雇用シェアリングを構築する経費 ②障がいがあっても活躍できる労働環境の課題解決に係る支援する経費 ③障がい者と農・観ビジネスの在り方に関する仕組みづくりを支援する経費 ④販路拡大に係る連携事業に係る経費			
総　合　計	4,928	2,464	← 補助率　50%

※交付金残の負担分は、まち・ひと・しごと戦略基金対応

資料 8

第6次今金町総合計画

実 施 計 画

前期実施計画期間

令和３年度～令和７年度

（５年間）

今　　金　　町



第６次今金町総合計画前期実施計画作成上の留意点等について

【留意点等】

1　本実施計画に登載する事業は、第６次今金町総合計画に基づき、令和３年度から令和７年度の５ヵ年において実施する事業といたします。

2　対象となる事業は、新基本構想の４つの基本目標と全１７の政策分野に基づき実施するものとし、詳細は取り組みの方向や前期基本計画等の「町民と行政が協働で進める取組」「行政の取組」と合致するものとします。

3　政策に基づかない、給与・手当、修繕費、業務委託費、備品購入費、扶助費、施設維持費等は、原則として実施計画事業の対象外とします。

4　事業詳細が未定でも、今後５年間で実施を見込むものは登載します。

5　令和３年度実施計画のうち、第５次今金町総合計画実施計画に登載がなかった事業は政策事業調書（新規用）を作成し、各課常任委員会資料に添付・整理しています。

6　本実施計画各年度の事業費は、主要経費等を概算で整理しており、事業関連経費を各節ごとに詳細整理した政策事業調書とは、事業費が一致しない場合があります。

7　事業費概要財源内訳の特定財源は、国庫・道支出金、地方債・その他特定財源を含みます。

8　事業実施段階で時限（事業期間）を設定しているものや、庁内行政評価ヒアリング等で見直しの考えのある事業については、事業費概要の数値入力は限定的に取り扱っているものがあります。

9　令和４年度以降本実施計画に追加登載する場合は、計画当初の事業一覧・事業数の欄とは区分して登載・整理する予定としています。

10　基本目標及び政策分野は、基本構想第５章第１節政策の体系で掲げる項目となっており、実施計画の各集計も次の番号順に行っています。

Ⅰ　いきいき今金「人づくり」
　１　人の育成　２　学校教育　３　社会教育　４　スポーツ振興
　５　文化振興
Ⅱ　あんしん今金「暮らしづくり」
　１　子育て支援　２　健康づくり　３　福祉　４　消防・防災
Ⅲ　はつらつ今金「ものづくり」
　１　農林業振興　２　商工業振興
Ⅳ　ふれあい今金「まちづくり」
　１　行政経営　２　観光・交流・定住　３　住生活　４　環境保全
　５　情報通信　６　交通

目　次

前期実施計画集計表（令和３年度～　７年度）・・Ｐ１

基本目標　Ⅰ　いきいき今金「人づくり」

政策分野　１　人の育成 ・・・・・・・・・・Ｐ２
　　２　学校教育 ・・・・・・・・・・Ｐ２～３
　　３　社会教育 ・・・・・・・・・・Ｐ４
　　４　スポーツ振興 ・・・・・・・・Ｐ５
　　５　文化振興 ・・・・・・・・・・Ｐ５

基本目標　Ⅱ　あんしん今金「暮らしづくり」

政策分野　１　子育て支援 ・・・・・・・・Ｐ６～７
　　２　健康づくり ・・・・・・・・・Ｐ７
　　３　福祉 ・・・・・・・・・・・・Ｐ８～９
　　４　消防・防災 ・・・・・・・・・Ｐ10

　　余白 ・・・・・・・・・・・・・Ｐ11

基本目標　Ⅲ　はつらつ今金「ものづくり」

政策分野　１　農林業振興 ・・・・・・・・・Ｐ12～14
　　２　商工業振興 ・・・・・・・・・Ｐ15

基本目標　Ⅳ　ふれあい今金「まちづくり」

政策分野　１　行政経営 ・・・・・・・・・・Ｐ16
　　２　観光・交流・定住 ・・・・・・Ｐ17
　　３　住生活 ・・・・・・・・・・・Ｐ18
　　４　環境保全 ・・・・・・・・・・Ｐ19
　　５　情報通信 ・・・・・・・・・・Ｐ20
　　６　交通 ・・・・・・・・・・・・Ｐ20～22

第6次総合計画前期実施計画（令和3年度～7年度）

単位：千円

基本目標及び政策分野			前期実施計画全体				令和３年度				令和４年度				令和５年度				令和６年度				令和７年度			
			事業数	事業費			事業数	事業費			事業数	事業費			事業数	事業費			事業数	事業費			事業数	事業費		
				特定財源	一般財源	合計		特定財源	一般財源	合計		特定財源	一般財源	合計		特定財源	一般財源	合計		特定財源	一般財源	合計		特定財源	一般財源	合計
Ⅰ人づくり	1	人の育成	4	0	11,600	11,600	2	0	1,500	1,500	3	0	3,200	3,200	3	0	2,900	2,900	3	0	2,500	2,500	2	0	1,500	1,500
	2	学校教育	8	3,603,546	350,188	3,953,734	6	721,586	45,502	767,088	7	1,611,720	71,182	1,682,902	7	327,240	45,056	372,296	8	928,400	71,220	999,620	7	14,600	117,228	131,828
	3	社会教育	4	18,500	49,219	67,719	4	3,700	11,867	15,567	4	3,700	6,809	10,509	4	3,700	11,867	15,567	4	3,700	6,809	10,509	4	3,700	11,867	15,567
	4	スポーツ振興	2	7,035	150,000	157,035	2	2,345	30,000	32,345	2	2,345	30,000	32,345	2	2,345	30,000	32,345	1	0	30,000	30,000	1	0	30,000	30,000
	5	文化振興	1	17,874	2,600	20,474	1	4,524	250	4,774	1	600	100	700	1	4,250	750	5,000	1	4,250	750	5,000	1	4,250	750	5,000
Ⅱ暮らしづくり	1	子育て支援	9	439,877	490,244	930,121	9	89,117	103,340	192,457	8	87,690	96,726	184,416	8	87,690	96,726	184,416	8	87,690	96,726	184,416	8	87,690	96,726	184,416
	2	健康づくり	2	53,900	15,780	69,680	2	53,900	3,156	57,056	1	0	3,156	3,156	1	0	3,156	3,156	1	0	3,156	3,156	1	0	3,156	3,156
	3	福祉	16	168,915	420,415	589,330	16	33,783	84,083	117,866	16	33,783	84,083	117,866	16	33,783	84,083	117,866	16	33,783	84,083	117,866	16	33,783	84,083	117,866
	4	消防・防災	3	124,200	13,800	138,000	0	0	0	0	1	18,000	2,000	20,000	1	50,400	5,600	56,000	1	18,000	2,000	20,000	1	37,800	4,200	42,000
Ⅲものづくり	1	農林業振興	24	438,544	188,507	627,051	22	111,826	44,059	155,885	21	118,736	44,602	163,338	20	55,772	36,852	92,624	19	76,849	31,932	108,781	17	75,361	31,062	106,423
	2	商工業振興	7	2,464	140,751	143,215	7	2,464	26,179	28,643	7	0	28,643	28,643	7	0	28,643	28,643	7	0	28,643	28,643	7	0	28,643	28,643
Ⅳまちづくり	1	行政経営	7	25,200	79,989	105,189	6	3,000	7,292	10,292	7	6,500	10,920	17,420	6	3,000	18,359	21,359	7	9,700	25,159	34,859	6	3,000	18,259	21,259
	2	観光・交流・定住	6	0	253,095	253,095	5	0	47,339	47,339	4	0	46,439	46,439	5	0	66,439	66,439	4	0	46,439	46,439	4	0	46,439	46,439
	3	住生活	7	133,110	32,890	166,000	5	53,000	10,400	63,400	5	22,435	19,265	41,700	2	0	2,400	2,400	1	24,300	700	25,000	1	33,375	125	33,500
	4	環境保全	7	303,273	38,437	341,710	7	135,831	17,095	152,926	6	57,381	10,545	67,926	5	26,461	8,945	35,406	3	39,000	926	39,926	3	44,600	926	45,526
	5	情報通信	2	0	10,660	10,660	1	0	480	480	2	0	8,740	8,740	1	0	480	480	1	0	480	480	1	0	480	480
	6	交通	18	1,514,247	454,734	1,968,981	12	218,831	103,893	322,724	15	211,900	95,935	307,835	14	418,335	130,417	548,752	11	352,612	58,023	410,635	10	312,569	66,466	379,035
	17		127	6,850,685	2,702,909	9,553,594	107	1,433,907	536,435	1,970,342	110	2,174,790	562,345	2,737,135	103	1,012,976	572,673	1,585,649	96	1,578,284	489,546	2,067,830	90	650,728	541,910	1,192,638

第６次今金町総合計画 前期実施計画（令和３年度～令和７年度）

基本目標　Ⅰ　いきいき今金「人づくり」

政策分野　１　人の育成

担当課	事　業　名	事業内容	事業費概要			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
まちづくり推進課	産業後継者育成就業奨励金事業	産業後継者の確保を図り、地域産業の活性化に寄与する（商工業分野）	合計（千円）		1,000	0	0	0	1,000	0
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	1,000	0	0	0	1,000	0
農林振興課	産業後継者育成就業奨励金事業	産業後継者の確保を図り、地域産業の活性化に寄与する（農業分野）	合計（千円）		3,100	0	1,700	1,400	0	0
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	3,100	0	1,700	1,400	0	0
教育委員会	“今金っ子育成”読書と作文のまちプロジェクト事業	子どもたちの生きる力となる「確かな学力（知）」「豊かな心（徳）」「健やかな体（体）」を養うことの実現に向け、学校・家庭・地域・教育委員会が一体となって、児童生徒の学力向上と望ましい生活習慣の取得を図る事業への助成を行う	合計（千円）		3,000	600	600	600	600	600
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	3,000	600	600	600	600	600
教育委員会	人づくり推進会議運営事業	生涯学習推進の観点に立ち、社会教育、文化・芸術及びスポーツ並びに地域の教育研究の充実振興を図ることを目的に実施しようとする事業に対する助成	合計（千円）		4,500	900	900	900	900	900
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	4,500	900	900	900	900	900

事業数	事業費概要			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
4事業	合計（千円）		11,600	1,500	3,200	2,900	2,500	1,500
	財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
		一般財源	11,600	1,500	3,200	2,900	2,500	1,500

政策分野　２　学校教育

担当課	事　業　名	事業内容	事業費概要			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
教育委員会	確かな学力の育成の充実事業	学習・授業方法の検証、家庭学習の支援、ICT化など、地域の教育力の向上に努め、児童生徒の学習習慣や生活習慣の改善により、健やかな成長と確かな学力の向上を目指す	合計（千円）		36,475	7,295	7,295	7,295	7,295	7,295
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	36,475	7,295	7,295	7,295	7,295	7,295

政策分野　2　学校教育(前ページつづき)

担当課	事業名	事業内容	事業費概要			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
教育委員会	地産地消(食育)推進事業	認定こども園いまかねにおける地場産米の提供	合計(千円)		2,820	564	564	564	564	564
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	2,820	564	564	564	564	564
教育委員会	学校給食食育推進事業	町内生産者及びJA今金町女性部の協力による新米と新じゃがを素材とした食育推進事業	合計(千円)		4,235	847	847	847	847	847
			財源内訳	特定財源	500	100	100	100	100	100
				一般財源	3,735	747	747	747	747	747
教育委員会	学校給食主食用地場産物購入事業	学校給食に係る地場産物の主食(米、小麦)の材料費	合計(千円)		9,475	1,895	1,895	1,895	1,895	1,895
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	9,475	1,895	1,895	1,895	1,895	1,895
教育委員会	学校給食センター改築事業	学校給食センター改築工事(令和6年度着工予定) 旧学校給食センター解体工事(令和7年度着工予定)	合計(千円)		648,208	0	5,724	44,992	507,492	90,000
			財源内訳	特定財源	512,880	0	0	30,780	482,100	0
				一般財源	135,328	0	5,724	14,212	25,392	90,000
教育委員会	学校給食センター配送車購入事業	学校給食センターの配送車購入	合計(千円)		5,300	0	0	0	5,300	0
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	5,300	0	0	0	5,300	0
教育委員会	特別支援教育体制整備事業	特別支援学級等でのきめ細かな支援を図るための特別支援教育支援員配置	合計(千円)		81,135	16,227	16,227	16,227	16,227	16,227
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	81,135	16,227	16,227	16,227	16,227	16,227
教育委員会	今金中学校改築事業	学校環境の充実化、時代のニーズに即した学校改築事業の実施	合計(千円)		3,166,086	740,260	1,650,350	300,476	460,000	15,000
			財源内訳	特定財源	3,090,166	721,486	1,611,620	296,360	446,200	14,500
				一般財源	75,920	18,774	38,730	4,116	13,800	500

事業数	事業費概要			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
8事業	合計(千円)		3,953,734	767,088	1,682,902	372,296	999,620	131,828
	財源内訳	特定財源	3,603,546	721,586	1,611,720	327,240	928,400	14,600
		一般財源	350,188	45,502	71,182	45,056	71,220	117,228

政策分野　3　社会教育

担当課	事　業　名	事業内容	事業費概要			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
教育委員会	社会教育指導員配置事業	社会教育分野についての直接指導や学習相談、社会教育関係団体の育成や相談などの業務に従事する専門員の配置	合計(千円)		16,715	3,343	3,343	3,343	3,343	3,343
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	16,715	3,343	3,343	3,343	3,343	3,343
教育委員会	国際国内交流事業	ニュージーランド・バーンサイド高校との相互交流による国際交流・地域交流の推進(今金中学校生徒の派遣、バーンサイド高校生の受け入れの隔年実施)	合計(千円)		17,674	5,558	500	5,558	500	5,558
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	17,674	5,558	500	5,558	500	5,558
教育委員会	国際交流推進アドバイザー招聘事業	国際交流、国際理解教育を推進するための指導者招聘	合計(千円)		29,830	5,966	5,966	5,966	5,966	5,966
			財源内訳	特定財源	15,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
				一般財源	14,830	2,966	2,966	2,966	2,966	2,966
教育委員会	図書振興事業	町民センター図書室、図書購入による事業	合計(千円)		3,500	700	700	700	700	700
			財源内訳	特定財源	3,500	700	700	700	700	700
				一般財源	0	0	0	0	0	0

事業数	事業費概要			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
4事業	合計(千円)		67,719	15,567	10,509	15,567	10,509	15,567
	財源内訳	特定財源	18,500	3,700	3,700	3,700	3,700	3,700
		一般財源	49,219	11,867	6,809	11,867	6,809	11,867

政策分野　4　スポーツ振興

担当課	事　業　名	事業内容	事業費概要			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
教育委員会	スポーツアドバイザー配置事業	主に各種総合体育館発信事業と地域支援事業の発信事業を行う	合計(千円)		7,035	2,345	2,345	2,345	0	0
			財源内訳	特定財源	7,035	2,345	2,345	2,345	0	0
				一般財源	0	0	0	0	0	0
教育委員会	社会体育施設運営事業	総合体育館及び野外体育施設(健民グラウンド等)の運営事業	合計(千円)		150,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	150,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000

事業数	事業費概要			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
2事業	合計(千円)		157,035	32,345	32,345	32,345	30,000	30,000
	財源内訳	特定財源	7,035	2,345	2,345	2,345	0	0
		一般財源	150,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000

政策分野　5　文化振興

担当課	事　業　名	事業内容	事業費概要			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
教育委員会	文化財の保存と継承・活用事業	貴重な文化財を保護・継承するため、基礎的な調査研究を実施し、今後の保存活用計画を作成するとともに、優先順位を設定して計画的に保存・整備を図る　※国庫補助事業を前提とする	合計(千円)		20,474	4,774	700	5,000	5,000	5,000
			財源内訳	特定財源	17,874	4,524	600	4,250	4,250	4,250
				一般財源	2,600	250	100	750	750	750

事業数	事業費概要			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
1事業	合計(千円)		20,474	4,774	700	5,000	5,000	5,000
	財源内訳	特定財源	17,874	4,524	600	4,250	4,250	4,250
		一般財源	2,600	250	100	750	750	750

基本目標　Ⅱ　あんしん今金「暮らしづくり」

政策分野　1　子育て支援

担当課	事業名	事業内容	事業費概要			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
税務住民課	出生記念品贈呈事業	出産時に記念品を贈呈し出産を奨励するとともに、人口の増加を図り児童の健全育成に寄与する	合計(千円)		13,750	2,750	2,750	2,750	2,750	2,750
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	13,750	2,750	2,750	2,750	2,750	2,750
まちづくり推進課	結婚新生活支援事業	移住定住対策及び少子化対策を目的とした、婚姻に伴う新生活に係る住居費の一部助成	合計(千円)		3,000	600	600	600	600	600
			財源内訳	特定財源	750	150	150	150	150	150
				一般財源	2,250	450	450	450	450	450
教育委員会	認定こども園いまかね運営支援事業	就学前児童の子育て支援の拠点となる認定こども園いまかねへの運営費助成	合計(千円)		678,360	135,672	135,672	135,672	135,672	135,672
			財源内訳	特定財源	388,645	77,729	77,729	77,729	77,729	77,729
				一般財源	289,715	57,943	57,943	57,943	57,943	57,943
教育委員会	へき地保育所運営事業	幼児期の子どもたちへ集団生活を通じて生活や学習の基礎を学ばすとともに社会性や豊かな心を育む教育の充実を図る	合計(千円)		8,041	8,041	0	0	0	0
			財源内訳	特定財源	1,427	1,427	0	0	0	0
				一般財源	6,614	6,614	0	0	0	0
教育委員会	育ちの支援事業	心身の発達心配や遅れのある乳幼児に対して、保育所等において、集団保育や必要に応じた個別保育等を実施することにより、幼児等の心身の機能の伸長と健全な社会性の成長発達を促進する	合計(千円)		29,340	5,868	5,868	5,868	5,868	5,868
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	29,340	5,868	5,868	5,868	5,868	5,868
教育委員会	学童保育所運営事業	保護者の就労等により、保育に欠ける小学校低・中学年学童等の健全育成を図る	合計(千円)		98,405	19,681	19,681	19,681	19,681	19,681
			財源内訳	特定財源	49,055	9,811	9,811	9,811	9,811	9,811
				一般財源	49,350	9,870	9,870	9,870	9,870	9,870
保健福祉課	母子保健事業	母子保健法等に基づき、子の健やかな成長と保護者の育児を支援するため、乳幼児相談・家庭訪問等の事業を実施する	合計(千円)		1,725	345	345	345	345	345
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	1,725	345	345	345	345	345
保健福祉課	子ども医療費助成事業	満18歳に達した年度末までの医療費の助成を拡大し無償化	合計(千円)		90,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	90,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000

政策分野　1　子育て支援(前ページつづき)

担当課	事業名	事業内容	事業費概要			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
保健福祉課	ひとり親家庭等医療費助成事業	ひとり親家庭における子どもが満18歳に達した年度末までの医療費の助成を拡大し無償化	合計(千円)		7,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	7,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500

事業数	事業費概要			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
9事業	合計(千円)		930,121	192,457	184,416	184,416	184,416	184,416
	財源内訳	特定財源	439,877	89,117	87,690	87,690	87,690	87,690
		一般財源	490,244	103,340	96,726	96,726	96,726	96,726

政策分野　2　健康づくり

担当課	事業名	事業内容	事業費概要			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
保健福祉課	健康増進事業	健康増進法等に基づき、住民の疾病予防及び健康の保持増進のため、必要な事業を実施する	合計(千円)		15,780	3,156	3,156	3,156	3,156	3,156
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	15,780	3,156	3,156	3,156	3,156	3,156
国保病院	医療用器械器具購入事業 (電子カルテ等整備)	患者情報の記録に要する時間短縮や院内で作成される様々な書類について文書管理負担の軽減を図るとともに、他部署との情報共有が迅速化されることによる医療サービスの向上を図ることを目的として導入する	合計(千円)		53,900	53,900	0	0	0	0
			財源内訳	特定財源	53,900	53,900	0	0	0	0
				一般財源	0	0	0	0	0	0

事業数	事業費概要			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
2事業	合計(千円)		69,680	57,056	3,156	3,156	3,156	3,156
	財源内訳	特定財源	53,900	53,900	0	0	0	0
		一般財源	15,780	3,156	3,156	3,156	3,156	3,156

政策分野　3　福祉

担当課	事　業　名	事業内容	事業費概要			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
教育委員会	子ども発達支援センター運営事業	心身の発達に悩みや不安のある児童に対し、保護者の意向を聞きながら個別・集団療育指導を行い、個々の発達段階における社会性と基本的自立能力の促進を図る（せたな町との広域事業）	合計(千円)		25,450	5,090	5,090	5,090	5,090	5,090
			財源内訳	特定財源	18,400	3,680	3,680	3,680	3,680	3,680
				一般財源	7,050	1,410	1,410	1,410	1,410	1,410
保健福祉課	長寿健康祝金支給事業	永年にわたり社会に貢献した高齢者を敬愛し、長寿と健康を祝福するとともにその福祉に寄与することを目的に長寿・健康祝金を支給する	合計(千円)		32,500	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	32,500	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500
保健福祉課	高齢者等入浴扶助事業	今金町に在住する満６５歳以上の高齢者を対象に健康保持・増進を図るとともに町内の温泉施設の効果的利用を行うことにより、高齢者福祉の充実を図る	合計(千円)		1,800	360	360	360	360	360
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	1,800	360	360	360	360	360
保健福祉課	給食サービス事業	町内に居住する老人や、虚弱高齢者世帯に対して定期的に配食のサービスを行い、食生活の改善による健康保持と地域社会との連帯を深める	合計(千円)		90,320	18,064	18,064	18,064	18,064	18,064
			財源内訳	特定財源	79,740	15,948	15,948	15,948	15,948	15,948
				一般財源	10,580	2,116	2,116	2,116	2,116	2,116
保健福祉課	重度障がい者タクシー料金助成事業	重度障がい者の社会参加を促進するため、外出する際利用するタクシー料金の一部助成	合計(千円)		3,600	720	720	720	720	720
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	3,600	720	720	720	720	720
保健福祉課	じん臓機能障がい者通院交通費補助事業	人工透析療法のため医療機関への通院に要する交通費への助成	合計(千円)		505	101	101	101	101	101
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	505	101	101	101	101	101
保健福祉課	障がい者地域生活支援事業	障がい者及び障がい児がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう地域の特性や利用者の状況に応じた事業を効率的かつ効果的に実施する	合計(千円)		61,310	12,262	12,262	12,262	12,262	12,262
			財源内訳	特定財源	20,420	4,084	4,084	4,084	4,084	4,084
				一般財源	40,890	8,178	8,178	8,178	8,178	8,178
保健福祉課	重度心身障がい者医療費助成事業	重度心身障がい者が満18歳に達した年度末までの医療費の助成を拡大し無償化	合計(千円)		96,040	19,208	19,208	19,208	19,208	19,208
			財源内訳	特定財源	47,420	9,484	9,484	9,484	9,484	9,484
				一般財源	48,620	9,724	9,724	9,724	9,724	9,724
保健福祉課	障がい者雇用促進事業	障がい者を新規雇用する事業者に対する助成	合計(千円)		8,100	1,620	1,620	1,620	1,620	1,620
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	8,100	1,620	1,620	1,620	1,620	1,620

政策分野　3　福祉(前ページつづき)

担当課	事業名	事業内容	事業費概要			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
保健福祉課	社会福祉協議会運営補助事業	社会福祉協議会の運営費助成	合計(千円)		141,335	28,267	28,267	28,267	28,267	28,267
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	141,335	28,267	28,267	28,267	28,267	28,267
保健福祉課	福祉灯油扶助事業	高齢者ひとり暮らし世帯等に対する福祉灯油扶助	合計(千円)		17,160	3,432	3,432	3,432	3,432	3,432
			財源内訳	特定財源	2,500	500	500	500	500	500
				一般財源	14,660	2,932	2,932	2,932	2,932	2,932
保健福祉課	患者バス運行事業	医療機関等への輸送体制の確保	合計(千円)		27,435	5,487	5,487	5,487	5,487	5,487
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	27,435	5,487	5,487	5,487	5,487	5,487
保健福祉課	緊急通報電話設置事業	在宅において身体の機能障がいがある高齢者及び独居の高齢者に対して、あんしん電話を設置（貸与）し、緊急連絡網を整備する	合計(千円)		8,025	1,605	1,605	1,605	1,605	1,605
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	8,025	1,605	1,605	1,605	1,605	1,605
保健福祉課	地域支援事業（任意事業）	地域の高齢者が、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していけるよう介護保険事業の運営の安定化を図るための介護給付費適正化事業や地域の実情に応じた認知症施策、災害時要援護者の把握等の必要な支援を行う	合計(千円)		750	150	150	150	150	150
			財源内訳	特定財源	435	87	87	87	87	87
				一般財源	315	63	63	63	63	63
保健福祉課	高齢者・身体障がい者等除雪サービス事業	高齢者や障がい者への除雪サービス	合計(千円)		50,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	50,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
保健福祉課	福祉スタッフ確保支援事業	町内福祉事業所のスタッフ確保のための助成	合計(千円)		25,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	25,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000

事業数	事業費概要			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
16事業	合計(千円)		589,330	117,866	117,866	117,866	117,866	117,866
	財源内訳	特定財源	168,915	33,783	33,783	33,783	33,783	33,783
		一般財源	420,415	84,083	84,083	84,083	84,083	84,083

政策分野　4　消防・防災

担当課	事　業　名	事業内容	事業費概要		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
消防署	小型動力ポンプ付積載車更新事業	3台更新　（令和4年度、6年度、9年度購入）	合計（千円）	40,000	0	20,000	0	20,000	0
			財源内訳 特定財源	36,000	0	18,000	0	18,000	0
			財源内訳 一般財源	4,000	0	2,000	0	2,000	0
消防署	小型動力ポンプ付水槽車更新事業	2台更新　（令和5年度、12年度購入）	合計（千円）	56,000	0	0	56,000	0	0
			財源内訳 特定財源	50,400	0	0	50,400	0	0
			財源内訳 一般財源	5,600	0	0	5,600	0	0
消防署	消防ポンプ自動車更新事業	2台更新　（令和7年度、11年度購入）	合計（千円）	42,000	0	0	0	0	42,000
			財源内訳 特定財源	37,800	0	0	0	0	37,800
			財源内訳 一般財源	4,200	0	0	0	0	4,200

事業数	事業費概要		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
3事業	合計（千円）	138,000	0	20,000	56,000	20,000	42,000
	財源内訳 特定財源	124,200	0	18,000	50,400	18,000	37,800
	財源内訳 一般財源	13,800	0	2,000	5,600	2,000	4,200

このページは余白です。

基本目標　Ⅲ　はつらつ今金「ものづくり」

政策分野　1　農林業振興

担当課	事業名	事業内容	事業費概要			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
農林振興課	担い手対策事業	農業設備、資材購入助成（上限１００万円）等	合計(千円)		20,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	20,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
農林振興課	農業経営基盤強化資金利子補給事業	農業経営基盤強化資金の融通に伴う利子補給事業	合計(千円)		557	557	0	0	0	0
			財源内訳	特定財源	278	278	0	0	0	0
				一般財源	279	279	0	0	0	0
農林振興課	中山間地域等直接支払交付金事業	中山間地域における生産機能を維持・確保し、営農の安定化を図る	合計(千円)		13,705	2,741	2,741	2,741	2,741	2,741
			財源内訳	特定財源	10,275	2,055	2,055	2,055	2,055	2,055
				一般財源	3,430	686	686	686	686	686
農林振興課	新酪農ヘルパー事業	「ゆとり（休日）」ある生活を確保し、労働意欲を高め生産性の向上と経営の安定に資する	合計(千円)		7,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	7,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
農林振興課	農業後継者奨学金貸与事業	高校、大学等の農業課程に入学し、将来の農業経営を目指す後継者への奨学金貸与事業	合計(千円)		2,400	480	480	480	480	480
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	2,400	480	480	480	480	480
農林振興課	国営造成施設管理体制整備強化支援事業	農業水利施設の維持管理体制の整備	合計(千円)		21,390	4,278	4,278	4,278	4,278	4,278
			財源内訳	特定財源	16,040	3,208	3,208	3,208	3,208	3,208
				一般財源	5,350	1,070	1,070	1,070	1,070	1,070
農林振興課	町有林造林事業	町有林を良好な維持管理及び適正な植栽を図る	合計(千円)		61,387	13,387	12,000	12,000	12,000	12,000
			財源内訳	特定財源	40,564	8,564	8,000	8,000	8,000	8,000
				一般財源	20,823	4,823	4,000	4,000	4,000	4,000
農林振興課	町有林林況等確認事業	町有林を適正に管理するため、定期的に町有林の縁を抜開して森林の現状を確認するとともに、私有林においても森林施業計画の適正な執行を図るため現況を確認する	合計(千円)		3,096	616	620	620	620	620
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	3,096	616	620	620	620	620

政策分野　1　農林業振興(前ページつづき)

担当課	事　業　名	事業内容	事業費概要			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
農林振興課	未来につなぐ森づくり推進事業	民有林内の新植を助成することにより、森林所有者の負担を軽減し森林の持つ多面的機能の発揮を図る	合計(千円)		39,125	7,925	7,800	7,800	7,800	7,800
			財源内訳	特定財源	24,076	4,876	4,800	4,800	4,800	4,800
				一般財源	15,049	3,049	3,000	3,000	3,000	3,000
農林振興課	森林管理道開設事業	住吉支線　L=2,565m	合計(千円)		100,000	50,000	50,000	0	0	0
			財源内訳	特定財源	93,560	46,780	46,780	0	0	0
				一般財源	6,440	3,220	3,220	0	0	0
農林振興課	多面的機能支払交付金事業	地域共同による農用地、水路、農道等の地域資源の基礎的な保全管理活動及び地域資源の適切な保全管理のための推進活動に取り組む広域活動組織又は活動組織に対する交付金事業	合計(千円)		37,105	7,421	7,421	7,421	7,421	7,421
			財源内訳	特定財源	27,825	5,565	5,565	5,565	5,565	5,565
				一般財源	9,280	1,856	1,856	1,856	1,856	1,856
農林振興課	強い農業づくり事業	農産物の生産、その他農業経営の改善に必要な機械・施設の導入支援事業	合計(千円)		15,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
			財源内訳	特定財源	15,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
				一般財源	0	0	0	0	0	0
農林振興課	民有林育成指導事業	町内民有林面積から既森林組合員加入面積を除き、一定金額を乗じて積算した金額により、町内外の森林所有者への事業提案をはじめとした各種活動を行うもの	合計(千円)		5,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	5,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
農林振興課	未利用林地残材活用事業	林地残材搬出に要する経費への一部助成事業	合計(千円)		31,250	6,250	6,250	6,250	6,250	6,250
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	31,250	6,250	6,250	6,250	6,250	6,250
農林振興課	森林活性化間伐搬出事業	民有林間伐材搬出に要する経費への一部助成事業	合計(千円)		7,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	7,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
農林振興課	農地耕作条件改善事業	国営緊急農地再編事業の受益地外のほ場の区画拡大及び暗渠排水整備に対する助成事業	合計(千円)		77,500	20,000	20,000	12,500	12,500	12,500
			財源内訳	特定財源	60,000	15,000	15,000	10,000	10,000	10,000
				一般財源	17,500	5,000	5,000	2,500	2,500	2,500
農林振興課	育成林下刈り推進事業	民有林下刈りに要する経費への一部助成	合計(千円)		3,000	600	600	600	600	600
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	3,000	600	600	600	600	600

政策分野　1　農林業振興(前ページつづき)

担当課	事業名	事業内容	事業費概要			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
農林振興課	有害鳥獣駆除推進事業	ハンター育成のため、狩猟免許新規取得及び免許更新に要する経費への一部助成事業	合計(千円)		1,920	480	480	480	480	0
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	1,920	480	480	480	480	0
農林振興課	私有林等整備事業	私有林内における風倒木処理の外、間伐・作業道整備	合計(千円)		149,426	22,000	29,828	18,644	40,221	38,733
			財源内訳	特定財源	149,426	22,000	29,828	18,644	40,221	38,733
				一般財源	0	0	0	0	0	0
農林振興課	住吉地区用水路改修事業	住吉地区用水路の改修に要する事業費の一部助成事業	合計(千円)		7,150	4,550	2,600	0	0	0
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	7,150	4,550	2,600	0	0	0
農林振興課	種川頭首工長寿命化事業	種川頭首工の長寿命化に要する事業費の一部助成事業	合計(千円)		2,600	2,600	0	0	0	0
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	2,600	2,600	0	0	0	0
農林振興課	土地改良施設長寿命化事業	土地改良施設の長寿命化等に要する事業費の一部助成事業	合計(千円)		6,000	0	0	2,000	2,000	2,000
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	6,000	0	0	2,000	2,000	2,000
農林振興課	鳥獣被害防止対策事業	有害鳥獣による農作物の被害防止のための電気柵購入経費の一部助成事業	合計(千円)		3,000	1,000	1,000	1,000	0	0
			財源内訳	特定財源	1,500	500	500	500	0	0
				一般財源	1,500	500	500	500	0	0
農林振興課	草地畜産基盤整備事業	酪農・畜産生産性向上に資するための草地整備に係る事業費の一部助成事業	合計(千円)		11,440	0	6,240	4,810	390	0
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	11,440	0	6,240	4,810	390	0

事業数	事業費概要			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
24事業	合計(千円)		627,051	155,885	163,338	92,624	108,781	106,423
	財源内訳	特定財源	438,544	111,826	118,736	55,772	76,849	75,361
		一般財源	188,507	44,059	44,602	36,852	31,932	31,062

政策分野　2　商工業振興

担当課	事　業　名	事業内容	事業費概要			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
まちづくり推進課	中小企業経営改善普及事業	小規模事業者の振興と経営安定化に寄与するための経営改善普及事業及び地域振興事業への助成	合計(千円)		77,200	15,440	15,440	15,440	15,440	15,440
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	77,200	15,440	15,440	15,440	15,440	15,440
まちづくり推進課	中小企業融資制度利子補給事業	中小企業の育成、振興ならびに経営の合理化を促進し、経済的地位の向上と事業運営の基礎となる金融の円滑化を図る	合計(千円)		22,530	4,506	4,506	4,506	4,506	4,506
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	22,530	4,506	4,506	4,506	4,506	4,506
まちづくり推進課	プラザ２１管理事業	商工会の事務所であるデ・モーレンの指定管理業務	合計(千円)		7,000	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	7,000	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400
まちづくり推進課	商店街空き店舗活用事業	みんなの広場「にぎわいプラザひだまり」の活用による地域住民サービス提供の拡充と商店街の活性化と社会福祉の増進を図る	合計(千円)		1,860	372	372	372	372	372
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	1,860	372	372	372	372	372
まちづくり推進課	地域力再生プロジェクト事業	商店街活性化事業として、にぎわい商店街、空き店舗活用事業（チャレンジショップ・ワンストップ）を実施	合計(千円)		4,985	997	997	997	997	997
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	4,985	997	997	997	997	997
まちづくり推進課	ソーシャルタウン今金町推進事業	ソーシャルタウン今金町の実現に向け、多様な人材が地域内産業で活躍できる仕組みづくりや、障がい者と農・福連携の仕組みづくり等への支援実施	合計(千円)		24,640	4,928	4,928	4,928	4,928	4,928
			財源内訳	特定財源	2,464	2,464	0	0	0	0
				一般財源	22,176	2,464	4,928	4,928	4,928	4,928
まちづくり推進課	地域消費活性化事業	小規模事業者の振興と経営安定化を目的とした、宝くじ（スクラッチカード）を用いた共同販売促進事業に対する助成	合計(千円)		5,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	5,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000

事業数	事業費概要			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
7事業	合計(千円)		143,215	28,643	28,643	28,643	28,643	28,643
	財源内訳	特定財源	2,464	2,464	0	0	0	0
		一般財源	140,751	26,179	28,643	28,643	28,643	28,643

基本目標 Ⅳ ふれあい今金「まちづくり」

政策分野 1 行政経営

担当課	事業名	事業内容	事業費概要			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
税務住民課	納税貯蓄組合奨励事業	納税貯蓄組合への奨励金	合計(千円)		5,150	1,030	1,030	1,030	1,030	1,030
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	5,150	1,030	1,030	1,030	1,030	1,030
まちづくり推進課	檜山管内各町との連携事業	地方創生の「新しい人の流れをつくる」一環としての連携事業	合計(千円)		2,150	1,000	1,000	50	50	50
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	2,150	1,000	1,000	50	50	50
まちづくり推進課	北渡島檜山4町連携事業	八雲町、長万部町、せたな町と連携し、域内の資源を活用した観光・教育分野を通じた連携事業	合計(千円)		3,135	627	627	627	627	627
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	3,135	627	627	627	627	627
まちづくり推進課	町史編さん事業	平成３年１月と平成６年３月にそれぞれ発行している今金町史（上・下）の続編として、主に平成時代の今金町史編さんに取り組む	合計(千円)		49,366	2,683	2,683	14,700	14,700	14,600
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	49,366	2,683	2,683	14,700	14,700	14,600
くらし安心課	ふるさと創生支援事業	ふるさと創生基金を活用し町内団体等が主体となる各種活動の支援	合計(千円)		15,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
			財源内訳	特定財源	15,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
				一般財源	0	0	0	0	0	0
くらし安心課	生活館改修事業	自治会・町内会で管理している集会施設の大規模改修	合計(千円)		20,628	0	7,128	0	13,500	0
			財源内訳	特定財源	10,200	0	3,500	0	6,700	0
				一般財源	10,428	0	3,628	0	6,800	0
くらし安心課	情報提供事業	毎月１回、第１金曜日に広報紙を発行し、回覧配布に併せて各世帯に配布するほか、町の主な施設への設置、ホームページ等への掲載を行い、町民へ情報提供する	合計(千円)		9,760	1,952	1,952	1,952	1,952	1,952
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	9,760	1,952	1,952	1,952	1,952	1,952

事業数	事業費概要			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
7事業	合計(千円)		105,189	10,292	17,420	21,359	34,859	21,259
	財源内訳	特定財源	25,200	3,000	6,500	3,000	9,700	3,000
		一般財源	79,989	7,292	10,920	18,359	25,159	18,259

政策分野　2　観光・交流・定住

担当課	事　業　名	事業内容	事業費概要			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
まちづくり推進課	観光協会観光事業	観光等を広く紹介・宣伝し、観光事業の振興を図る組織である観光協会への活動費助成	合計(千円)		18,025	3,605	3,605	3,605	3,605	3,605
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	18,025	3,605	3,605	3,605	3,605	3,605
まちづくり推進課	観光宣伝啓発事業	観光・物産振興を目的に、全国主要都市で行われる大規模イベントへの出展を通した観光物産ＰＲを実施し、交流人口増を目指す	合計(千円)		9,925	1,985	1,985	1,985	1,985	1,985
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	9,925	1,985	1,985	1,985	1,985	1,985
まちづくり推進課	クアプラザピリカ管理運営事業	観光宿泊施設であるクアプラザピリカの管理運営（観光施設の指定管理に関する指定管理料）	合計(千円)		203,400	40,680	40,680	40,680	40,680	40,680
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	203,400	40,680	40,680	40,680	40,680	40,680
まちづくり推進課	クアプラザピリカ宿泊施設町民利用助成事業	町民の福利厚生の向上とクアプラザピリカの有効活用の促進を図る	合計(千円)		900	900	0	0	0	0
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	900	900	0	0	0	0
まちづくり推進課	交流促進センター（あったからんど）施設改修事業	市街地にある公衆浴場施設として平成７年度から供用開始している本施設のうち、温泉棟部分以外の屋根改修を行い、適切な施設維持・長寿命化に取り組む	合計(千円)		20,000	0	0	20,000	0	0
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	20,000	0	0	20,000	0	0
まちづくり推進課	ワーキングステイ事業	人口減少・若年者の人口流出を低減また、農林業のみに頼らない経済バランスのとれた地域づくりを目的に、都市部の企業人や働く場所を選ばない働き方を実践している方を一定期間受入れを実施	合計(千円)		845	169	169	169	169	169
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	845	169	169	169	169	169

事業数	事業費概要			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
6事業	合計(千円)		253,095	47,339	46,439	66,439	46,439	46,439
	財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
		一般財源	253,095	47,339	46,439	66,439	46,439	46,439

政策分野　3　住生活

担当課	事業名	事業内容	事業費概要			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
総務財政課	町営住宅建替事業	老朽化した町営住宅の建替事業	合計(千円)		58,500	0	0	0	25,000	33,500
			財源内訳	特定財源	57,675	0	0	0	24,300	33,375
				一般財源	825	0	0	0	700	125
総務財政課	町営住宅解体事業	老朽化した町営住宅の解体事業 （御影、大和中央、曙の一部）	合計(千円)		18,300	0	18,300	0	0	0
			財源内訳	特定財源	8,235	0	8,235	0	0	0
				一般財源	10,065	0	10,065	0	0	0
まちづくり推進課	新住宅リフォーム助成事業	町民の居住環境の向上と定住人口の確保及び地域経済の活性化を図ることを目的として、個人住宅のリフォームに係る費用の一部を助成する	合計(千円)		30,000	15,000	15,000	0	0	0
			財源内訳	特定財源	28,400	14,200	14,200	0	0	0
				一般財源	1,600	800	800	0	0	0
まちづくり推進課	新マイホーム取得奨励事業	住宅取得の初期費用の負担を軽減することにより、住みよいまちづくりのための住環境整備の推進と、転入人口の増加及び転出人口の抑制を図る	合計(千円)		12,000	6,000	6,000	0	0	0
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	12,000	6,000	6,000	0	0	0
くらし安心課	空家住宅リフォーム助成事業	空家の有効活用を進め、移住・定住の促進や地域の活性化を促進するため、空家のリフォームに要する経費の一部を助成する	合計(千円)		4,500	1,500	1,500	1,500	0	0
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	4,500	1,500	1,500	1,500	0	0
くらし安心課	空家等除却支援事業	老朽空家の除却促進に努め、安全・安心な住環境を確保するため、空家等の除却に要する経費の一部を補助する	合計(千円)		2,700	900	900	900	0	0
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	2,700	900	900	900	0	0
公営施設課	高美公園整備事業	旧総合体育館跡地への新高美公園整備事業	合計(千円)		40,000	40,000	0	0	0	0
			財源内訳	特定財源	38,800	38,800	0	0	0	0
				一般財源	1,200	1,200	0	0	0	0

事業数	事業費概要			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
7事業	合計(千円)		166,000	63,400	41,700	2,400	25,000	33,500
	財源内訳	特定財源	133,110	53,000	22,435	0	24,300	33,375
		一般財源	32,890	10,400	19,265	2,400	700	125

政策分野　4　環境保全

担当課	事　業　名	事業内容	事業費概要			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
まちづくり推進課	花いっぱい運動推進事業	花苗購入費、自治会町内会連合会との連携事業	合計(千円)		2,630	526	526	526	526	526
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	2,630	526	526	526	526	526
公営施設課	浄化槽設置整備事業	浄化槽設置整備事業　５人槽、７人槽	合計(千円)		28,200	9,400	9,400	9,400	0	0
			財源内訳	特定財源	4,143	1,381	1,381	1,381	0	0
				一般財源	24,057	8,019	8,019	8,019	0	0
公営施設課	公共下水道施設長寿命化事業	公共下水道の適切な維持管理・改築・修繕を目的に長寿命化計画を策定し推進する	合計(千円)		135,000	64,000	26,000	15,000	15,000	15,000
			財源内訳	特定財源	130,750	61,950	25,000	14,600	14,600	14,600
				一般財源	4,250	2,050	1,000	400	400	400
公営施設課	公共下水道（雨水）整備事業	寒昇地区排水計画検討業務をはじめとした公共下水道（雨水）整備関連事業	合計(千円)		119,400	52,000	13,000	0	24,400	30,000
			財源内訳	特定財源	116,400	50,000	12,000	0	24,400	30,000
				一般財源	3,000	2,000	1,000	0	0	0
公営施設課	簡易水道事業特別会計の公営企業会計移行事業	令和６年度から公営企業会計を適用するための移行業務	合計(千円)		33,000	10,000	16,000	7,000	0	0
			財源内訳	特定財源	33,000	10,000	16,000	7,000	0	0
				一般財源	0	0	0	0	0	0
公営施設課	公共下水道事業特別会計の公営企業会計移行事業	令和６年度から公営企業会計を適用するための移行業務	合計(千円)		14,480	8,000	3,000	3,480	0	0
			財源内訳	特定財源	14,480	8,000	3,000	3,480	0	0
				一般財源	0	0	0	0	0	0
公営施設課	今金浄化センター耐水化事業	下水処理施設の耐水化計画策定業務	合計(千円)		9,000	9,000	0	0	0	0
			財源内訳	特定財源	4,500	4,500	0	0	0	0
				一般財源	4,500	4,500	0	0	0	0

事業数	事業費概要			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
7事業	合計(千円)		341,710	152,926	67,926	35,406	39,926	45,526
	財源内訳	特定財源	303,273	135,831	57,381	26,461	39,000	44,600
		一般財源	38,437	17,095	10,545	8,945	926	926

政策分野　5　情報通信

担当課	事　業　名	事業内容	事業費概要			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
くらし安心課	テレビ共同受信施設維持管理補助事業	テレビ共聴施設の維持管理に係る経費の一部を補助	合計(千円)		2,400	480	480	480	480	480
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	2,400	480	480	480	480	480
くらし安心課	地上デジタル放送共聴施設改修事業	テレビ共聴施設の老朽化に伴う改修経費の一部を補助	合計(千円)		8,260	0	8,260	0	0	0
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	8,260	0	8,260	0	0	0

事業数	事業費概要			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
2事業	合計(千円)		10,660	480	8,740	480	480	480
	財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
		一般財源	10,660	480	8,740	480	480	480

政策分野　6　交通

担当課	事　業　名	事業内容	事業費概要			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
まちづくり推進課	デマンドバス運行事業	予約バス「ルンるん号」の運行費に係る補助	合計(千円)		19,500	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	19,500	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900
まちづくり推進課	生活交通路線確保対策事業	生活交通路線の維持及び活用のための事業 ○運営費欠損金補助 ○通学定期券購入費補助 ○車両更新補助（およそ10年に1回）	合計(千円)		104,672	10,211	10,211	63,828	10,211	10,211
			財源内訳	特定財源	104,672	10,211	10,211	63,828	10,211	10,211
				一般財源	0	0	0	0	0	0
くらし安心課	交通安全運動推進事業	交通安全運動推進委員会に対する補助	合計(千円)		12,620	2,524	2,524	2,524	2,524	2,524
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	12,620	2,524	2,524	2,524	2,524	2,524
公営施設課	中央通線交付金事業	舗装工・歩道工・排水工 L＝1,322.02m　W＝9.0m+3.0m*2	合計(千円)		44,300	44,300	0	0	0	0
			財源内訳	特定財源	27,701	27,701	0	0	0	0
				一般財源	16,599	16,599	0	0	0	0

政策分野　6　交通(前ページつづき)

担当課	事　業　名	事業内容	事業費概要			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
公営施設課	橋りょう長寿命化修繕計画策定事業	町が管理する道路橋の計画的な修繕を行い、大規模な補修までの期間を延長するなどし、コストの低減を図ることを目的とし、修繕計画（個別施設計画）を策定する事業	合計(千円)		7,000	0	0	7,000	0	0
			財源内訳	特定財源	3,894	0	0	3,894	0	0
				一般財源	3,106	0	0	3,106	0	0
公営施設課	流雪溝事業	流雪溝の運営	合計(千円)		183,289	40,289	35,000	31,000	47,000	30,000
			財源内訳	特定財源	165,036	36,236	31,500	27,900	42,400	27,000
				一般財源	18,253	4,053	3,500	3,100	4,600	3,000
公営施設課	固定型防雪柵交付金事業	吹払式固定型防雪柵（R4～豊田線L=900m）	合計(千円)		165,000	0	30,000	45,000	45,000	45,000
			財源内訳	特定財源	161,700	0	29,400	44,100	44,100	44,100
				一般財源	3,300	0	600	900	900	900
公営施設課	防塵処理事業	舗装工（全体計画L=23.6km）	合計(千円)		29,000	9,000	5,000	5,000	5,000	5,000
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	29,000	9,000	5,000	5,000	5,000	5,000
公営施設課	雪寒等機械導入事業	冬期間、交通確保のため除雪作業している雪寒機械の購入更新事業	合計(千円)		126,000	40,000	8,000	38,000	40,000	0
			財源内訳	特定財源	113,900	38,600	0	36,700	38,600	0
				一般財源	12,100	1,400	8,000	1,300	1,400	0
公営施設課	橋りょう長寿命化修繕事業	町が管理する道路橋の計画的な修繕を行い、大規模補修までの期間を延長するなどし、コスト低減を図る事業 豊田橋(H26-R3)、奥沢橋(H26-H27,R3)、田代橋(R2-R9) 下金原橋(R8-R11)、中里橋(R10-R15)、(上利別橋R13-R16)	合計(千円)		864,400	97,000	137,800	237,700	208,700	183,200
			財源内訳	特定財源	808,924	91,302	128,848	222,333	195,156	171,285
				一般財源	55,476	5,698	8,952	15,367	13,544	11,915
公営施設課	橋りょう点検事業	町が管理する道路橋の定期点検事業	合計(千円)		101,200	9,700	20,600	0	21,500	49,400
			財源内訳	特定財源	61,394	5,646	11,941	0	13,304	30,503
				一般財源	39,806	4,054	8,659	0	8,196	18,897
公営施設課	吹き払い防雪柵購入事業	吹払式仮設型防雪柵　L=300m	合計(千円)		84,000	16,800	16,800	16,800	16,800	16,800
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	84,000	16,800	16,800	16,800	16,800	16,800
公営施設課	道路付属物修繕交付金事業	町道に設置している老朽化した照明灯、標識などの補修・更新(LED化)事業	合計(千円)		42,000	42,000	0	0	0	0
			財源内訳	特定財源	9,135	9,135	0	0	0	0
				一般財源	32,865	32,865	0	0	0	0

政策分野　6　交通(前ページつづき)

担当課	事　業　名	事業内容	事業費概要			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
公営施設課	利別通線交付金事業	舗装工・歩道工・排水工 L＝350m	合計(千円)		66,000	0	1,000	22,000	10,000	33,000
			財源内訳	特定財源	57,891	0	0	19,580	8,841	29,470
				一般財源	8,109	0	1,000	2,420	1,159	3,530
公営施設課	曙線改修事業	路盤工・舗装工・歩道工・排水工 L＝100m	合計(千円)		31,000	7,000	24,000	0	0	0
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	31,000	7,000	24,000	0	0	0
公営施設課	栄１号線改修事業	路盤工・舗装工・排水工 L＝100m	合計(千円)		26,000	0	5,000	21,000	0	0
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	26,000	0	5,000	21,000	0	0
公営施設課	神丘１０号線改修事業	路盤工・舗装工 L＝340m	合計(千円)		49,500	0	5,000	44,500	0	0
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	49,500	0	5,000	44,500	0	0
公営施設課	第２南支線改良事業	路盤工・舗装工・排水工 L＝100m	合計(千円)		13,500	0	3,000	10,500	0	0
			財源内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0
				一般財源	13,500	0	3,000	10,500	0	0

事業数	事業費概要			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
18事業	合計(千円)		1,968,981	322,724	307,835	548,752	410,635	379,035
	財源内訳	特定財源	1,514,247	218,831	211,900	418,335	352,612	312,569
		一般財源	454,734	103,893	95,935	130,417	58,023	66,466

前期実施計画全体

総事業数	事業費概要			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
127事業	合計(千円)		9,553,594	1,970,342	2,737,135	1,585,649	2,067,830	1,192,638
	財源内訳	特定財源	6,850,685	1,433,907	2,174,790	1,012,976	1,578,284	650,728
		一般財源	2,702,909	536,435	562,345	572,673	489,546	541,910